にぶい黄褐色砂質土で、0.5～１㎜の砂粒を比較的多く含む。出土遺物はない。

② **柱穴・小穴**

SP-232（図58）は径約50cmの円形で、径約15cmの柱痕を伴う。柱穴検出面では20cmの自然礫があり、中世土師器が出土している。この他はいずれも柱穴・小穴で、遺物を伴った場合もあるが、ほとんどが中世土師器等の細片で、図化できたのは４点のみ（図59）。１はSP-235出土の土師器の坏口縁部で、端部を丸く収める。２・３は土師器の皿底部。２がSP-206出土、３がSP-218出土で回転糸切り。４はSP-251出土の被熱粘土塊で、外面はハケメ状の調整痕が見られる。

(9)　ⅡEe区（図60～62・69、図版13-4～6）

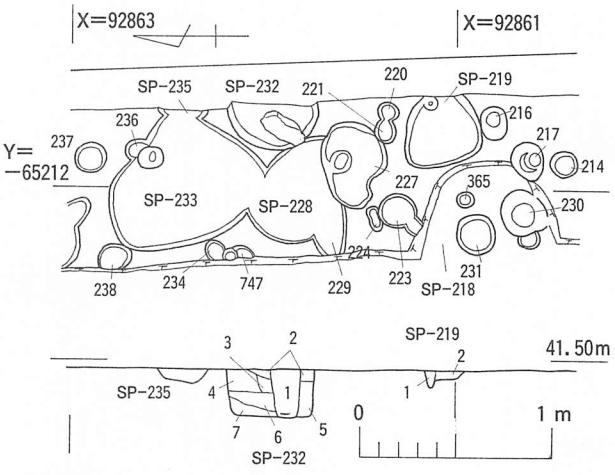
農学部３号館東側の20m弱の区間。南北は管路に伴う攪乱で画されている。南半はⅠ層下でⅢ層が、北半ではⅡ層下でⅢ層が広がり、ともに以南と比べてⅢ層・遺構の残存は良い。出土遺物も少なくない（図64、図版28-1）。とりわけ、南端の５m弱の範囲は、Ⅲ層でも上部のⅢ－１層よりも黒味が強い粘質土であるⅢ－２層が安定して存在する。Ⅲ－２層上面あるいはⅣ層上面で検出した遺構は、SD-36・39と柱穴・小穴70基前後であり、Ⅲ－２層下で検出した遺構は、SD-37とSK-43、および小穴６基である。

① **SD-36**（図61）

SD-36は、ⅡEe区の南部を、北北東－南南西方向に延びる幅約1.2mの溝で、北側に深い二段状。南部で南北方向にやや方向をふる。埋土は灰黄褐色から褐灰色の砂質土。図化できた出土遺物は、20～22の３点。20は土師器の坏もしくは皿底部で、外底面は回転糸切り痕が残る。21も土師器皿底部。22は羽釜口縁部で、端部よりやや下がって断面三角形の突帯を貼り付ける。出土遺物から、SD-36は14世紀前半。

② **SD-39**（図62）

SD-39も、北北東－南南西方向に延びる溝で、約２mの距離を挟んでSD-36の北西側に並行する可能性が高い。北部で南北方向にやや方向をふる。埋土は黒褐色から暗褐色の砂質土。図化できた遺物は、23～27の５点。23は土師器の皿口縁部。口縁部は直立し端部はやや肥厚する。24は羽釜の口縁部。口縁端よりわずかに下がって突帯を貼り付ける。25は羽釜底部で、26・27は羽釜の脚部片。出土遺物から、SD-39も14世紀前半。



SP-219
1　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
2　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。Ⅳ層ブロックが多く混じる。

SP-232
1　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。Ⅳ層の微細ブロックがわずかに混じる。やや砂質が強い。土器片を含む。
2　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂質が強く、しまりあり。
3　黒褐色（10YR3/2）砂質土。ブロック状に入る。
4　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含み、しまりあり。
5　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。３cmのⅣ層ブロックを多く含み、しまりあり。
6　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。砂粒はやや細かく、粘性あり。
7　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性があり、炭化物を少し含む。

SP-235
灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。砂粒がやや細かい。

図58　SP-232他実測図（縮尺１/40）
（遺構名「SP-」一部省略）

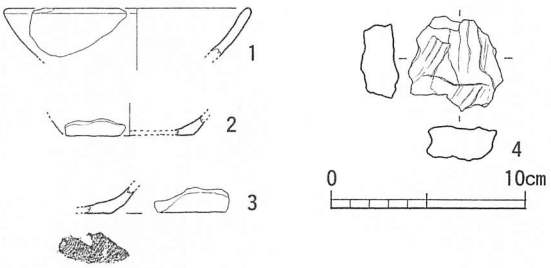


図59　ⅡWd区出土遺物実測図（縮尺１/４）

③ **SD-37**（図61、図版13-7）

X＝92879付近を、南北幅1.2m前後で東西方向に延びると推定される溝。西壁際ではやや幅を広げるが、断面は基本的にV字状に近い逆台形で、深さ60cmを越える。埋土は黒色から黒褐色を中心とした粘質土である。出土遺物は、上からの混じり込みと見られる中世土師器の細片がわずかにあるのみ。

④ **SK-43**（図61、図版13-8）

SD-37の北側にある、南北幅約1.7m・深さ約10cmの浅い皿状の土壙。Ⅲ－２層の下で検出できたが、SK

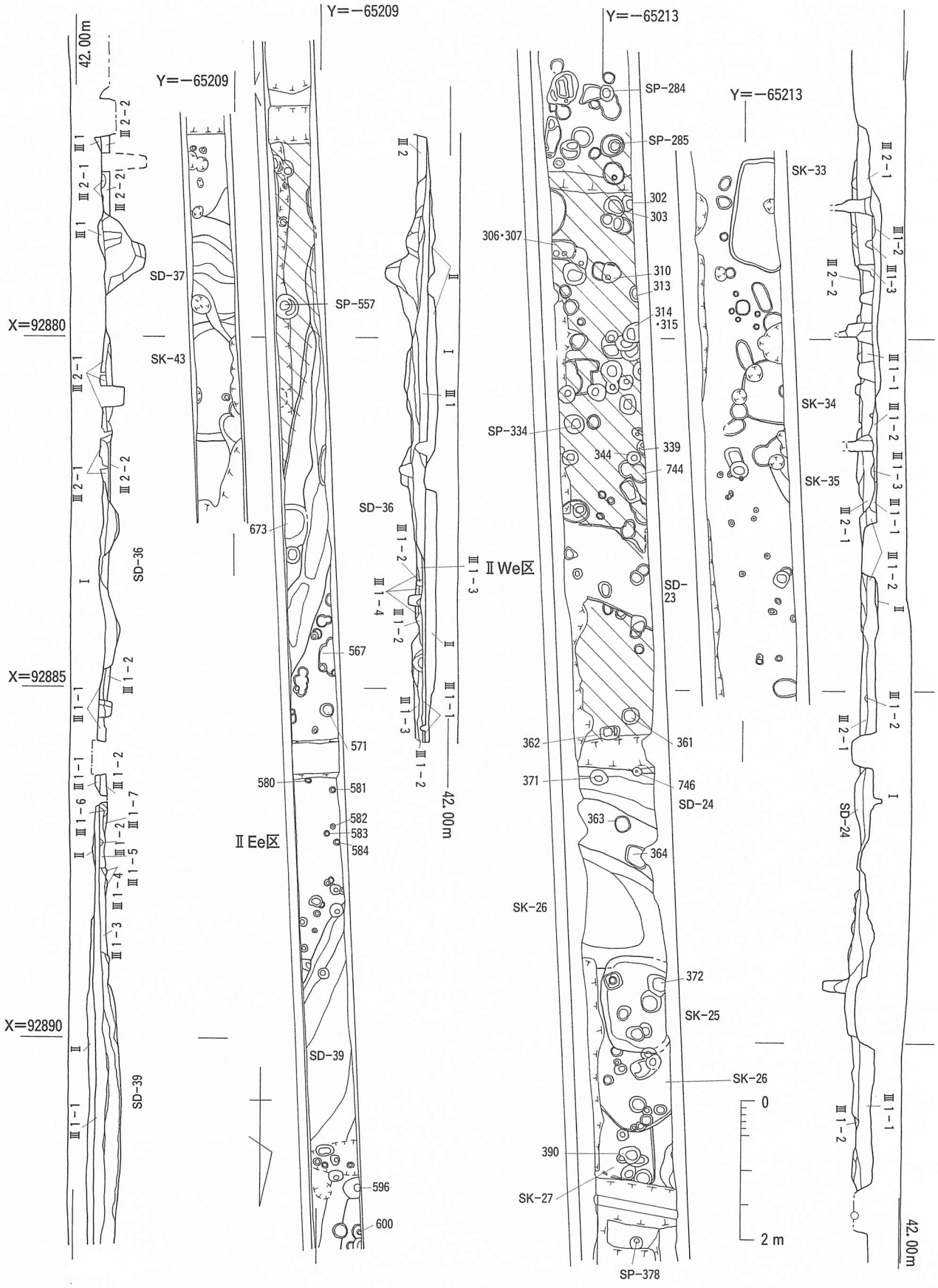


図60　Ⅱ区実測図(6)（縮尺１/80）（遺構名「SP-」一部省略）

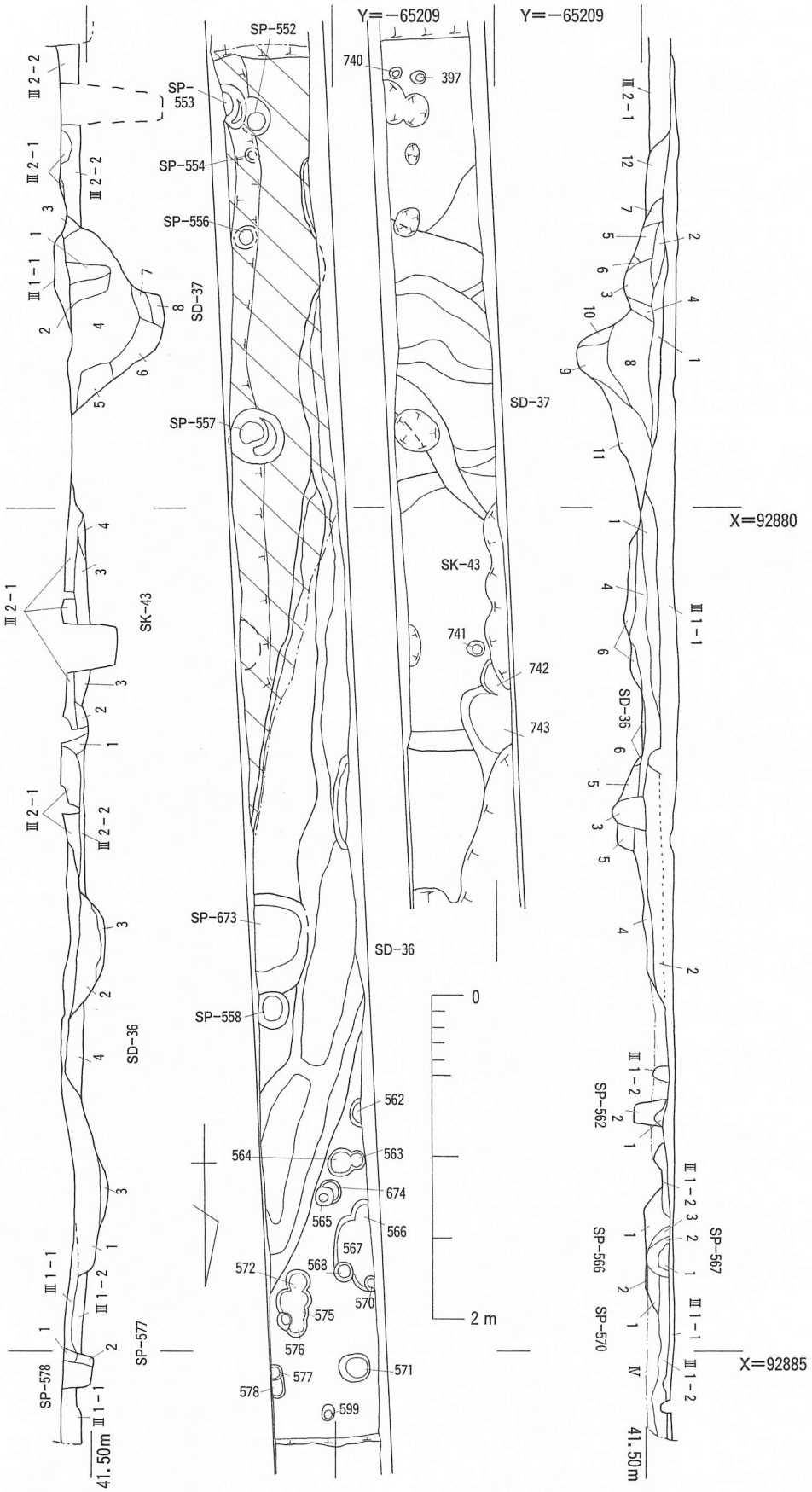


図61　ⅡEe区実測図(1)（縮尺１/40）（遺構名「SP-」一部省略）

図61　土層注記

東壁土層

Ⅲ1－1
褐灰色（10YR4/1）粘質土。褐色（7.5YR4/6）土の微小なブロックを多く含む。しまりあり。
灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。赤褐色（5YR4/6）土の微小なブロックを含む。砂粒は細かく、均質。

Ⅲ1－2
Ⅲ1－1層にⅣ層の1㎝のブロックを多く含んだ層。

Ⅲ2－1
黒褐色（10YR2/2）砂質土。Ⅳ層の微小なブロックを含む。粘性あり。
黒色（10YR2/1）砂質土。褐色味を帯びる。8㎜の礫をわずかに含む。
黒褐色(10YR3/1)砂質土。Ⅳ層と赤褐色(5YR4/6)砂質土が混じる。わずかに粘性をもち、しまりあり。やや灰色味を帯びる。

Ⅲ2－2
黒褐色（10YR3/1）砂質土。Ⅳ層と赤褐色（5YR4/6）土が混じる。わずかに粘性をもち、しまりあり。やや灰色味を帯びる。
黒褐色（10YR3/1）砂質土。Ⅲ2－1層の砂質土とⅣ層が斑らに混じる。Ⅲ2－1層に比べ、粘性は強い。砂粒は細かい。

SD-36
1　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。2㎜の礫を含む。炭化物を少し含む。明黄褐色土が混じる。
2　褐灰色(10YR4/1)砂質土。5㎜の礫や炭化物を少し含む。
3　褐灰色（10YR4/1）砂質土。1層に比べ、やや明るい色調。Ⅳ層の微小なブロックを含む。やや粘性あり。
4　褐灰色（10YR4/1）砂質土。1層に比べ、やや明るい色調。Ⅳ層の微小なブロックを含む。やや粘性あり。

SD-37
1　黒褐色（10YR3/1）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土とⅢ1－1層の褐灰色（10YR4/1）粘質土の互層。
2　黒褐色（10YR3/1）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土とⅢ1－1層の褐灰色（10YR4/1）粘質土の互層。
3　黒色（10YR2/1）砂質土。砂粒は細かく、均質。
4　黒色（10YR2/1）粘質土。褐色（7.5YR4/6）土の微小なブロックを多く含む。
5　褐灰色（10YR5/1）粘質土。4層とⅣ層が斑らに混じる。しまりあり。部分的に砂質土が混じる。
6　黒褐色（10YR2/3）粘質土。赤黒味を帯びる。Ⅳ層の微小なブロックと黒色（10YR2/1）粘質土がわずかに混じる。粘性は強い。
7　暗褐色(10YR3/3)粘質土。Ⅳ層のブロックが混じる。
8　黄褐色（10YR5/6）粘質土。粘性は非常に強い。

SK-43
1　褐灰色(10YR4/1)粘質土。Ⅳ層の微小なブロックを含む。粘性は弱い。
2　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。Ⅲ2－1層やⅣ層が混じり、色調は斑らでやや粘性あり。
3　褐色（10YR4/4）砂質土。全体にⅢ2－1層が混じり、黒味を帯びる。Ⅳ層の5㎜の円形ブロックを含む。
4　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。やや灰色味を帯びる。1㎝の角ばった礫をわずかに含む。しまりあり。

SP-577
1　Ⅲ1－1層とほぼ同じだが、やや粘性あり。
2　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。やや黄色味を帯びる。

SP-578
褐灰色（10YR5/1）砂質土。下部はやや暗い色調。明黄褐色土が混じる。

西壁土層

Ⅲ1－1
黒褐色（10YR3/2）砂質土。

Ⅲ1－2
黒色（10YR1.7/1）粘質土。Ⅲ1－1層が混じる。
黒褐色（10YR2/2）砂質土。褐色土がわずかに混じる。

Ⅲ2－1
黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅲ1－1層がラミナ状に入り、Ⅳ層がブロック状にわずかに混じる。

SD-36
1　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。明褐色土が混じる。炭化物を少し含み、しまりあり。
2　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。2㎜の礫と炭化物を含む。明褐色土が混じる。
3　2層とほぼ同じだが、粘性あり。
4　褐灰色（10YR4/1）砂質土。黄褐色味を帯びる。Ⅳ層と明褐色土の微小なブロックを多く含む。粘性あり。
5　4層とⅣ層の互層。
6　褐灰色（10YR4/1）粘質土。Ⅳ層のブロックと黒色土のブロックを含む。粘性あり。

SD-37
1　Ⅲ1－1層に色調や夾雑物は似るが、砂粒は細かく、わずかに粘性あり。
2　黒色（10YR1.7/1）粘質土と5層が混じる。粘性は強い。
3　黒褐色（10YR2/2）粘質土。粘性はやや弱く、フカフカした感じ。
4　3層にⅣ層が混じる。
5　黒褐色（10YR3/1）粘質土。Ⅳ層の5㎜の円形ブロックを含む。
6　にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。Ⅳ層が混じる。
7　黒褐色(10YR3/1)砂質土。Ⅳ層の微小なブロックを含み、やや粘性あり。
8　黒色（10YR2/1）粘質土。にぶい褐色（7.5YR5/4）土の微小なブロックを多く含む。
9　黒褐色（10YR2/3）粘質土。赤黒味を帯び、Ⅳ層の微小なブロックと8層がわずかに混じる。粘性は強い。
10　黄褐色（10YR5/6）粘質土。礫は全く混じらず、粘性は非常に強い。
11　黒褐色（10YR3/1）粘質土。Ⅳ層がかなり混じり、部分的に黄色味を帯びる。
12　褐灰色(10YR4/1)粘質土。Ⅳ層の微小なブロックを含み、黒色土がわずかに混じる。

SP-562
1　褐灰色（10YR4/1）砂質土。Ⅳ層の5㎜の円形ブロックと礫を含む。
2　黒褐色（10YR3/1）砂質土。しまりあり。やや粘性あり。

SP-566
灰黄褐色（10YR4/2）粘質土。Ⅳ層の1㎝の円形ブロックを含む。

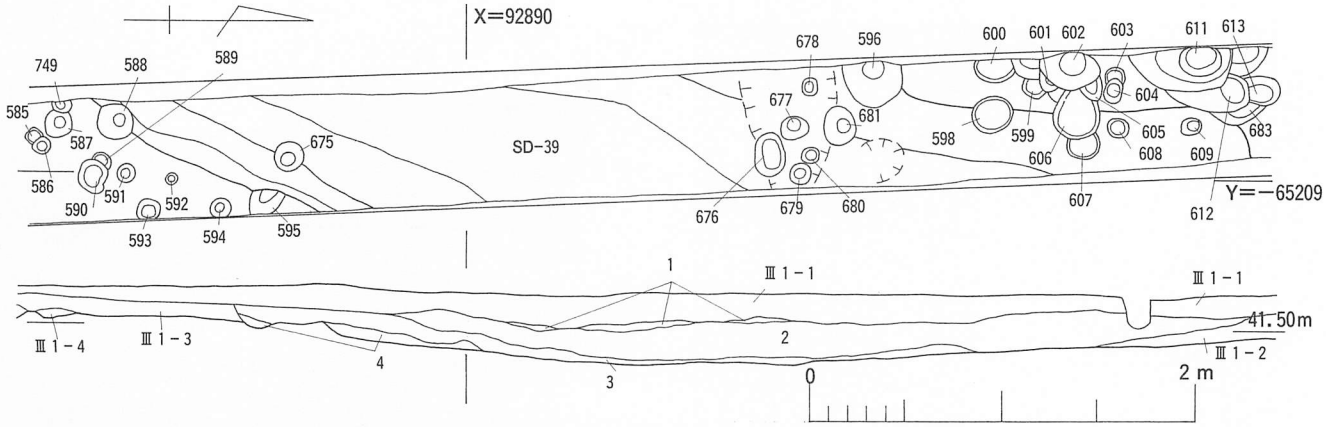
SP-567
1　黒色（10YR1.7/1）粘質土。2層が混じる。
2　灰黄褐色（10YR4/2）粘質土。Ⅳ層の1㎝の円形ブロックを含む。
3　褐灰色（10YR4/1）粘質土。明褐色土が混じる。

SP-570
1　褐灰色（10YR4/1）粘質土。明褐色土が混じる。
2　Ⅲ1－2層とⅣ層との互層。

-43の埋土自体は褐色を中心とした砂質土。出土遺物はない。

⑤　柱穴・小穴

柱穴・小穴は70基を越えて検出されているが、しっかりした規模をもつもの・遺物を伴うものは少ない。その中で、ⅡEe区北端に位置するSP-611は柱痕も明瞭に残る柱穴で（図63）、遺物も伴う。32～35がSP-611出土。32は土師器Ⅲの口縁部で、緩やかに内湾し直口する。33は羽釜口縁部。口縁端部に接して突帯を貼り付ける。34は羽釜脚部。35は砂岩質の砥石片。SP



SD-39

1　黒褐色（10YR3/1）砂質土。砂粒が細かく、粘性あり。しまりあり。

2　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ１−１層に比べ、砂質が強い。

3　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅳ層の２cmブロックを少し含み、粘性あり。しまりあり。

4　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅳ層の１cmブロックを多く含む。しまりあり。粘性は弱い。

Ⅲ１−１

黒褐色(10YR3/2）砂質土。Ⅳ層の微細ブロックと炭化物が少し混じる。

Ⅲ１−２

Ⅲ１−１層にⅣ層の１cmブロックを多く含んだ層。
黒褐色（10YR3/2）砂質土。細かい砂粒部分をラミナ状に含み、しまりあり。やや粘性あり。

Ⅲ１−３

黒褐色（10YR3/1）粘質土。Ⅲ２−１層の再堆積か。ややⅢ層の微細ブロックが多く混じり、Ⅳ層も含む。

Ⅲ１−４

黒褐色（10YR3/2）砂質土。

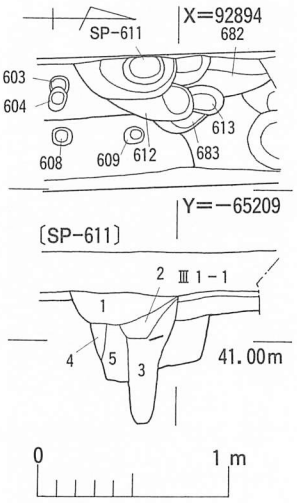
図62　ⅡEe区実測図(2)（縮尺１/40）（遺構名「SP-」省略）

-611は14世紀代後半の柱穴である。

この他、柱穴・小穴出土遺物で図化できたのは以下の通り。28・29がSP-604出土。28は坏底部で外底面に回転糸切り痕が残る。29は砂岩質の磨石の剥離片。30はSP-616出土の土師器皿底部。31はSP-571出土の羽釜口縁部である。

⑥　Ⅲ層出土遺物

ⅡEe区出土遺物の内、Ⅲ層出土として取り上げた遺物がある。このうち図化できたのが19点で、いずれもⅢ−１層出土。１は坏もしくは皿の底部で、回転糸切り。２・３は羽釜の口縁部。４〜10は羽釜脚部とそれに接する体部片。11は越州窯系青磁碗の先折れ口縁部。12は青磁碗口縁部で端部にやや厚みをもつ。施釉は薄く、外面には蓮弁文花弁の一部が残る。13世紀中頃から14世紀後半。13は白磁碗の口縁部付近。12世紀中頃〜後半。14も白磁の碗もしくは皿の口縁部。15は須恵質の甕胴部上半。胴部外面に横方向のハケメが見られる。16・17は土師質の鉢口縁部。ともに口縁端部が上下に肥厚し、横ナデにより面をなして凹む。18は東播系須恵器のこね鉢口縁部で、端部は上方に拡張されて面をなす。14世紀代。19は砂岩質の磨石の扁平な破断片。他に鉄滓１点（図115-12）も出土している。



SP-611

1　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅲ１−１層に１cm前後のⅣ層ブロックが混じる。

2　黒褐色(10YR3/1)砂質土。Ⅳ層をラミナ状に幾層も含み、粘性あり。

3　黒褐色(10YR2/2)シルト。２cm前後のⅣ層ブロックを少し含み、粘性が強い。

4　黒褐色(10YR3/1)砂質土。ややシルト質。Ⅳ層の小ブロックがわずかに混じる。粘性あり。

5　黒褐色(10YR3/2)砂質土。３cm前後のⅣ層ブロックが多く混じる。やや粘性あり。

図63　SP-611実測図（縮尺１/40）
（遺構名「SP-」一部省略）

⑽　ⅡWe区（図57・60・65・66、図版14）

農学部３号館西側の約22mの区間。南北は道路下に敷設された管路による攪乱で、明確に区画されている。Ⅰ層下で安定してⅢ層が広がり、遺構もよく残り、出土遺物も少なくない(図67・68、図版28-2〜5)。また、ⅡEe区同様に、南側のX＝92877〜92886の範囲は、Ⅲ−２層が安定して存在した。Ⅲ−２層上面あるいはⅣ層上面で検出した遺構は、SD-23・24、SK-25〜27と110基を越える柱穴・小穴であり、Ⅲ−２層下のⅣ

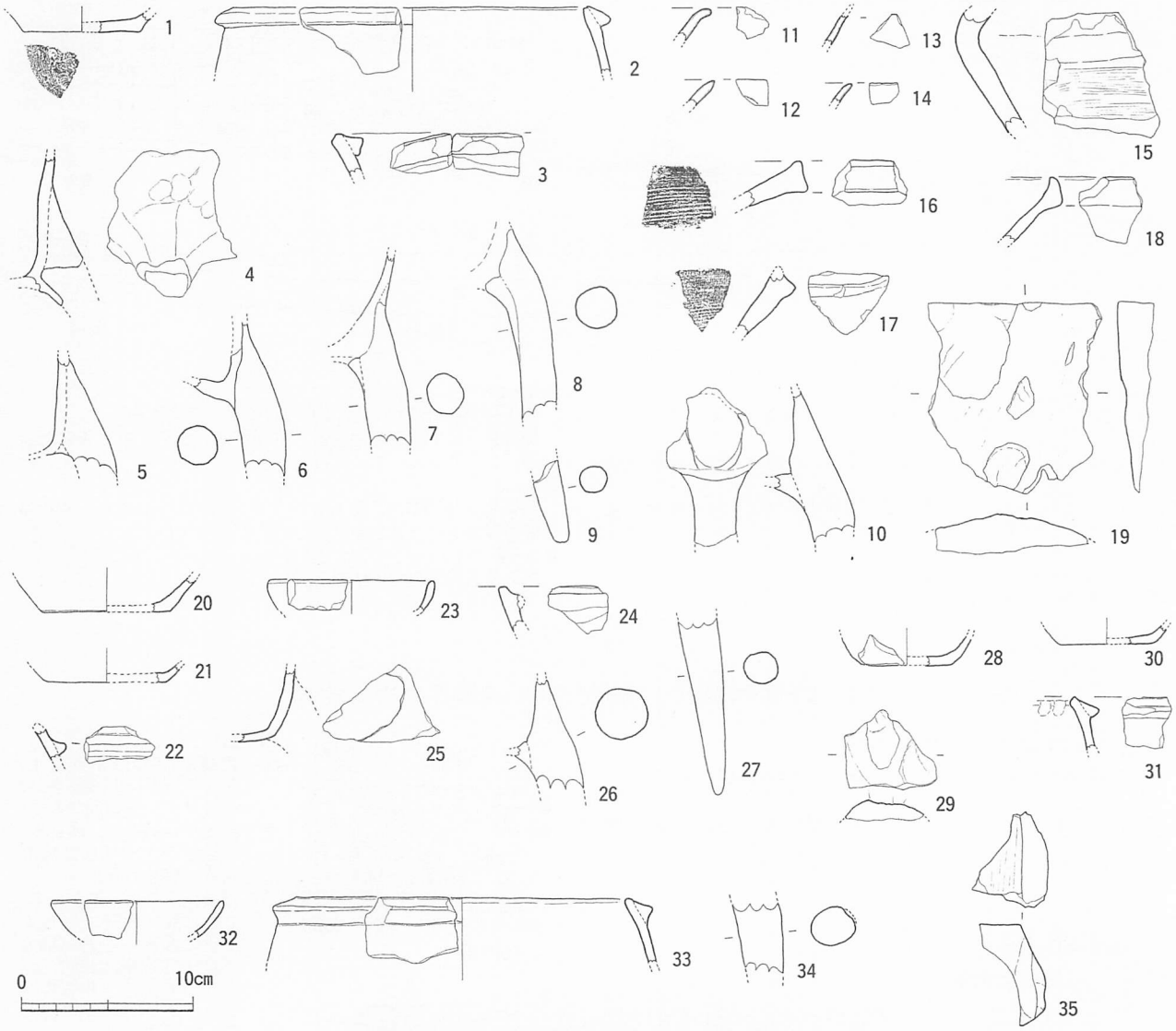


図64　ⅡEe区出土遺物実測図（縮尺１／４）

層上面で検出した遺構は、SK-33～35と30数基の柱穴・小穴である。

①　**SD-23**（図65、図版14-3）

X＝92883付近で、東西に調査区を横断する幅１m前後の溝状遺構。埋土は下半約10cmが残るのみで、浅い逆台形状の断面。埋土は黒褐色の砂質土。底面で柱穴・小穴を数基検出した。出土遺物は中世土師器の細片のみ。

②　**SD-24**（図66、図版14-4）

X＝92887付近で、東西に調査区を横断する溝状遺構。東壁で幅約50cm・西壁で幅約80cmで、深さ15cm程度。断面は緩やかな逆台形状で、埋土は黒褐色の砂質土。出土遺物はない。

③　**SK-25**（図66）

X＝92889付近で検出した、南北約1.2m・東西推定１mの楕円形で深さ20cm弱の皿状土壙。埋土は褐灰色の砂質土。SK-26を切り、底面で数基の柱穴が検出されている。出土遺物の内、図化したのは６点（８・26～30）。８は土師器皿の口縁部。口径19.0cmで、外に大きく開く。26は土師器皿の底部。27は羽釜脚部片。28は備前焼擂鉢の体部下半。29は緑色片岩の破片で、粗い研磨がなされている。30は染付の碗底部。外面に３条、内面に２条の施文帯が見られる。30の染付にはコンクリートが付着し、攪乱の混在。切り合いや出土遺物から、SK-25は14世紀以降。

④　**SK-26**（図66）

SK-26はSK-25に切られ、南北に二分される。調査

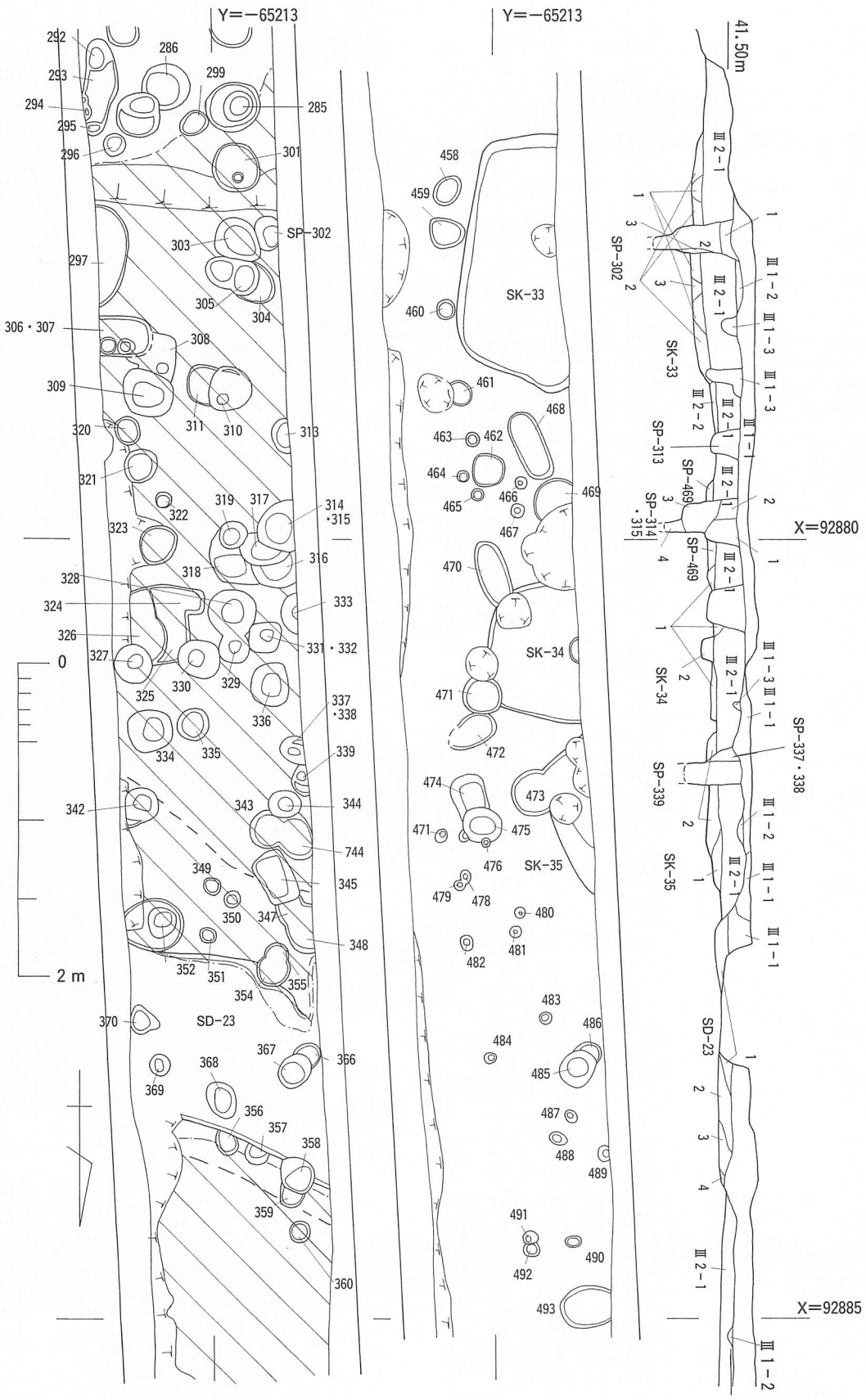


図65　ⅡWe区実測図(1)（縮尺１/40）（遺構名「SP-」一部省略）

図65　土層注記

Ⅲ1－1
黒褐色（10YR3/2）砂質土。2㎜の礫をやや多く含む。

Ⅲ1－2
黒褐～暗褐色（10YR3/1～3/3）砂質土。Ⅲ1－1層に比べ、やや明るい。Ⅲ2－1層を少し含み、やや粘性あり。

Ⅲ1－3
黒褐色（10YR3/1～3/2）砂質土。Ⅲ1－1層に比べ、砂粒がやや細かい。
1㎝のⅢ2－1層及びⅣ層のブロックを含み、粘性あり。

Ⅲ2－1
黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅳ層の1㎝ブロックを少し含み、粘性あり。

Ⅲ2－2
黒褐色（10YR3/1）粘質土。

SD-23
1　黒褐色（10YR3/1）砂質土。砂粒は0.5㎜以下と細かい。
2　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅳ層の微細ブロックおよびⅢ2－1層の5㎝ブロックが混じる。
3　黒褐色（10YR2/2）砂質土。Ⅳ層の微細ブロックが混じる。
4　黒褐色（10YR2/2）砂質土。Ⅳ層の3㎝ブロックを含む。

SK-33
1　黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅲ2－1層よりやや色が薄い。粘性が強い。
2　黒褐色(10YR2/3)粘質土。Ⅲ2－1層よりやや粘性が強い。
3　暗褐色（10YR3/3）粘質土。Ⅳ層がブロック状に混じる。

SK-34
黒褐色（10YR2/3）粘質土。Ⅲ2－1層に比べ色薄い。粘性あり。Ⅳ層を含む。

SK-35
1　黒色（10YR2/1）粘質土。色はⅢ2－1層より薄い。粘性が強い。
2　暗褐色（10YR3/3）粘質土。Ⅲ2－1層のブロックとⅣ層のブロックが混じる。粘性あり。

SP-302
1　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ1－1層と比べ、砂粒は細かい。Ⅲ2－1層・Ⅳ層の微細なブロックが少し混じる。やや粘性あり。
2　黒褐色（10YR2/2）砂質土。Ⅲ2－1層・Ⅳ層の1㎜ブロックが混じる。やや粘性あり。
3　黒褐色（10YR3/2）粘質土。Ⅲ2－1層の3㎜ブロック状に混じる。粘性は強い。

SP-313
黒色（10YR2/1）砂質土。Ⅲ2－1層がやや多く混じる。粘性あり。Ⅳ層の微細ブロックが混じる。

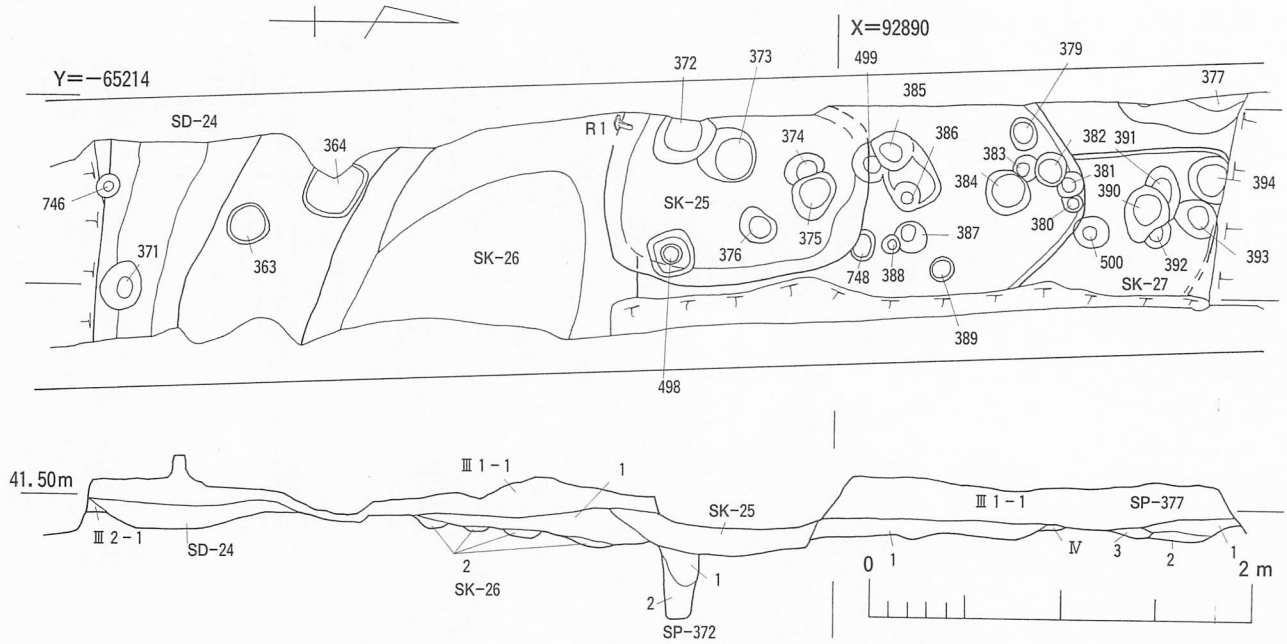
SP-314・315
1　黒褐色（10YR3/1）砂質土。1㎜前後の粗砂が少し混じる。
2　黒褐色（10YR3/1）砂質土。3㎝のⅣ層ブロックが混じる。しまりあり。
3　黒褐色（10YR2/2）砂質土。砂粒は細かく、やや粘性あり。Ⅳ層ブロックと2㎝の炭化物が少し混じる。
4　黒褐色（10YR2/2）砂質土。1㎜前後の粗砂とⅣ層に炭化物が少し混じる。やや粘性あり。

SP-333
黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ2－1層・Ⅳ層の2㎝ブロックが多く混じる。しまりあり。

SP-337・338
黒褐色（10YR3/2）砂質土。SP-339埋土に比べ、Ⅳ層ブロックを多く含む。しまりあり。

SP-339
黒褐色(10YR3/1)砂質土。Ⅲ1－1層をベースにⅢ2－1層・5㎝のⅣ層ブロックが混じる。やや粘性あり。

SP-469
黒褐色（10YR2/3）粘質土。



Ⅲ1－1
黒褐色（10YR3/2）砂質土。3㎜程の礫をかなり多く含む。Ⅳ層ブロックが少し混じる。しまりあり。

Ⅲ2－1
黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅳ層のブロックを含む。

SD-24
黒褐色（10YR2/2）砂質土。Ⅳ層微細ブロックと炭化物を含み、粘性あり。

SK-25
褐灰色（10YR4/1）砂質土。2㎜程の礫を含み、1～5㎝のⅣ層ブロックが多く混じる。ブロック状に混じる。

SK-26
1　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ1－1層との区別はつきにくい。わずかに砂粒が多い。Ⅲ1－1層より砂粒は細かい。
2　暗褐色（10YR3/3）砂質土。3㎝のⅣ層ブロックが混じる。しまりあり。

SP-377
1　褐灰（10YR5/1）砂質土。礫は2㎜大。しまりは弱い。
2　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。Ⅲ1－1層より砂粒は細かいが、量は多い。
3　黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂礫を含み、しまりあり。

SP-372
1　褐色（10YR4/6）粘質土。Ⅳ層がブロック状に入る。
2　灰黄褐色（10YR4/2）粘質土。

図66　ⅡWe区実測図(2)（縮尺1/40）（遺構名「SP-」一部省略）

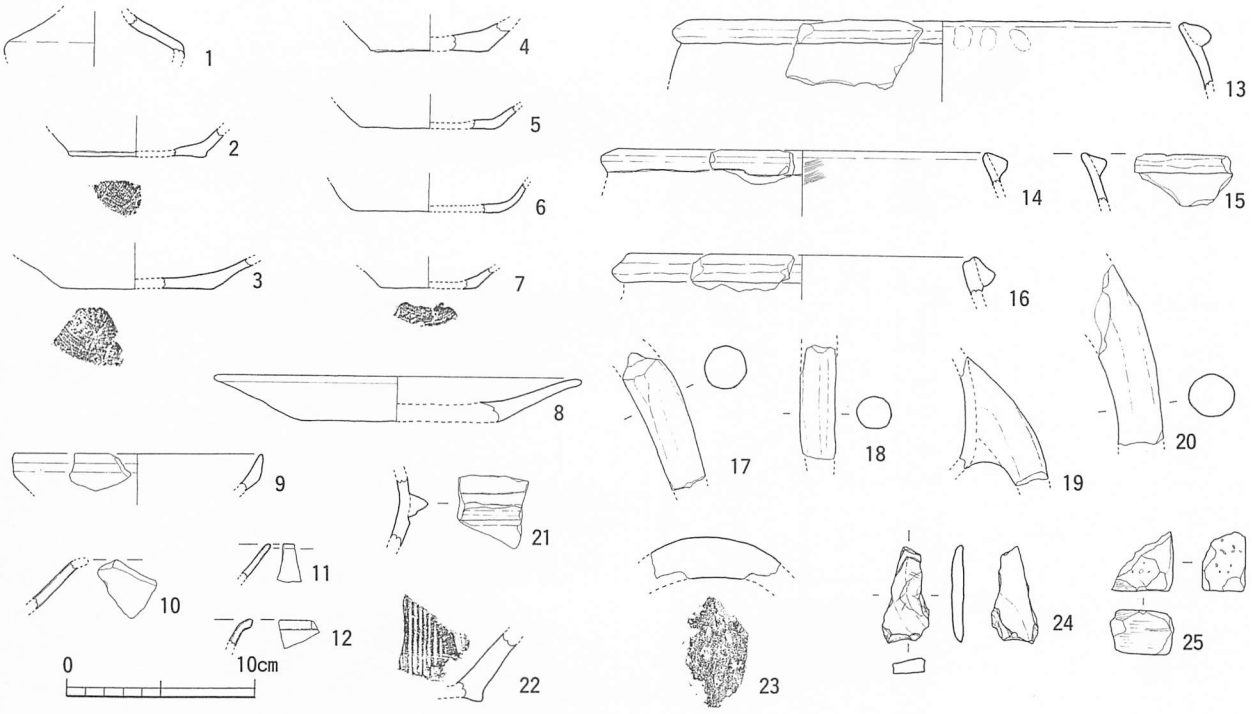


図67　ⅡWe区出土遺物実測図(1)（縮尺１／４）

区内で南北約４mの範囲に広がり、おそらくは北西－南東に斜行する４×３m程の隅丸長方形土壙と推定される。深さは20cm弱で、埋土は黒褐色から暗褐色の砂質土。北側の底面で柱穴数基が認められた。出土遺物から図化したのは８点（31～33、36～40）。31・32はSK-25北側の出土。31はSK-26内のSP-384出土で、古墳時代の須恵器坏蓋の口縁部。32は土師器皿底部。33・36～40はSK-25南側の出土。33はSK-25脇の西壁際でR１として取り上げた羽釜脚。36は須恵器坏蓋のつまみ。７世紀代。37・38は土師器の皿ないし坏の底部。外底面は回転糸切り。39・40は羽釜体部から脚部。以上から、SK-26も14世紀代の遺構である。

⑤　**SK-27**（図66）

SK-26の北側、ⅡWe区北端の攪乱との間にある、深さ５cm程の土壙。底面で若干の柱穴が見られる。図化できた出土遺物は２点。34はSK-27内のSP-390出土の安山岩質の台石。表面が部分的に黒変する。35は土師器坏底部で、内外面ともナデ。

⑥　**SK-33**（図65）

SK-33はⅢ－２層下、X＝92878付近で検出した。西側が調査区外に延びるが、南北1.5m・東西0.8m程の規模と推測され、深さは10cm以下と浅い。埋土は黒～暗褐色の粘質土。出土遺物はない。

⑦　**SK-34**（図65）

SK-34はⅢ－２層下、X＝92881付近で検出した。南北長１m前後であるが、西側が調査区外に延びるため東西長は不明。深さは10cm以下と浅く、埋土は黒褐色の粘質土。形状・埋土から南側のSK-33とほぼ同様の遺構と推定される。出土遺物はない。

⑧　**SK-35**（図65）

SK-34の北側、遺構の大半は調査区西外部に延びると推定される。深さは10cm前後で、埋土は黒褐～暗褐色の粘質土。やはり南側のSK-33・34と同様の遺構であろう。出土遺物はない。

⑨　**柱穴・小穴**

ⅡWe区では150基近くの柱穴・小穴を検出しているが、明確な掘方・柱痕跡をもつものは少ない。SP-302、313、314・315、339、372などが西壁でしっかりした土層を確認できる柱穴であるが、SP-284、285、310、334、361等もしっかりとした深さの柱穴である。なお、Ⅲ－２層下で見いだされた柱穴・小穴はいずれも浅い。

柱穴・小穴出土遺物の内、図化できたのは８点。41・42はSP-314・315出土の土師器皿底部。41は外底面回転糸切り。43・44はSP-306・307出土。43は羽釜口縁部で端部よりやや下に断面三角形の突帯を貼り付

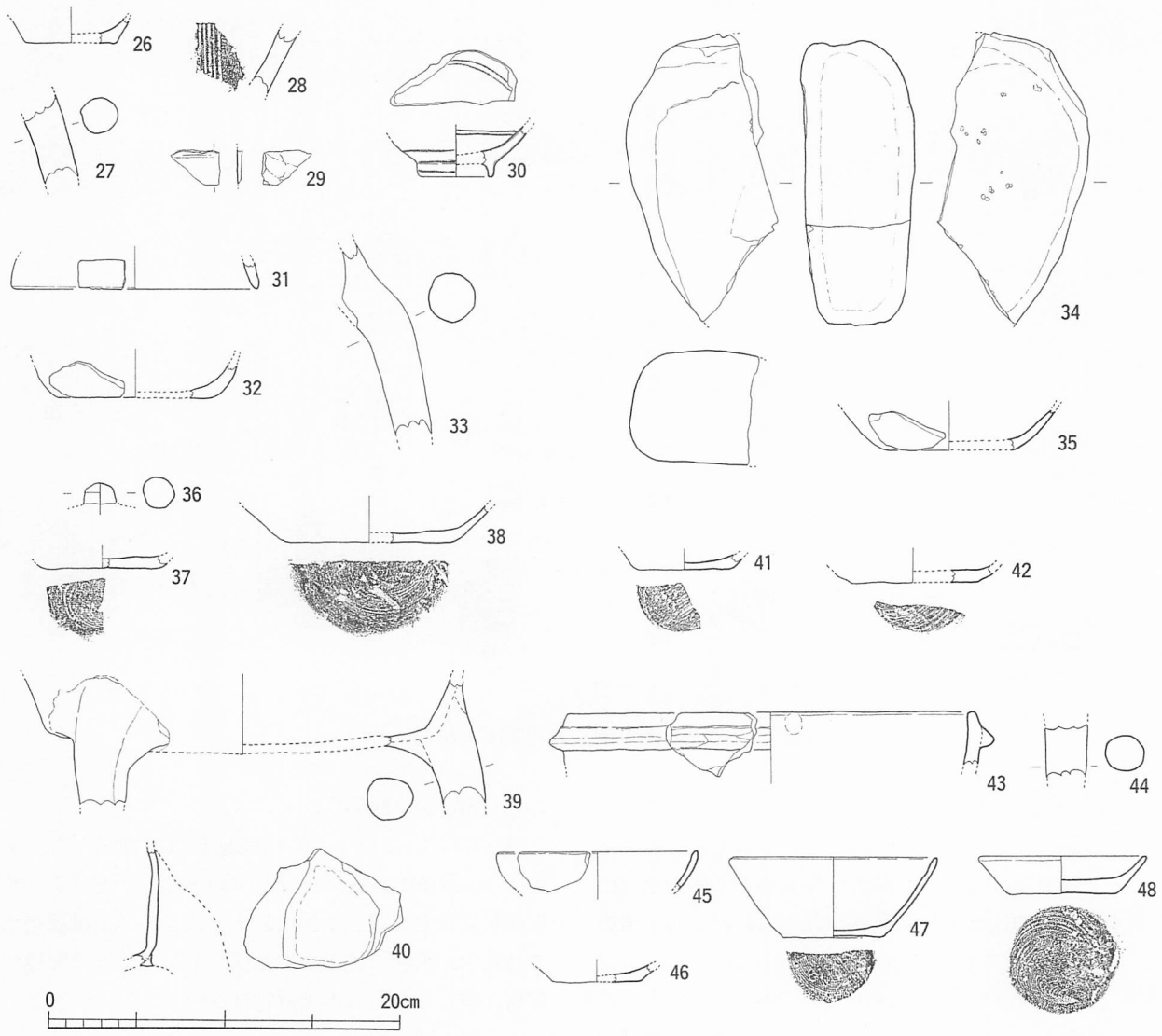


図68　ⅡWe区出土遺物実測図(2)（縮尺１／４）

ける。14世紀前半。44は羽釜脚部片。45はSP-310出土の土師器の坏口縁部。46はSP-344出土の土師器皿。回転糸切り痕が残り、13世紀以降。47はSP-303出土の土師器坏。体部・底面とも回転ナデが顕著。10世紀後半～11世紀前半。48はSP-285出土の土師器皿。口径9.2cmで、底部は回転糸切り痕が残る。底部から体部への立ち上がりが鋭く、14世紀代。

⑩　Ⅲ層出土遺物

ⅡWe区出土遺物の内、Ⅲ層出土として取り上げた遺物が多くある。このうち図化できたのは24点（１～７、９～25)で、Ⅲ－２層出土は含まない。１は須恵器の小壺。胴上位で大きく張り、頸部に向かって窄まる。２～７は土師器坏ないし皿の底部。２・３・７の外底面に回転糸切りが見られ、４～６は底面ナデ。３は底径８cmの大型品である。９は天目茶碗口縁部。10～12は青磁碗。10は端反りの口縁部。11は口縁が直線的に開く。13世紀前半。12は口縁先端で強く端反りする。14世紀代。13～16は羽釜の口縁部。いずれも口縁端部に接して突帯を貼り付ける。14世紀後半。17～20は羽釜脚部片。21は瓦質の羽釜の胴部片で、外面に断面三角形の突帯を貼り付ける。22は備前焼擂鉢の底部。14～15世紀代。23は丸瓦。凹面に布目がある。24は緑色片岩の板状素材。25は砂岩質砥石の破片。この他に、鏃１点(図115-8)と鉄滓１点(図115-13)も出土している。

⑾　ⅡEf区（図69・70・78、図版15）

テニスコート南半の西側約18mの区間。Ⅰ層・Ⅱ層下に安定してⅢ層が広がり、遺構も密集し、かつよく

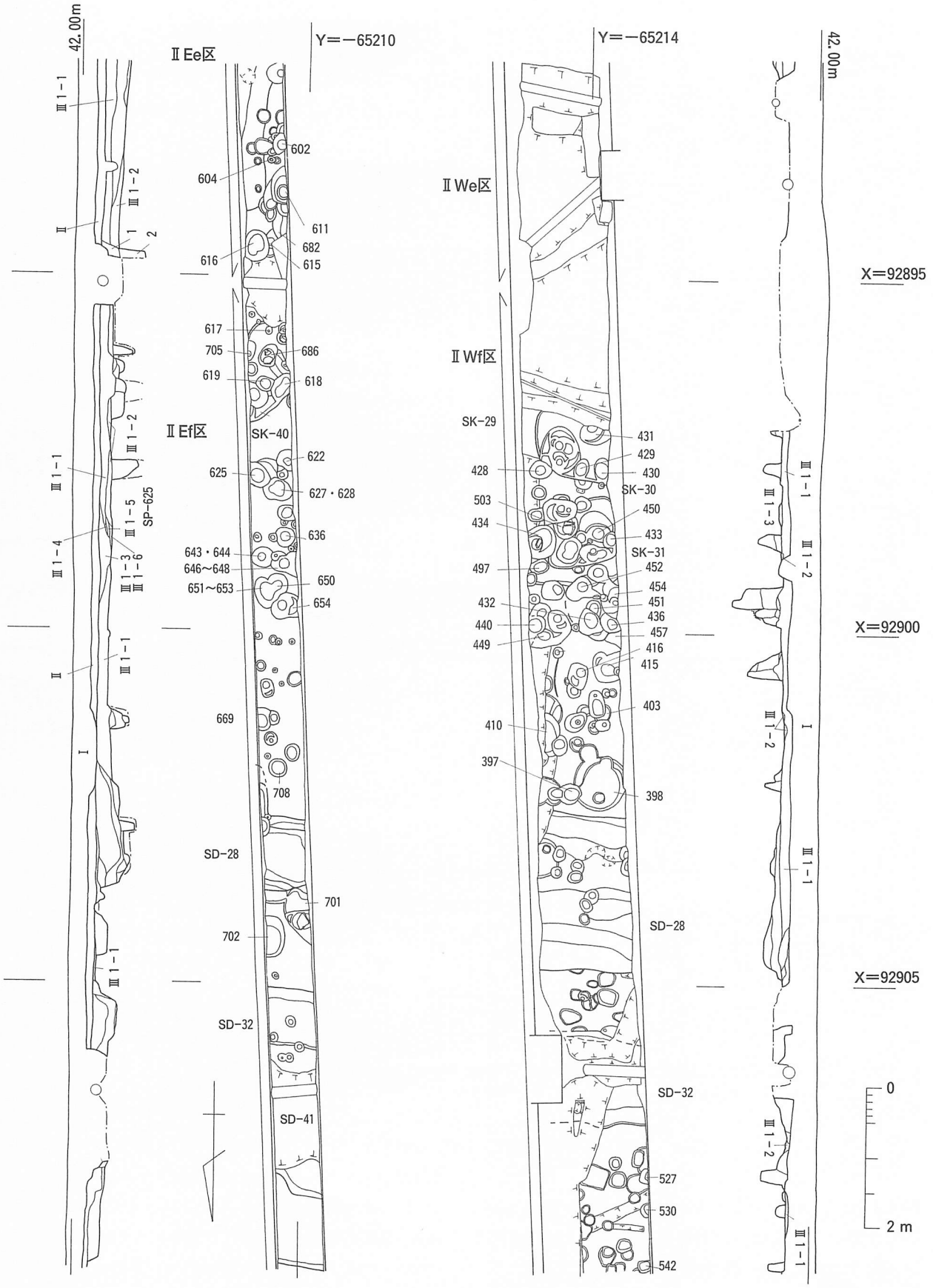


図69　Ⅱ区実測図(7)（縮尺１/80）（遺構名「SP-」一部省略）

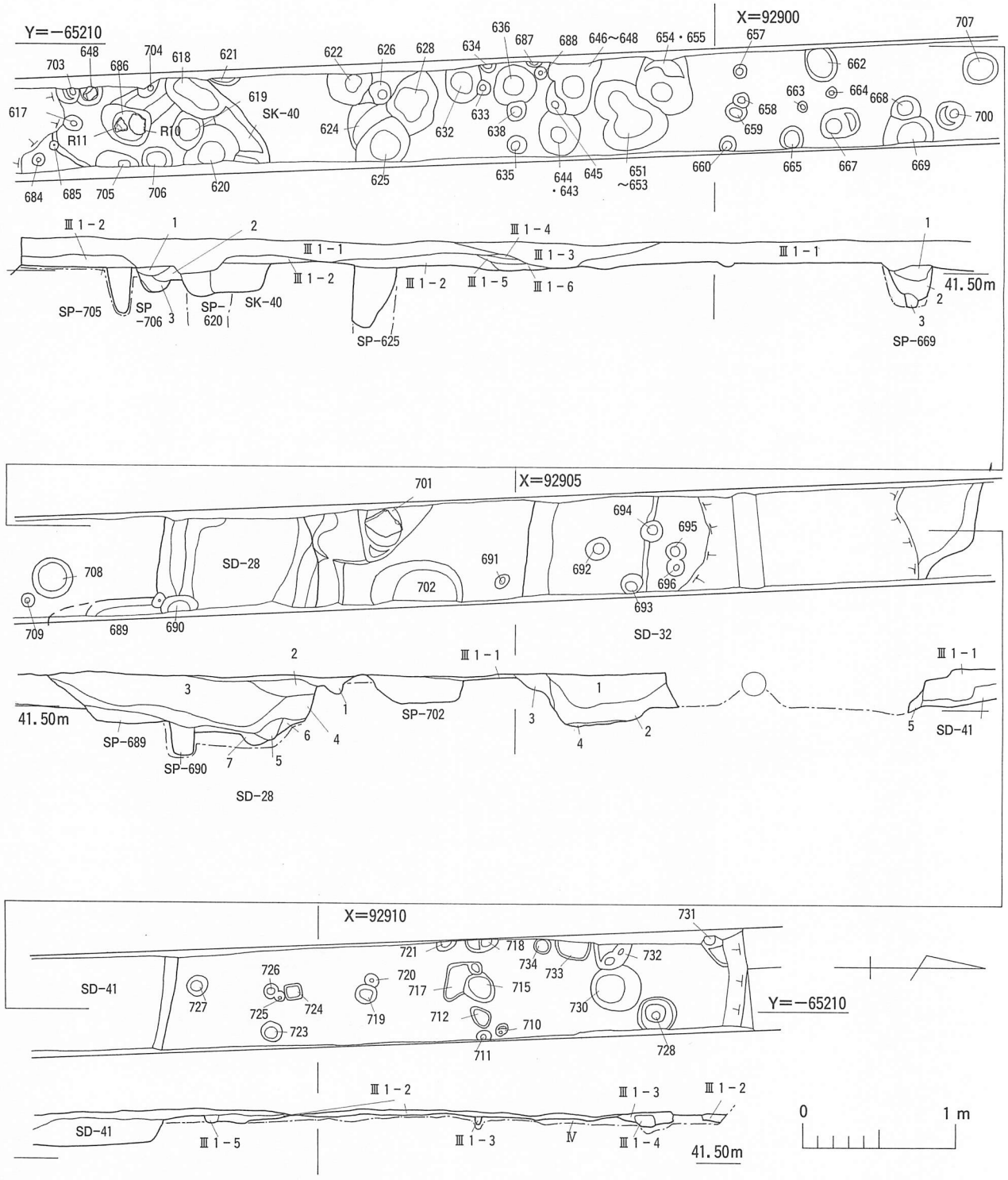


図70　ⅡEf区実測図（縮尺１/40）（遺構名「SP-」一部省略）

残る。出土遺物も少なくない（図71・72、図版28-6・7）。Ⅳ層上面で検出した遺構は、SK-40、SD-28・32と80基弱の柱穴・小穴である。

① **SK-40**（図70）

ⅡEf区の南端、幅１m程の北東－南西方向の土壙である。SP-617～620に切られ、底面でSP-648、685、686、703～706を検出した。平均して20㎝前後の深さである。SK-40の範囲内から出土した遺物で図化できたのは、SP-686出土の３点（27・29・30）。27はR10として取り上げ、29はR11として取り上げたものであ

図70　土層注記

Ⅲ１－１
黒褐色（10YR3/2）砂質土。１㎜の粗砂を極少量含む。やや灰色味を帯びる。

Ⅲ１－２
Ⅲ１－１層に酷似するが、わずかに粘性が強い。
黒褐色（10YR3/2）砂質土。細かい砂粒部分をラミナ状に含み、しまりあり。やや粘性あり。
黒褐色（10YR2/2）砂質土。黒味を帯びる。１㎜の粗砂をごく少量含む。

Ⅲ１－３
Ⅲ１－１層と同じ色調で、夾雑物も同様だが、やや灰色味を帯び、砂質が強いため粘性は感じられない。
黒褐色（10YR2/2）砂質土。Ⅳ層と赤褐色土の微小なブロックを含む。やや粘性あり。しまりあり。

Ⅲ１－４
黒褐色（10YR3/1）砂質土。明褐色（7.5YR5/6）の５㎜ブロックを含む。砂粒は細かく均質。しまりあり。
黒褐色（10YR2/3）砂質土。Ⅲ１－３層と同じ土がブロック状に入っているが、量は少ない。

Ⅲ１－５
黒褐色（10YR3/1）砂質土。Ⅲ１－４層に似るが、やや灰色味を帯びる。
黒褐色（10YR2/2）砂質土と褐色（10YR4/4）シルトが混じる。

Ⅲ１－６
黒褐色（10YR3/1）砂質土。明褐色（7.5YR5/6）砂質土の５㎜ブロックを含む。砂粒は細かく均質。しまりあり。

SD-28
1　黒褐色（10YR3/2）砂質土。２㎜の礫を多く含む。
2　暗褐色（10YR3/4）砂質土。２～３㎜の礫を多く含む。
3　黒褐色（10YR3/2）砂質土。２～５㎜の礫を多く含む。やや黒味を帯びる。
4　黒褐色（10YR3/2）砂質土。３層よりやや灰色味を帯びる。
5　黒褐色（10YR3/2）粘質土。やや褐色味を帯びる。
6　褐色（10YR4/4）粘質土。黒褐色（10YR3/2）粘質土が混じる。
7　褐色（10YR4/4）粘質土。黒褐色（10YR3/2）粘質土が混じる。

SD-32
1　黒褐色（10YR3/2）砂質土。ややサクサクした感じ。
2　黒褐色（10YR3/2）砂質土。１層よりやや黒味を帯びる。
3　黒褐色（10YR3/2）砂質土。２㎜の礫を多く含む。
4　黒褐色（10YR3/2）砂質土。サクサクしている。
5　黒褐色（10YR3/2）砂質土。サクサクしている。黒味を帯びる。

SK-40
Ⅲ１－２層にⅣ層のブロックを多く含む。

SD-41
黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色の１㎝のレンズ状ブロックをやや多く含む。１㎝の角ばった炭化物を少し含む。

SP-620
SK-40に比べ、Ⅳ層のブロックは小さく、量も少ない。

SP-625
Ⅲ１－２層にⅣ層のブロックを多く含む。

SP-669
1　黒褐色（10YR2/2）粘質土。２㎜の礫を多く含む。
2　黒褐色（10YR2/2）粘質土。
3　黒褐色（10YR2/1）粘質土。礫を含まない。柱痕跡。

SP-689
黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。１㎜の粗砂を多く含む。

SP-690
黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色の２～３㎝の円形ブロックを少し含む。

SP-702
黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色の１㎝のレンズ状ブロックをやや多く含む。１㎝の角ばった炭化物を少し含む。

SP-705
黒褐色（10YR2/3）砂質土。Ⅳ層の微小なブロックと赤褐色（5YR4/8）シルトの微小なブロックを含む。砂粒は細かく、やや粘性あり。

SP-706
1　SK-40埋土に比べ、Ⅳ層のブロックは小さく、量も少ない。
2　Ⅲ１－１層とⅣ層の互層。
3　褐灰色（10YR5/1）砂質土。Ⅳ層の１㎝の円形ブロックをわずかに含む。粘性あり。

る。なお、30はR10下からの出土と、SP-648出土が接合したものである。27は土師器の坏ないし皿。底部には回転糸切り後板目圧痕が見られる。13世紀以降。29は被熱粘土塊で、外面は赤変し胎土にはスサの痕跡が見られる。竈等の構造物の一端と見られる。30は花崗岩質の台石の破片。またSK-40出土の刀子１点（図115－２）もある。SK-40は14世紀前後。

②　**SD-28**（図70）

SD-28はX＝92903付近で調査区を東西に横断する溝で、幅約１m、深さ約40㎝の断面逆台形状を呈する。東壁際で南側に屈曲して幅を増し、あるいはL字状のコーナー部分に当たるのかもしれない。埋土は黒褐色の砂質土。出土遺物から４点を図化した（20～23）。20・21は口縁端に突帯をもつ羽釜の口縁部。22は脚部。23は備前焼の大甕の肩部片。いずれも14世紀後半。

③　**SD-32**（図70）

SD-32はSD-28の北側に約1.2mの間隔を空けて並ぶ東西方向の溝。幅３m弱・深さ35㎝前後の断面逆台形状である。埋土もやはり黒褐色砂質土。底面に数基の柱穴を確認している。出土遺物で図化できたのは42のみ。備前焼の片口鉢口縁部で、片口部にあたる。14世紀後半から15世紀。

④　**SD-41**（図70）

SD-41は、SD-32の北側を画する攪乱で南側を切られた遺構で、やはり東西方向の溝である。残る北側のみで幅1.3mを測り、深さは20㎝前後とやや浅い。埋土は黒褐色の砂質土でSD-32にほぼ一致するが、別遺構と判断した。出土遺物はない。

⑤　**柱穴・小穴**

80基弱の柱穴・小穴を検出しているが、特に密集が高いのは、SK-40を中心とした柱穴群である。その北にも柱穴は展開するが、SD-41以北は特にまばらで小さなものとなる。明確な掘方・柱痕跡をもつものは、東壁土層で確認したSP-705、625、669、702等である

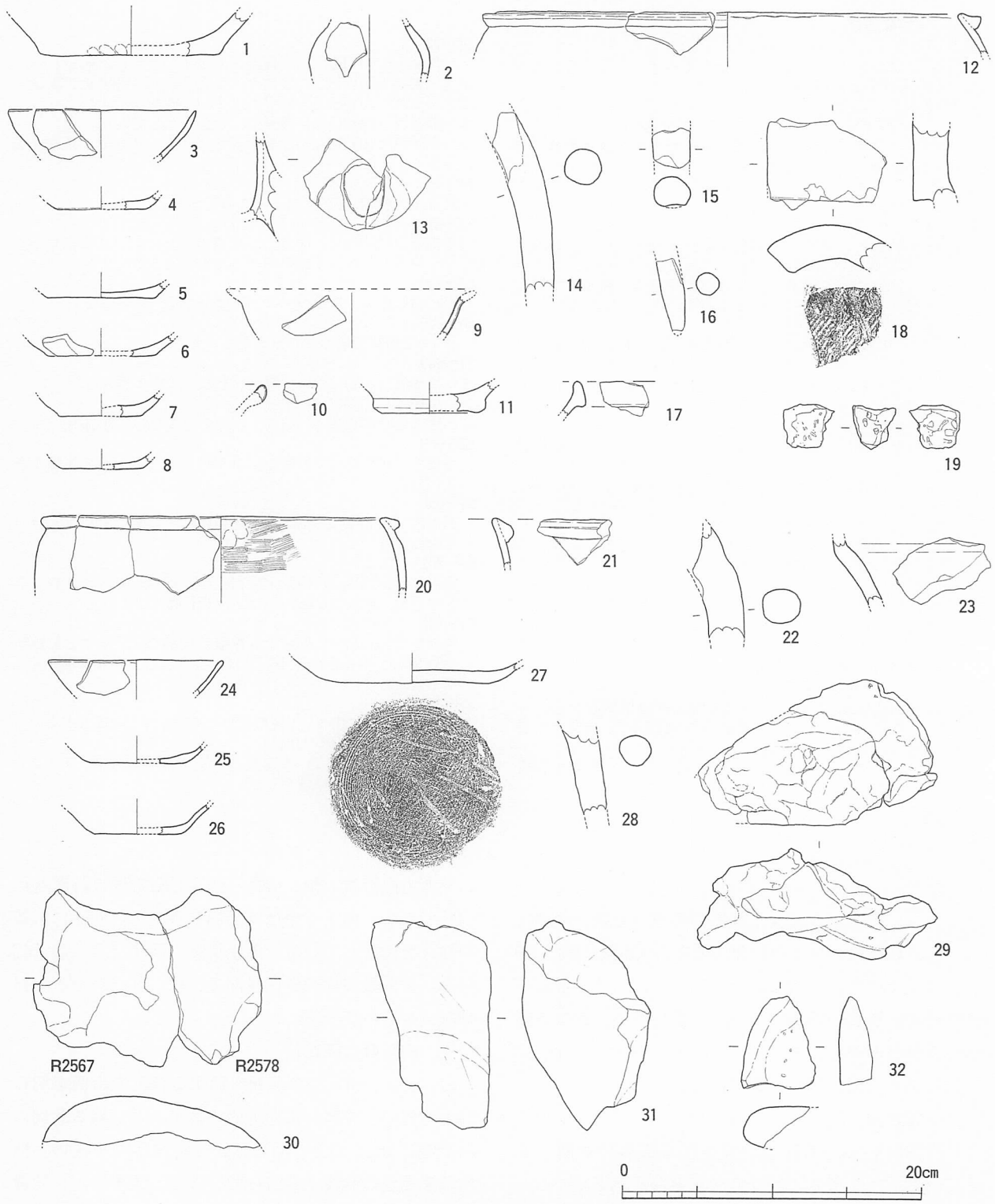


図71　ⅡEf区出土遺物実測図(1)（縮尺１／４）

が、SP-622、644、646、651、654、701、708、730等もしっかりとした深さの柱穴である。なお、SP-701からは板状の石材が出土している。

柱穴・小穴出土遺物で図化できたのは以下の通り。24～26・28はSP-617出土。24～26は土師器の坏ないし皿。28は羽釜脚部。31・32はSP-618出土。31は緻密な火成岩質の凹石破片。外面に被熱部分が見られる。32は砂岩質の台石破片。外面に煤が付着する。33・34はSP-627・628出土。33は土師器の皿口縁部。34は土師器皿の底部で回転糸切り痕が残る。SP-627から

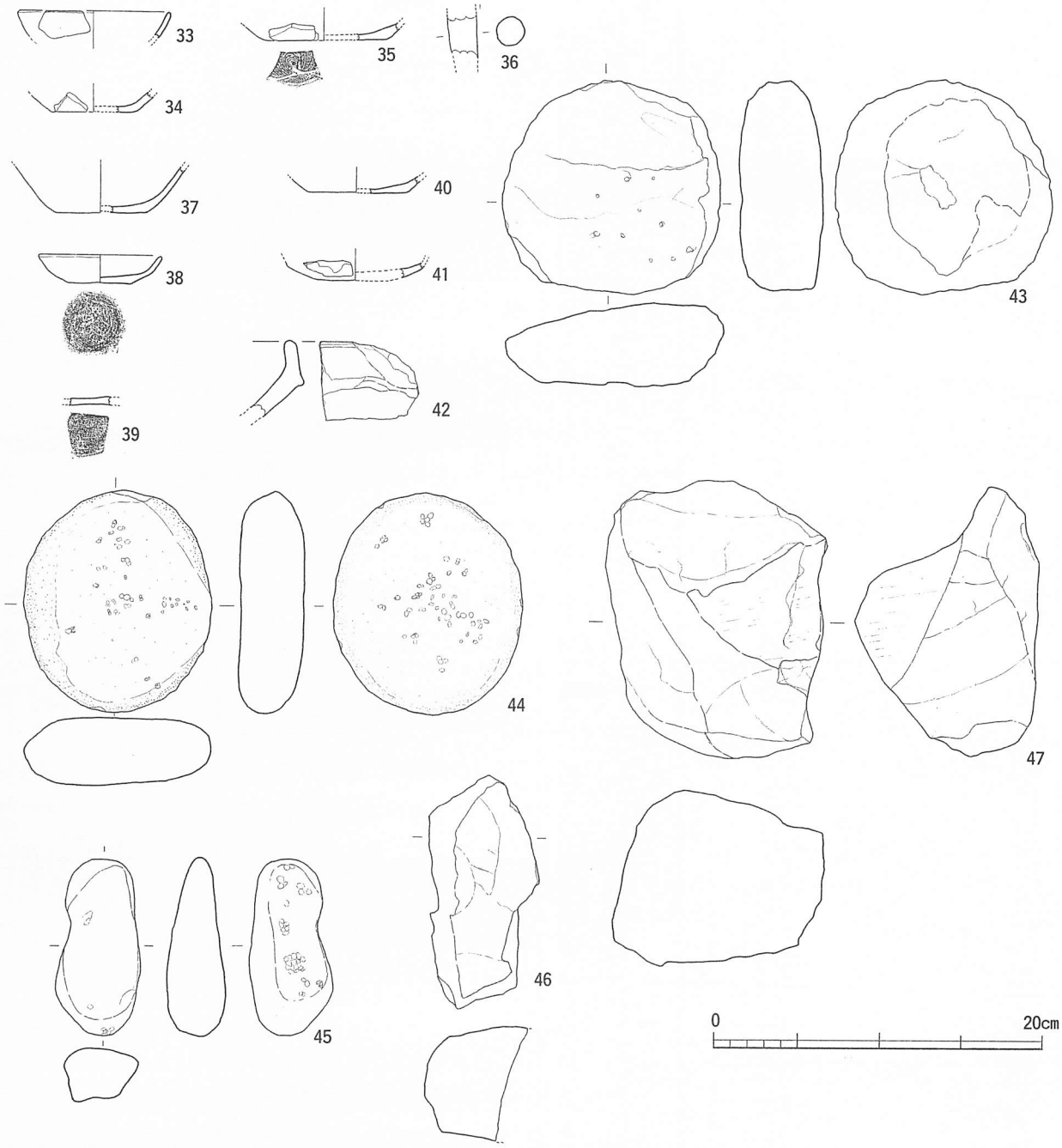


図72　ⅡEf区出土遺物実測図(2)（縮尺１／４）

は、鉄滓１点(図115-14)も出土している。35・36はSP-636出土。35は坏もしくは皿の底部で、回転糸切り痕が残る。13世紀以降。36は羽釜の脚部片。37はSP-646出土の土師器の坏底部。38はSP-650出土の土師器皿の完形品。外底面は回転糸切り痕が残る。39はSP-653出土の土師器皿底部。40はSP-731出土の坏もしくは皿の底部片。回転糸切り痕が残る。41はSP-625出土の青磁の皿体部。体部下半で屈曲する。43はSP-652出土の花崗岩質の台石。一面には焼けた痕跡がある。44はSP-643出土の台石。両面の中央部に敲打痕がよく残り、片面には被熱部分が認められる。45はSP-655出土の敲石。下方先端と片面に敲打痕がある。46・47はSP-651出土。46は台石で、一部に擦過痕が残る。

⑥　Ⅲ層出土遺物

ⅡEf区出土遺物の内、Ⅲ層出土として取り上げた遺物が多くある。このうち図化できたのは19点。１は弥

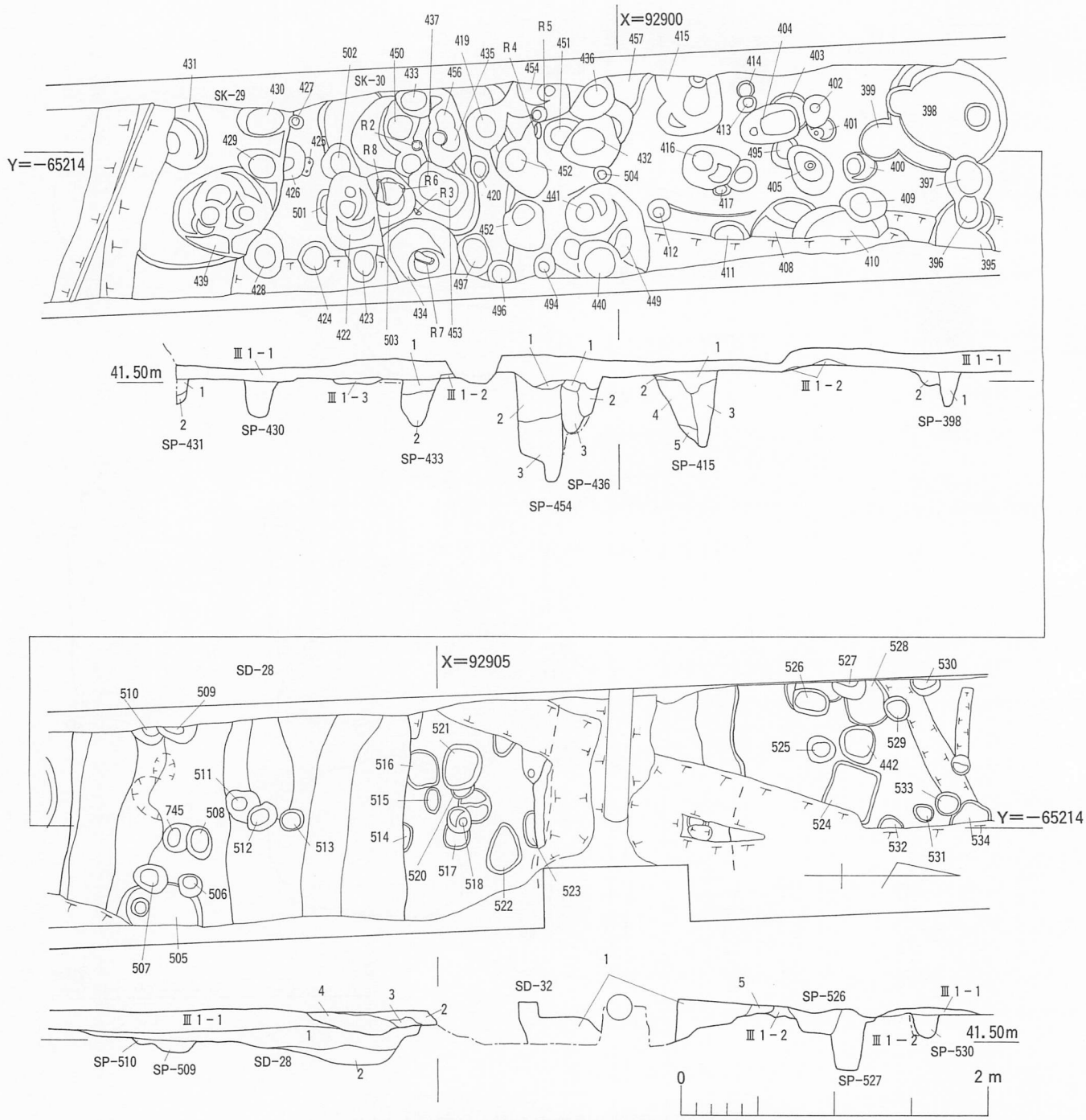


図73　ⅡWf区実測図（縮尺1/40）（遺構名「SP-」一部省略）

生土器の壺底部。2は須恵器壺の胴部。3は土師器坏の口縁部。4～8は土師器Ⅲないしは坏の底部。7は回転糸切り痕。9は龍泉窯系の青磁碗の体部で口縁部は端反り。12世紀中頃～末。10は白磁碗の口縁部で、端部は玉縁状。11世紀末～12世紀前半。11は白磁碗底部で、やや低めの輪高台がつく。11世紀後半～12世紀前半。12～14・16は羽釜。12が口縁部、13は体部で、他は脚。15は被熱粘土塊で、横断面円形。器表面には灰褐色に変色した部分が見られる。17は須恵質のこね鉢口縁部。18は丸瓦の玉縁部。19は鉄滓。

(12)　ⅡWf区（図69・73、図版16）

農学部校舎中庭の南半東側の約26mの区間。表土下に安定した10cmを越えるⅢ層が堆積し、出土遺物も多い(図76・77、図版29-1～7)。とりわけ、南部での遺構密集は調査区中最も高い（図版16-3)。なお、北部

図73　土層注記

Ⅲ１－１
黒褐色（10YR3/2）砂質土。３㎜程の礫をかなり多く含む。Ⅳ層ブロックが少し混じる。しまりあり。

Ⅲ１－２
黒褐色（10YR2/2）砂質土。褐色（10YR4/4）粘質土の１～２㎝のブロックを少し含む。
黒褐色（10YR2/2）砂質土。Ⅳ層およびⅢ２－１層が混じる。ややしまりあり。
黒褐色（10YR3/1）粘質シルト。明赤褐色（5YR5/8）土が混じる。粘性は弱い。

SD-28
1　Ⅲ１－１層とほとんど区別がつかない。わずかに砂粒が混じりあう。
2　黒褐色（10YR3/2）砂質土。１層に比べ、粘性あり。

SD-32
1　黒褐色（10YR3/1）粘質シルト。明赤褐色（5YR5/8）土が混じる。粘性は弱い。
2　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ１－１層にほぼ同じ。やや砂粒が多い。あるいはⅠ層内の堆積か。
3　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅳ層の小ブロックを含み、しまりあり。あるいはⅠ層内の堆積か。
4　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。Ⅳ層にわずかにⅢ１－１層が混じる。粘性あり。あるいはⅠ層内の堆積か。
5　１層にⅣ層の10cmの円形ブロックをわずかに含む。

SP-398
1　黒褐色（10YR2/2）砂質土。砂粒は細かく、１㎝の小ブロックを含み、やや粘性あり。
2　黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅲ２－１層とⅣ層の小ブロックを混じえ、粘性あり。

SP-415
1　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ１－１層に比べ、砂粒少なく、しまりあり。
2　にぶい黄褐色（2.5Y5/3）砂質土のブロック。
3　暗褐色（10YR3/3）砂質土。鉄分の微細粒を含み、Ⅳ層の３㎝ブロックが多く混じる。しまりあり。
4　黒褐色（10YR3/1）砂質土。５㎝のⅣ層ブロックを多く混じえ、しまりあり。炭化物を含み、やや粘性あり。
5　灰黄褐色（10YR4/2）粘質土。Ⅳ層にⅢ１－１層が均質に混じり、粘性は強い。

SP-431
1　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色（10YR4/4）粘質土の１～３㎝の円形ブロックをやや多く含む。
2　黒色（10YR2/1）粘質土。黒味が強い。

SP-430
黒色（10YR2/1）粘質土。褐色（10YR4/4）粘質土の楕円形の２～３㎝のブロックを少し含む。

SP-433
1　黒色（10YR2/1）粘質土。褐色（10YR4/4）粘質土の楕円形の１㎝ブロックを少し含む。
2　１層とほぼ同じ。やや黒味が強い。

SP-436
1　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色（10YR4/4）砂質土の２～３㎝ブロックを少し含む。土器片を含む。
2　褐色（10YR4/4）砂質土。
3　黒色（10YR2/1）粘質土。土器片と粒状炭化物を少し含む。

SP-454
1　黒褐色（10YR2/2）砂質土。褐色（10YR4/4）砂質土の粒状ブロックを少し含む。
2　褐色（10YR4/4）粘質土。１層の黒褐色砂質土が混じる。
3　褐色（10YR4/4）粘質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１～３㎝の楕円形ブロックを極少量含む。

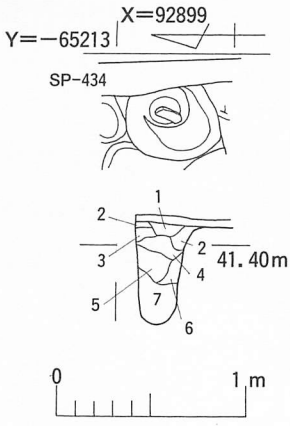
SP-509
黒褐色（10YR3/2）砂質土。３㎝のⅣ層ブロックを含み、しまりあり。SD-28の１層に比べ、砂粒は少ない。

SP-510
黒褐色（10YR3/2）砂質土。３㎝のⅣ層ブロックを含み、しまりあり。SD-28の１層に比べ、砂粒は少ない。

SP-526
黒褐色（10YR3/1）粘質シルト。５㎝のⅣ層のブロックを多く含む。

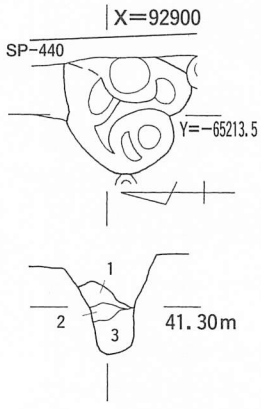
SP-527
黒褐色（10YR3/1）粘質シルト。１㎝のⅣ層円形ブロックをまばらに含む。

SP-530
黒褐色（10YR3/1）粘質シルト。５㎝のⅣ層のブロックを多く含む。



SP-434
1　黒褐色（10YR2/2）砂質土。褐色（10YR4/4）シルトの粒状ブロックを極少量含む。
2　黒褐色（10YR3/1）粘質土。やや灰色味が強い。
3　褐色（10YR4/4）シルト。黒褐色（10YR2/2）砂質土がまばらに混じる。
4　黒褐色（10YR2/2）砂質土。黒色（10YR2/1）粘質土の５～10㎜の円形ブロックを極少量含む。土器片を含む。
5　４層よりやや茶色味が強い。
6　褐色（10YR4/4）シルトの１～３㎝のやや粘性のあるブロックを多く含む。
7　黒色（10YR2/1）粘質土。褐色（10YR4/4）粘質土が１～３㎝のブロック状に混じる。

図74　SP-434実測図（縮尺１/40）



SP-440
1　黒褐色（10YR2/2）粘質土。にぶい黄褐色（10YR5/4）シルトの５㎜の楕円形のブロックを少し含む。
2　褐色（10YR4/4）粘質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１㎝の楕円形のブロックを少し含む。
3　黒褐色（10YR2/2）粘質土。にぶい黄褐色（10YR5/4）シルトの１～２㎝の楕円形のブロックを少し含む。

図75　SP-440実測図（縮尺１/40）

のおよそX＝92913～92917の範囲では、東西幅は狭い範囲ながらⅢ－２層が安定して堆積していた。Ⅳ層上面で検出した遺構は、SK-29～31、SD-28・32と、100基を越える柱穴・小穴である。

①　**SK-29**（図73）

ⅡWf区の南端、南側を攪乱に切られた0.7×１m程の範囲に広がると認識した土壙である。埋土はⅣ層ブロックを含む黒褐色砂質土。底面でSP-429～431、439

を検出した。

SK-29の範囲内から出土した遺物で図化できたのは5点（16～20）。16はSK-29出土、17はSP-429出土、18～20はSP-430出土として取り上げた。16は羽釜脚部。17は土師器皿の底部である。体部下半に傾斜変換点があり、底面には回転糸切り痕が残る。18は土師器皿の底部。回転糸切り痕が残る。19は羽釜上半部。口縁端に接して突帯を貼り付ける。20も羽釜の底部から脚部。SK-29は14世紀後半。

② **SK-30**（図73）

SK-29の北側にわずかの間隔を空けて、ほぼ調査区を横断するように東西に長い1.2×0.9m程の範囲を想定した土壙で、SP-422に切られる。埋土は黒褐色砂質土で、砂粒が少なく、Ⅳ層ブロックを多く含み、焼土も混じる。SK-30内でSP-433～435、437、438、450、453、456、502、503を検出した。このうちSP-434は二段状の掘方をもつ（図74）。

SK-30の範囲内から出土した遺物で図化したのは11点（21～30・35）。21はSK-30出土の土師器坏の底部。回転糸切り痕が残る。22～25はSP-434出土。22～24は土師器。22は坏口縁部。23は皿口縁部。24は皿底部。25はR7として取り上げた砂岩質の台石で煤が付着する。26はSP-433出土の土師器皿底部で、底面に回転糸切り痕。27はSP-450からR2として取り上げた土師器皿の完形品である。底部は回転糸切り後、板目圧痕が施される。SP-453からは、鏃1点（図115-7）が出土している。28～30はSP-503出土。28はR3とした青磁碗の体部。釉薬は厚い。29はR8とした花崗岩質の台石で、全面が黒変。30はR6した砂岩質の台石。敲打痕がまばらに見られる。35はSP-433出土の皿底部。SK-30は14世紀前後。

③ **SK-31**（図73）

SK-30の北側、調査区西に偏って1×0.8m程の三角形状の範囲を想定した土壙で、SP-419・441に切られる。埋土は、黒褐色砂質土でⅣ層の2㎝ブロックを含む。SK-31内でSP-432、436、451、452、454、457を検出している。

SK-31の範囲内から出土した遺物で図化したのは13点（31～34・36～43・59）。31～33はSK-31として取り上げた。31は土師器皿の底部で回転糸切り痕が残る。13世紀以降。32は亀山焼の胴部。外面は格子目タタキで一部ナデ消し。33は花崗岩質の砥石。34・36・38・40はSP-432出土。37・39はSP-436出土。34～37は土師器皿、38は坏ないし椀。39は14世紀後半の羽釜口縁部。41・42はSP-452・454出土の土師器皿。ともにほぼ完形。41はR5、42はR4として取り上げた（図版16-2）。法量もほぼ等しく、底部は回転糸切り痕が残る。43はSP-452出土の扁平な緑色片岩石材。59はSP-457出土の坏底部。回転糸切り痕が残る。SK-31は14世紀後半。

④ **SD-28**（図73、図版16-4）

SD-28は、北岸をX＝92905辺りにおく幅2m弱の調査区を横断する溝。ⅡEf区のSD-28とは南岸をほぼ一致させるものの、ⅡWf区で北側に拡張した格好となっている。またⅡWf区では北側に深く傾いた断面となり、最深部で深さ約25㎝。底面で若干の柱穴を検出している。埋土は黒褐色の砂質土。出土遺物は6点を図化した（10～15）。10は弥生土器の壺底部。11は土師器坏の口縁部。12は羽釜の口縁部。13～15は羽釜脚部。15は体部との接着面が見える。SD-28は14世紀後半の遺構である。

⑤ **SD-32**（図73）

SD-32は、中央に攪乱を挟むが、北岸をX＝92907におき、3m弱に及ぶ東西方向の溝。深さは約20㎝で、溝の立ち上がりはかなり緩やかである。埋土はⅢ-1層を切り込み、さらに南側のSD-28埋土を切る。ⅡEf区のSD-32に連なると推測したが、幅の異同も大きい。出土遺物はない。

⑥ **柱穴・小穴**

ⅡWf区で100基を越える柱穴・小穴を検出しているが、集中地点はSK-29～31として当初判断した南部である。これら以外で明確な掘方・柱痕をもつものは、SP-398、415、440（図75）、526、527等の柱穴であるが、SP-422、441、416、409等も深さ的には加えることができる。なお、SD-28・32以北ではそのような柱穴がほとんどなくなる。

これら柱穴・小穴出土遺物の内、図化したものを以下解説しておく。44～47はSP-398出土。44・45は土師器皿の底部。46は須恵質の擂鉢口縁部。口縁端部は肥厚し、上方へ拡張する。47は砂岩質の砥石で、表面に煤が付着していることと、小口側が割られて面をなしていることから、竈の礎石として転用されていたと考えられる。48～51はSP-440出土。48は土師器皿の口縁部。49は羽釜の口縁部。50は花崗岩質の磨石。51は砂岩質の台石。袋状の鉄器1点（図115-10）もSP-440からは出土している。52・53はSP-415出土。52は

図76　ⅡWf区出土遺物実測図(1)（縮尺１／４）

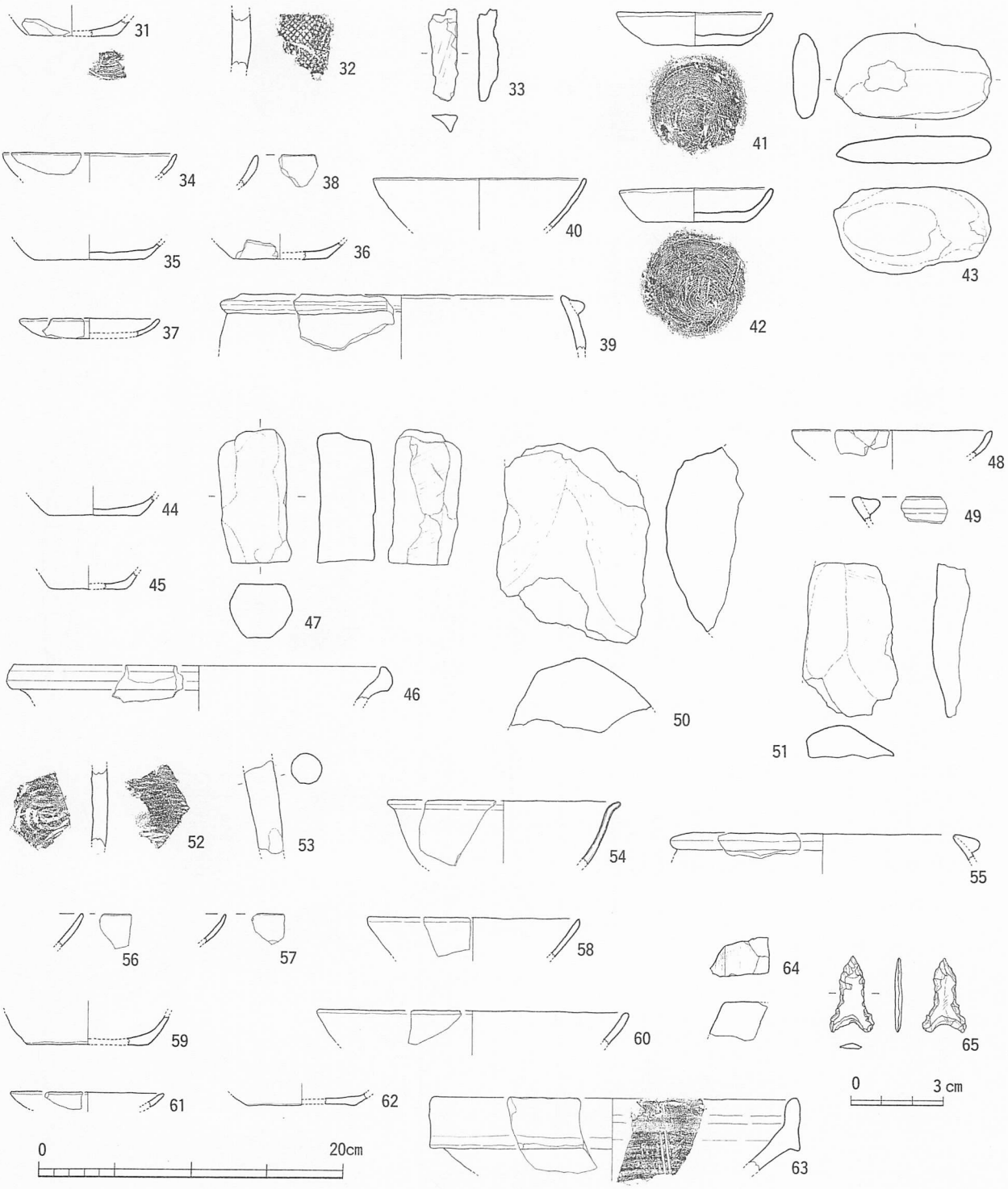


図77　ⅡWf区出土遺物実測図(2)（縮尺１/４、１/２）

須恵器の甕の胴部片。53は羽釜の脚部。54・55はSP-410出土。54は青磁碗の口縁部で、体部から緩やかに内湾し、口縁先端部は屈曲する。55は羽釜の口縁部で、口縁端に接して突帯を貼り付ける。56はSP-497出土の瓦器椀口縁部。57はSP-416出土の土師器坏または皿の口縁部。58はSP-448出土の坏口縁部。60はSP-446出土の坏口縁部。61はSP-403出土の土師器小皿の口縁部。62はSP-397出土の土師器皿底部。63はSP-428出土の備前焼の擂鉢口縁部。口縁部は直立して下方に突出する。15世紀代。64はSP-412出土の泥岩質

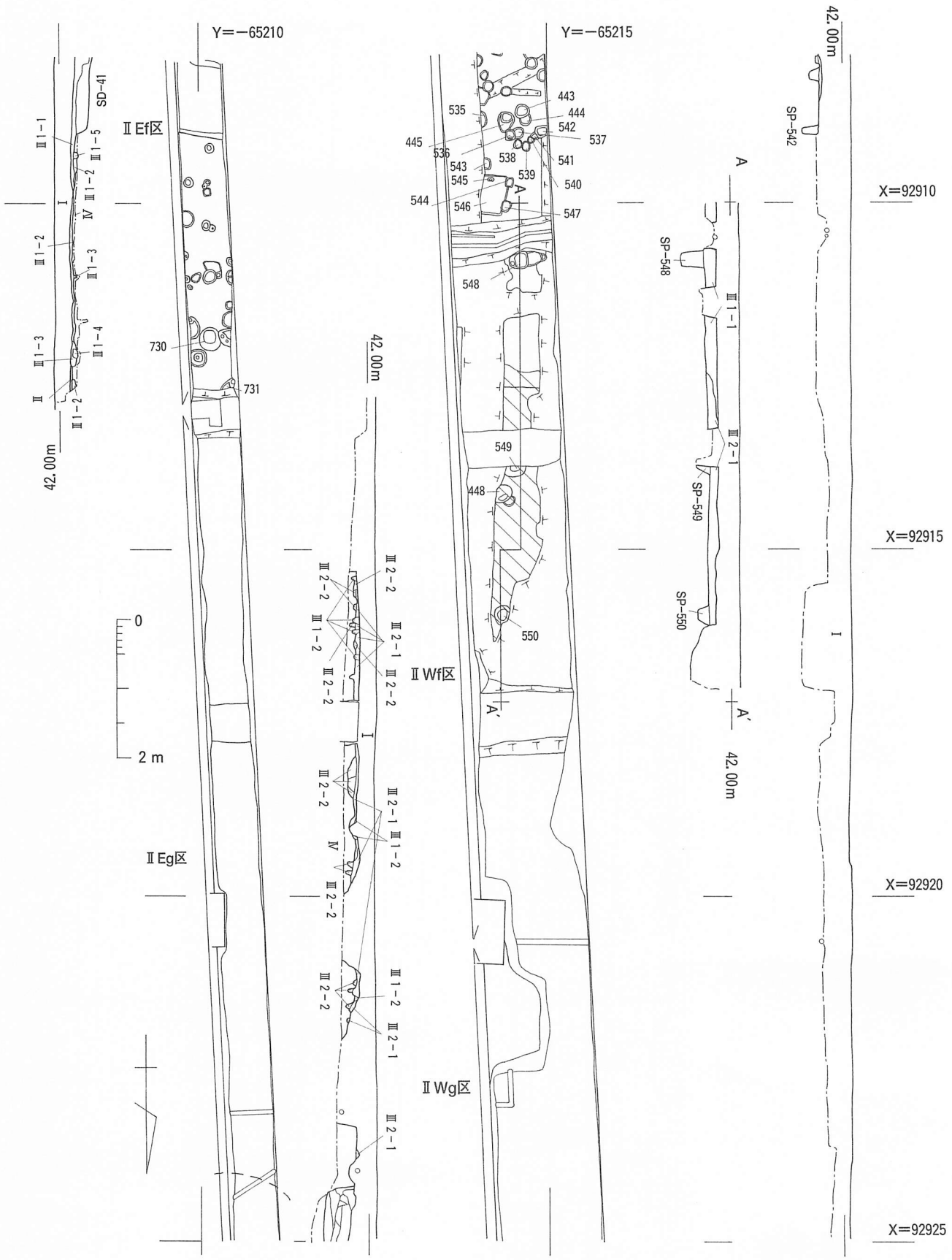


図78　Ⅱ区実測図(8)（縮尺１/80）（遺構名「SP-」一部省略）

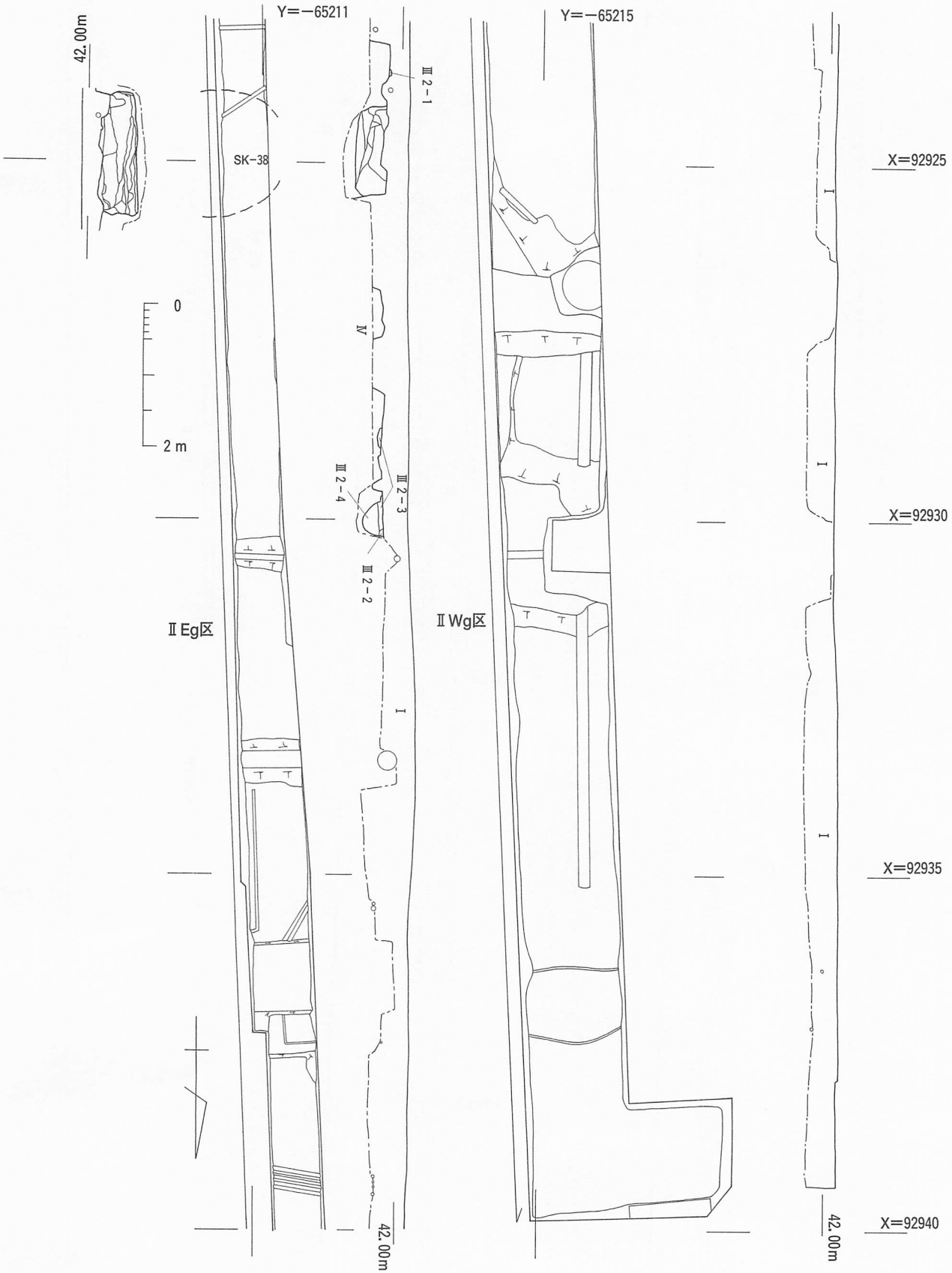


図79　Ⅱ区実測図(9)（縮尺１/80）

の砥石で、目は細かく側面も使用する。65はSP-449出土の打製石鏃。重量は0.6gでサヌカイト製。凹基無茎式で、先端は鋭利で薄い。剥離調整は薄く、表裏とも中央付近は調整が及ばない。

⑦　Ⅲ層出土遺物

ⅡWf区Ⅲ層出土遺物から図化したのは９点（１～９）。Ⅲ－２層からの出土はない。１・２は土師器椀の口縁部。１は口縁が緩やかに外反し、２は端部が肥厚する。３は土師器皿底部で、回転糸切り痕が残る。４は瓦質の羽釜口縁部。５は土師質の擂鉢底部。内面にヘラ状工具による縦方向の条線がある。６は羽釜脚。７は須恵質のこね鉢口縁部。８は須恵器甕の胴部片。外面に微隆起突帯が１条ある。９は青磁碗の体部。外面に蓮弁文があり、内外面の釉は薄い。

⑬　ⅡEg区（図78・79、図版17-1）

テニスコート北半西側から道路交差点までの約33mの間。この区間は、まさにガス管埋設に伴う掘方を再掘削した格好である。ただし、北端ではわずかながらも面的にⅣ層が確認できるとともに、SP-559～561の小穴３基を検出した。SP-559からは中世土師器が出土している。他は、残存する調査区壁の土層により、一部でⅢ層やⅣ層を確認するに留まる。

①　SK-38（図80、図版17-2）

ⅡEg区で特記すべきは、X＝92925付近の両壁で確認できた土壙断面である。SK-38とした。東壁での確認幅、底面で約1.8m。西壁では1.2m。深さは最大60cm前後確認できる。本来は、底面径２m弱と推定されよう。その断面形状であるが、東壁で顕著なように、底面が広がるフラスコ状を呈し、本来は貯蔵穴であったと推定される。また底面付近には、北側からの流れ込みによる埋土が堆積しており、その後、一気に埋没が進んだと見られる。東壁の南端から壺底部の破片（R９）が出土している（図81、図版29-8）。安定した平底で、外底面もミガキ仕上げする。体部外面は縦方向のやや太めのミガキ仕上げ、内面は粗い横方向のミガキ。胎土は砂粒を多く含む。弥生前期末～中期の時間幅が想定される。

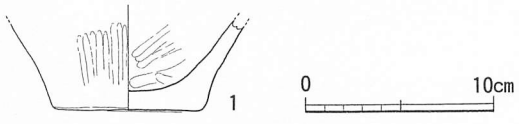
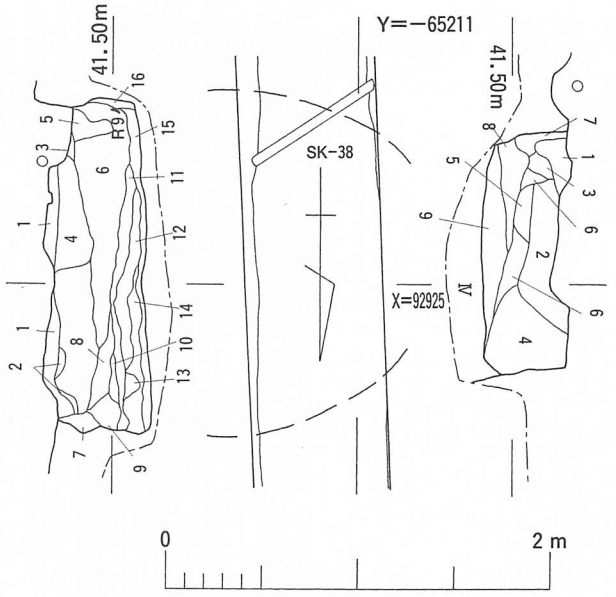


図81　SK-38出土遺物実測図（縮尺１/４）



SK-38　東壁土層
1　黒褐色（10YR3/1）粘質土。粘性は強い。
2　黒色（10YR2/1）粘質土。やや褐色味を帯びる。Ⅳ層の円形ブロックを少し含む。
3　黒色（10YR2/1）粘質土。２層と同じだが、粘性が弱い。
4　黒褐色（10YR3/2）粘質土。Ⅳ層が多く混じる。やや粘性は弱い。
5　黒色（10YR1.7/1）粘質土。粘性は強い。上部はやや褐色味を帯びる。Ⅳ層の２cmの円形ブロックを含む。
6　褐色（7.5YR4/6）粘質シルトに黒褐色（10YR3/1）粘質シルトが混じる。粘性は強く、ややサクサクした感じ。R９の北側の土は暗褐色味を帯びる。
7　暗褐色（10YR3/3）粘質土。粘性は弱く、１cmの礫を含む。Ⅳ層をブロック状に含む。
8　黒色（10YR1.7/1）粘質土。Ⅳ層が混じる。やや粘性が弱い。
9　黒色（10YR1.7/1）粘質土。８層と同じだが、Ⅳ層の含有比が高い。
10　褐色（7.5YR4/6）粘質シルトに黒褐色（10YR3/1）粘質土が混じる。粘性は強く、ややサクサクした感じ。
11　黒色（10YR2/1）粘質土。褐色味が強く、粘性は弱い。Ⅳ層の１cmの円形ブロックを多く含む。
12　黒色（10YR2/1）粘質土。粘性は弱い。Ⅳ層との互層。
13　黒色（10YR1.7/1）粘質土。Ⅳ層の５mmの円形ブロックを多く含む。
14　黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅳ層が多く混じり、褐色が強い。
15　黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層が多く、色調は斑らで均一でない。
16　黒色（10YR2/1）粘質土。黒褐色土が混じる。しまりあり。

SK-38　西壁土層
1　東壁の５層に対応。
2　東壁の２層に対応。
3　Ⅳ層ブロック。
4　東壁の４層に対応。
5　黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅳ層の1.5cmの円形ブロックをまばらに含む。
6　黒褐色（10YR3/1）粘質土。８層が混じり、やや粘性が強い。
7　黒褐色（10YR3/1）粘質土とⅣ層の互層。
8　東壁の６層に対応。
9　東壁の15層に対応。

図80　SK-38実測図（縮尺１/40）

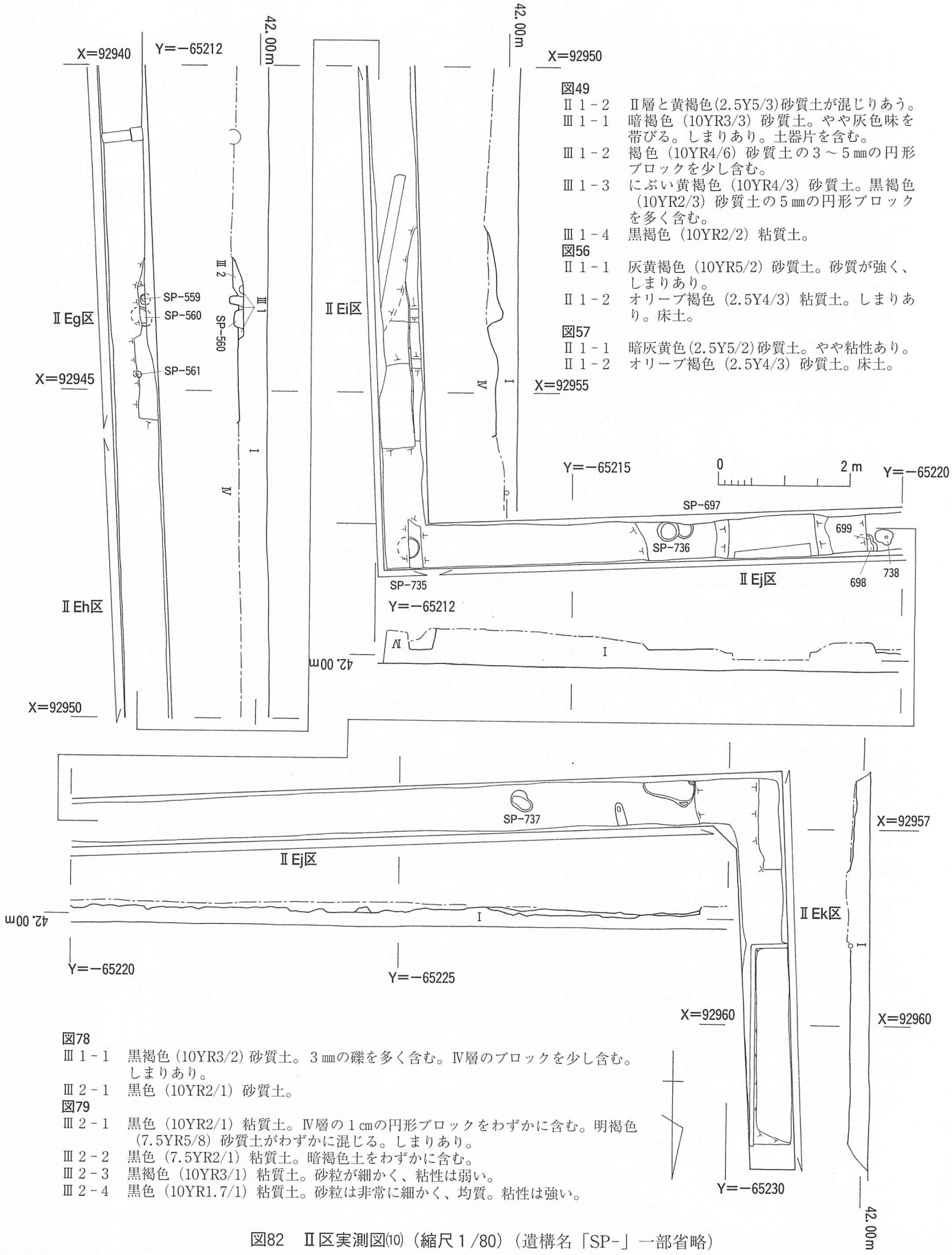


図49
Ⅱ1－2　Ⅱ層と黄褐色(2.5Y5/3)砂質土が混じりあう。
Ⅲ1－1　暗褐色（10YR3/3）砂質土。やや灰色味を帯びる。しまりあり。土器片を含む。
Ⅲ1－2　褐色（10YR4/6）砂質土の3～5㎜の円形ブロックを少し含む。
Ⅲ1－3　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。黒褐色（10YR2/3）砂質土の5㎜の円形ブロックを多く含む。
Ⅲ1－4　黒褐色（10YR2/2）粘質土。

図56
Ⅱ1－1　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂質が強く、しまりあり。
Ⅱ1－2　オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘質土。しまりあり。床土。

図57
Ⅱ1－1　暗灰黄色(2.5Y5/2)砂質土。やや粘性あり。
Ⅱ1－2　オリーブ褐色（2.5Y4/3）砂質土。床土。

図78
Ⅲ1－1　黒褐色(10YR3/2)砂質土。3㎜の礫を多く含む。Ⅳ層のブロックを少し含む。しまりあり。
Ⅲ2－1　黒色（10YR2/1）砂質土。

図79
Ⅲ2－1　黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅳ層の1㎝の円形ブロックをわずかに含む。明褐色（7.5YR5/8）砂質土がわずかに混じる。しまりあり。
Ⅲ2－2　黒色（7.5YR2/1）粘質土。暗褐色土をわずかに含む。
Ⅲ2－3　黒褐色（10YR3/1）粘質土。砂粒が細かく、粘性は弱い。
Ⅲ2－4　黒色（10YR1.7/1）粘質土。砂粒は非常に細かく、均質。粘性は強い。

図82　Ⅱ区実測図(10)（縮尺1/80）（遺構名「SP-」一部省略）

⑭　**ⅡWg区**（図78・79、図版17-3）

農学部校舎中庭北半から農学部本館の東側約19mの間で、北端で西の建物側に約1.5m屈曲する。全面に攪乱が及び、出土遺物もない。

⑮　**ⅡEh区**（図82、図版17-4）

農学部本館北東の道路交差点の東西道路をまたぐ約4.5mの区間である。通常の交通を遮断する必要から短距離を別工程で行った調査区であるが、道路下ということもあって全面攪乱が及び、Ⅳ層上面は確認していない。出土遺物もない。

⑯　**ⅡEi区**（図82、図版17-5）

道路交差点から北、連合農学研究科校舎西側の約８mである。南半はやはり全面攪乱が及んでいるが、北半の一部ではⅣ層上面がわずかながらも検出できるとともに、小穴の残欠１基（SP-735）を確認している。ただし出土遺物はない。

⑰　**ⅡEj区**（図82、図版17-6）

南北方向の調査区がほぼ直角に屈折して西に延びる約17mの区間である。東部では攪乱により不明な部分が多いが、中位から西半はⅣ層の上面をⅠ層直下で検出している。またそれとともに、小穴数基があり、そのうちSP-736・737からは中世土師器の細片が出土している。なお、SP-736出土遺物中には弥生土器片も認められる。

⑱　**ⅡEk区**（図82、図版17-7）

東西方向のⅡEj区から再び屈折して北に延びる約６mの区間である。Ⅳ層上面をⅠ層直下で検出しているが、遺構の残存は認められなかった。出土遺物もない。

⑲　**Ⅱ区攪乱出土遺物**（図83）

Ⅱ区全体を通じて、攪乱出土遺物から７点を図化した。３～５・７がⅡWe区出土で、他はⅡWf区出土。１は須恵器坏蓋天井部。２は土師器甕の口縁部。３は羽釜の脚部上半。４は須恵質のこね鉢口縁部。５は青磁碗底部。外面下半から高台部にかけては露胎で、削り出し高台。外面に櫛描き文、内面に刺突文と弧状の文様が施される。６は砂岩質砥石。７は粘板岩製硯。正面、左側面に縦方向の擦り目がある。また、ⅡEe区からは釘１点（図115-６）の出土がある。

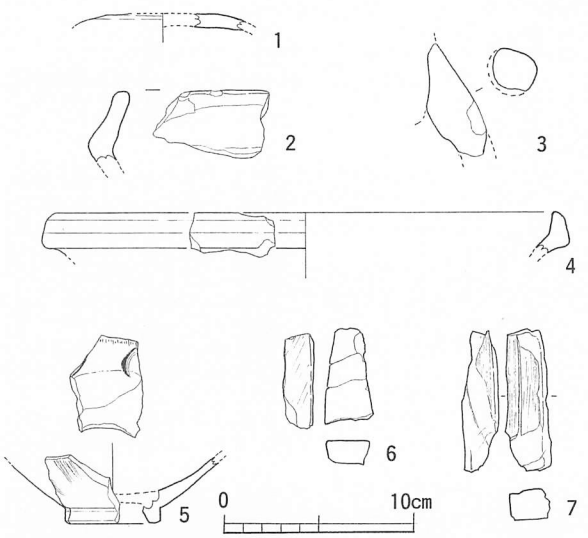


図83　Ⅱ区攪乱出土遺物実測図（縮尺１/４）

⑳　**小　結**

ⅡW区は南北140m、ⅡE区では総延長180mを越えた。その分幅が狭く、遺構の広がりの一端を確認したに留まるが、Ⅰ区が樽味団地西部の東西方向の大トレンチであったのに対し、Ⅱ区は南北方向の大トレンチとして、樽味団地における遺跡の広がりについて、多くの成果を得ることができた。

まず調査区の南端（a区・b区）では、Ⅱ層の耕作に伴う攪乱が激しい。調査区の東側を中心にそのような攪乱が広がると推測できる。途中管路敷設に伴う攪乱が激しいが（c区・d区）、２次調査地点周辺では、良好な包含層・遺構が残存し（e区）、とりわけ中庭付近が遺構密集域となっていた（f区）。ただしそれ以北は、Ⅳ層上面のレベルが上昇することもあって、遺構の残存はほとんどなくなった（g区～）。Ⅳ層の検出レベルは、南端のⅠ区との合流点で標高40．9m、ⅡEk区の北端で41.8mと、約90cmの差がある。

このうち、良好な残存状況を示すのは、中世遺構であり、その時期は、羽釜や回転糸切り痕を残す土師器の坏・皿から、14世紀を中心とした時期である。先に報告したⅠ区SR-１出土の、円盤状高台の坏や貼付高台の椀を中心とする10～12世紀の遺物はほとんどない。集落領域の包含層資料と流路資料の差もあるが、12世紀前後を境に、樽味団地における生活領域の変化が予想される。

Ⅱ区SP一覧　（　）内は所在地区

201（Wa）　図53。
202（Ea）　黒色（10YR2/1）粘質土。しまりあり。
203（Ea）　にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質土。やや黒味を帯びる。
204（Ea）　図50。
205（Ea）　図50。
206（Ea）
207（Wd）　黒褐色(10YR3/1)粘質土。粘性低い。中世土師器。
208（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。粘性やや弱い。褐色（10YR4/4）シルトの５～10㎜ブロックを多く含む。中世土師器。
209（Wd）　暗褐色（10YR3/3）粘質土。中世土師器。
210（Wd）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。小石をほとんど含まない。
211（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色（10YR4/4）シルトの５～10㎜ブロックを多く含む。粒状炭化物を極少量含む。中世土師器。
212（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色（10YR4/4）シルトの５～10㎜ブロックを多く含む。粒状炭化物を極少量含む。
213（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色（10YR4/4）シルトの５～10㎜ブロックを多く含む。粒状炭化物を極少量含む。
214（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。粘性はやや弱い。褐色（10YR4/4）シルトの５～10㎜ブロックを多く含む。
216（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色（10YR4/4）シルトの５～10㎜ブロックを多く含む。粒状炭化物を極少量含む。
217（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色（10YR4/4）シルトの５～10㎜ブロックを多く含む。粒状炭化物を極少量含む。中世土師器。
219（Wd）　図58。中世土師器。
220（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色（10YR4/6）シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
221（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色（10YR4/6）シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
222（Wd）　にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質土。粘性はやや弱い。褐色（10YR4/4）シルトの５～10㎜ブロックを多く含む。
223（Wd）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。やや粘性がある。５㎜の粒状炭化物と褐色シルトの５㎜のブロックを少量含む。
224（Wd）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。やや粘性がある。５㎜の粒状炭化物と褐色シルトの５㎜のブロックを少量含む。
227（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。にぶい黄橙色（10YR6/4）の５～10㎝ブロックを少量、粒状炭化物を極少量含む。中世土師器。
228（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。にぶい黄橙色（10YR6/4）の５～10㎝ブロックを少量、粒状炭化物を極少量含む。中世土師器。
229（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。にぶい黄橙色（10YR6/4）の５～10㎝ブロックを少量、粒状炭化物を極少量含む。
230・231（Wd）
232（Wd）　図58。中世土師器。
233（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。にぶい黄橙色（10YR6/4）の５～10㎝ブロックを少量、粒状炭化物を極少量含む。中世土師器。
234（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。にぶい黄橙色（10YR6/4）の２～３㎝ブロックを少量含む。
235（Wd）　図58。
236（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。にぶい黄橙色（10YR6/4）の５～10㎝ブロックを少量、粒状炭化物を極少量含む。
237（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。にぶい黄橙色（10YR6/4）の５～10㎝ブロックを少量、粒状炭化物を極少量含む。
238（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。にぶい黄橙色（10YR6/4）の２～３㎝ブロックを少量含む。
240（Wd）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックを少量含む。
241（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。にぶい黄橙色（10YR6/4）の２～３㎝ブロックを少量含む。中世土師器。
242（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
243（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
244（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
245（Wd）　①黒褐色（10YR3/1）砂質土。Ⅳ層微細ブロックをラミナ状に混じる。しまりあり。②褐灰色（10YR4/1）砂質土。しまりあり。
247（Wd）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色の粒状ブロックを少量含む。
248（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
249（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。褐色シルトの５㎜ブロックを極少量含む。
250（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。褐色シルトの５㎜ブロックを極少量含む。
251（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。褐色シルトの５㎜ブロックを極少量含む。中世土師器。
252（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。褐色シルトの５㎜ブロックを極少量含む。
253（Wd）　褐灰色（10YR4/1）砂質土。しまりは弱い。
254（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
255（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。褐色シルトの５㎜ブロックを極少量含む。
256（Wd）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色の粒状ブロックを少量含む。
257（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
258（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。褐色シルトの５㎜ブロックを極少量含む。
259（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
260（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性がある。褐色シルトの５㎜ブロックを極少量含む。
261（Wd）　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。
262（Wd）　黒褐色（2.5Y3/2）粘質土。粘性は弱い。黒褐色（10YR2/2）土の１㎝ブロックと橙色（7.5YR6/8）土の５㎜ブロックを多く含む。しまりあり。
263（Wd）　黒褐色（2.5Y3/2）粘質土。粘性は弱い。黒褐色（10YR2/2）土の１㎝ブロックと橙色（7.5YR6/8）土の５㎜ブロックを多く含む。しまりあり。
264（Wd）　黒褐色（2.5Y3/2）粘質土。粘性は弱い。黒褐色（10YR2/2）土の１㎝ブロックと橙色（7.5YR6/8）土の５㎜ブロックを多く含む。しまりあり。
265（Wd）　黒褐色（2.5Y3/2）粘質土。粘性は弱い。黒褐色（10YR2/2）土の１㎝ブロックと橙色（7.5YR6/8）土の５㎜ブロックを多く含む。しまりあり。
266（Wd）　黒色（10YR2/1）粘質土。粘性は弱い。Ⅳ層ブロックを含む。
267（Wd）　黒色（10YR2/1）粘質土。粘性は弱い。Ⅳ層ブロックを含む。
268（Wd）　黒色（10YR2/1）粘質土。粘性は弱い。Ⅳ層ブロックを含む。
269（Wd）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。
270（Wd）　黄灰色（2.5Y4/1）粘質土。粘性は弱い。黒褐色（10YR3/1）土が混じる。小石やブロックの混入はほとんどみられない。
271（Wd）　褐灰色（10YR4/1）粘質土。小石はほとんど含まない。黒褐色(10YR2/2)土の５～10㎜ブロック少し含む。
272（Wd）　褐灰色（10YR4/1）粘質土。小石はほとんど含まない。黒褐色(10YR2/2)土の５～10㎜ブロック少し含む。中世土師器・須恵器。
273（Wd）　黒褐色（2.5Y3/2）粘質土。粘性は弱い。黒褐色（10YR2/2）土の１㎝ブロックと橙色（7.5YR6/8）土の５㎜ブロックを多く含む。しまりあり。
274（Wd）　褐灰色（10YR4/1）粘質土。小石はほとんど含まない。黒褐色(10YR2/2)土の５～10㎜ブロック少し含む。
275（Wd）
276（Wd）　黒褐色（2.5Y3/2）粘質土。粘性は弱い。黒褐色（10YR2/2）土の１㎝ブロックと橙色（7.5YR6/8）土の

５㎜ブロックを多く含む。しまりあり。
277（Wd）　褐灰色（10YR4/1）粘質土。小石はほとんど含まない。黒褐色(10YR2/2)土の５～10㎜ブロック少し含む。
278（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。５㎜の炭化物を極少量含む。粘性強い。
279（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。５㎜の炭化物を極少量含む。粘性強い。
280（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。５㎜の炭化物を極少量含む。粘性強い。
281（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土と黒色（10YR2/1）粘質土が混在。にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質土の５㎜ブロックを少量含む。
282（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土と黒色（10YR2/1）粘質土が混在。にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質土の５㎜ブロックを少量含む。
283（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土と黒色（10YR2/1）粘質土が混在。にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質土の５㎜ブロックを少量含む。
284（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土と黒色（10YR2/1）粘質土が混在。にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質土の５㎜ブロックを少量含む。瓦器・中世土師器。
285（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１～２㎝ブロックを少量含む。
286（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１～２㎝の楕円形のブロックを少量含む。
287（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色土の１～２㎝ブロックをやや多く含む。
288（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色土の１～２㎝ブロックをやや多く含む。
289（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。中世土師器。
290（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色土の１～２㎝ブロックをやや多く含む。
291（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。
292（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色土の１～２㎝ブロックをやや多く含む。
293（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色土の１～２㎝ブロックをやや多く含む。
294（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。５㎜の粒状炭化物を少量含む。
295（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。５㎜の粒状炭化物を少量含む。
296（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色土の１～２㎝ブロックをやや多く含む。
297（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。
299（We）
301（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１～２㎝ブロックを少量含む。
302（We）　図65。
303（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１～３㎝ブロック・２～３㎜の砂粒を少量含む。
304（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１～３㎝ブロック・２～３㎜の砂粒を少量含む。
305（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１～３㎝ブロック・２～３㎜の砂粒を少量含む。
306・307（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１～３㎝ブロック・２～３㎜の砂粒を少量含む。
308（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１～３㎝ブロック・２～３㎜の砂粒を少量含む。
309（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１～３㎝ブロック・２～３㎜の砂粒を少量含む。中世土師器。
310（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土の１～３㎝ブロック・２～３㎜の砂粒を少量含む。
311（We）　黒褐色(10YR2/2)粘質土。黒色(10YR2/1)粘質土の１～２㎝の円形ブロックを極少量含む。中世土師器。
313（We）　図65。
314・315（We）　図65。
316（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の５㎜ブロックを極少量含む。
317（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の５～10㎜ブロックをやや多く含む。
318（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の５～10㎜ブロックをやや多く含む。
319（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１㎝ブロックをやや多く含む。
320（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の１㎝ブロックを少量含む。
321（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の１㎝ブロックを少量含む。
322（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の１㎝ブロックを少量含む。
323（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の１㎝ブロックを少量含む。
324（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。灰色味を帯びる。褐色砂質土の５～10㎝ブロックを多く含む。
325（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。灰色味を帯びる。褐色砂質土の５～10㎝ブロックを多く含む。
326（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。灰色味を帯びる。褐色砂質土の５～10㎝ブロックを多く含む。中世土師器。
327（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土の２～３㎝の円形ブロックを少量含む。中世土師器。
328（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。灰色味を帯びる。褐色砂質土の５～10㎝ブロックを多く含む。
329（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。灰色味を帯びる。褐色砂質土の５～10㎝ブロックを多く含む。
330（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。灰色味を帯びる。褐色砂質土の５～10㎝ブロックを多く含む。中世土師器。
331（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。灰色味を帯びる。褐色砂質土の５～10㎝ブロックを多く含む。
332（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。灰色味を帯びる。褐色砂質土の５～10㎝ブロックを多く含む。
333（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－２層、Ⅳ層の２㎝ブロックが多数混じる。しまりあり。中世土師器。
334（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。灰色味が強い。褐色砂質土の５～30㎜ブロックを少量含む。中世土師器。
335（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の５㎜ブロックを極少量含む。
336（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。灰色味が強い。褐色砂質土の５～30㎜ブロックを少量含む。
337（We）　黒褐色（10YR3/2）粘質土。SP-339埋土に比べⅣ層ブロックは大きく多い。しまりあり。
338（We）　黒褐色（10YR3/2）粘質土。SP-339埋土に比べⅣ層ブロックは大きく多い。しまりあり。
339（We）　図65。中世土師器・瓦器。
341（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の５㎜ブロックを極少量含む。中世土師器・須恵器。
342（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の５㎜ブロックを極少量含む。
343（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色土の５㎜ブロックを極少量含む。中世土師器。
344（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１㎝ブロック少量、褐色（10YR4/4）シルトの２㎝ブロックをやや多く含む。
345（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１㎝ブロック少量、褐色（10YR4/4）シルトの２㎝ブロックをやや多く含む。
346（We）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。黒色（10YR2/1）粘質土の５～20㎜ブロックを少量、褐色土の５㎜ブロックを多く含む。
347（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。
348（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。
349（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１㎝ブロック少量、褐色（10YR4/4）シルトの２㎝ブロックをやや多く含む。
350（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１㎝ブロック少量、褐色（10YR4/4）シルトの２㎝ブロックをやや多く含む。
351（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１㎝ブロック少量、褐色（10YR4/4）シルトの２㎝ブロックをやや多く含む。
352（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。黒色（10YR2/1）粘質土の１㎝ブロック少量、褐色（10YR4/4）シルトの２㎝ブロックをやや多く含む。中世土師器。
353（We）　黒褐色（10YR2/2）砂質土。
354（We）　黒褐色（10YR2/2）砂質土。
355（We）　黒褐色（10YR2/2）砂質土。
356（We）　黒褐色（10YR2/2）砂質土。

357（We） 黒褐色（10YR2/2）砂質土。
358（We） 黒褐色（10YR2/2）砂質土。
359（We） 黒褐色（10YR2/2）砂質土。
360（We） 黒褐色（10YR2/2）砂質土。
361（We） 黒褐色（10YR2/2）砂質土。
362（We） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒を多く含む。
363（We） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒を多く含む。
364（We） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒を多く含む。
366～370（We）
371（We） SD-24内。黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒を多く含む。
372（We） 図66。
373（We） SK-25内。
374（We） SK-25内。中世土師器。
375（We） SK-25内。中世土師器。
376（We） SK-25内。中世土師器。
378（We） 中世土師器。
379（We） 図65。中世土師器。
380（We） SK-26内。
381（We） SK-26内。
382（We） SK-26内。中世土師器。
383（We） SK-26内。中世土師器。
384（We） SK-26内。
385（We） SK-26内。中世土師器。
386（We） SK-26内。
387（We） SK-26内。
388（We） SK-26内。
389（We） SK-26内。
390（We） SK-27内。
391（We） SK-27内。
392（We） SK-27内。
393（We） SK-27内。
394（We） SK-27内。中世土師器。
395（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く混じる。
396（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く混じる。中世土師器。
397（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く混じる。中世土師器。
398（Wf） 図73。中世土師器。
399（Wf） 黒褐色（10YR3/1）砂質土。
400（Wf） 黒褐色（10YR3/1）砂質土。
401（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。
402（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。
403（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。中世土師器・瓦器。
404（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。
405（Wf） Ⅳ層ブロックかなり多い。中世土師器。
408（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。中世土師器・瓦器。
409（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。
410（Wf） 中世土師器・瓦。
411（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。
412（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。中世土師器。
413（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや砂粒含む。
414（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや砂粒含む。
415（Wf） 図73。中世土師器。
416（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。中世土師器。
417（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。
418（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。中世土師器。
419（Wf） 黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックやや含む。SK-31内。
420（Wf） 黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックやや含む。
422（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。中世土師器。
423（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。
424（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。中世土師器。
425（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅳ層ブロックやや含む。
426（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。砂粒多く含む。
427（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅳ層ブロックやや含む。
428（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅳ層ブロックやや含む。
429（Wf） SK-29内。中世土師器。
430（Wf） SK-29内。図73。中世土師器。
431（Wf） SK-29内。図73。中世土師器。
432（Wf） SK-31内。須恵器・中世土師器・陶器。
433（Wf） SK-30内。図73。弥生土器・中世土師器。
434（Wf） SK-30内。図74。中世土師器。
435（Wf） SK-30内。中世土師器。
436（Wf） SK-31内。図73。中世土師器。
437（Wf） SK-30内。
438（Wf） SK-30内。中世土師器。
439（Wf） SK-29内。中世土師器・陶器。
440（Wf） 図75。須恵器・中世土師器・陶器。
441（Wf） 中世土師器・瓦器。
442（Wf） 黒褐色（10YR3/1）砂質土。Ⅳ層のブロックを多く含む。
443（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。中世土師器・瓦器。
444（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。中世土師器。
445（Wf） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。中世土師器。
446（Wf） 中世土師器。
447（Wf） 中世土師器。
448（Wf） 中世土師器。
449（Wf） 中世土師器。
450（Wf） SK-30内。中世土師器。
451（Wf） SK-31内。中世土師器。
452（Wf） SK-31内。中世土師器。
453（Wf） SK-30内。中世土師器。
454（Wf） SK-31内。図73。
455（Wf） 中世土師器。
456（Wf） SK-30内。中世土師器。
457（Wf） SK-31内。中世土師器。
458（We） 暗褐色（10YR3/3）粘質土。Ⅳ層の微細ブロックを含む。
459（We） 暗褐色（10YR3/3）粘質土。Ⅳ層の微細ブロックを含む。
460（We） 黒褐色（10YR3/2）粘質土。Ⅳ層５cmブロックを含む。
461（We） にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。Ⅳ層ブロックを多く含む。
462（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。
463（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３mmブロックが混じる。
464（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３mmブロックが混じる。
465（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３mmブロックが混じる。
466（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３mmブロックが混じる。
467（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３mmブロックが混じる。
468（We） 黒褐色（10YR3/2）粘質土。Ⅳ層ブロックをやや少量含む。
469（We） 図65。
470（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。
471（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。
472（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。
473（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の微細ブロックが多く混じる。
474（We） 黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅲ－２層
475（We） 黒色（10YR2/1）粘質土。Ⅲ－２層
476（We）
477（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３cmブロックを含む。
478（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３cmブロックを含む。
479（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３cmブロックを含む。
480（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３cmブロックを含む。
481（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３cmブロックを含む。
482（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の３cmブロックを含む。
483・484（We）
485（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。焼土が混じる。
486（We） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層の微細ブロック

が多く混じる。
487～492（We）
493（We）　黒褐色（10YR2/2）粘質土。Ⅳ層をブロック状に多く混在。
494（Wf）　中世土師器。
495（Wf）　中世土師器。
496（Wf）
497（Wf）　中世土師器。
498（We）　SK-25内
499（We）　SK-26内
500・501（We）
502（We）　SK-30内。
503（Wf）　SK-30内。
505（Wf）　SD-28内。
506（Wf）　SD-28内。
507（Wf）　SD-28内。
508（Wf）　SD-28内。
509（Wf）　SD-28内。図73。
510（Wf）　SD-28内。図73。
511（Wf）　SD-28内。
512（Wf）　SD-28内。
513（Wf）　SD-28内。
514（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
515（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
516（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
517（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
518（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
519（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
520（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
521（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
522（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
523（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや鉄分を多く含む。
524（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
525（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
526（Wf）　図73。
527（Wf）　図73。
528（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを多く含む。
529（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
530（Wf）　図73。
531（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
532（Wf）
533（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
534（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
535（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
536（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを多く含む。
537（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを多く含む。
538（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを多く含む。
539（Wf）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを多く含む。
540（Wf）　Ⅲ－２層。
541（Wf）　Ⅲ－２層。
542（Wf）　褐灰色（10YR4/1）砂質土。
543（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
544（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
545（Wf）
546（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－２層に少し砂質。
547（Wf）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
548～550（Wf）
551（Wd）　①黒褐色（10YR3/1）粘質土。粘性は弱く、下部はⅣ層との互層となる。②①層とⅣ層の互層。中世土師器。
552～554（Ee）
555（Wd）
556～568（Ee）
559（Eg）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色土の１㎝ブロックを少量含む。
560（Eg）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色土の１㎝ブロックを少量含む。
561（Eg）
562（Ee）　図61。
563（Ee）　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。Ⅳ層ブロックが混じる。
564（Ee）　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。Ⅳ層ブロックが混じる。
565（Ee）　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。Ⅳ層ブロックが混じる。
566（Ee）　図61。
567（Ee）　図61。
568（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層を少し混ぜ、色調は淡い。Ⅳ層ブロックがかなり混じる。
570（Ee）　図61。
571（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。
572（Ee）　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。Ⅳ層ブロックが混じる。
575（Ee）　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。Ⅳ層ブロックが混じる。
576（Ee）　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。Ⅳ層ブロックが混じる。
577（Ee）　①Ⅲ－１層にわずかに粘性増す。
②灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。やや黄色味を帯びる。
578（Ee）　①褐灰色（10YR5/1）砂質土。
②下部がやや暗い色調。明褐色土が混じる。
579（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層が少し混じり、色調は淡い。Ⅳ層ブロックがかなり混じる。
580（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
581（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
582（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
583（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
584（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
585（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
586（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
587（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
588（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
589（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層。
590（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
591（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
592（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
593（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
594（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層。
595（Ee）　暗褐色（10YR3/3）砂質土。Ⅳ層の１㎝ブロックを多く含む。しまりあり。粘性は低い。
596（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
598（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層を多く含む。
599（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－２層とⅣ層ブロックを含む。
600（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層を多く含む。中世土師器。
601（Ee）　黒色（10YR2/1）砂質土。Ⅳ層とⅢ－１層のブロックを含む。
602（Ee）　黒色（10YR2/1）砂質土。Ⅳ層とⅢ－１層のブロックを含む。
603（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
604（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層を多く含む。
605（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層を多く含む。
606（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層を多く含む。
607（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層を多く含む。
608（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層を多く含む。炭化物含む。
609（Ee）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。Ⅲ－１層を多く含む。
611（Ee）　図63。
612（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
613（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
615（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。
616（Ee）　黒褐色(10YR3/2)砂質土。Ⅳ層ブロックを少し含む。中世土師器・台石破片。
617（Ef）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性があり、灰色味を帯びる。
618（Ef）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性があり、灰色味を帯びる。
619（Ef）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性があり、灰色味を帯びる。
620（Ef）　図70。
621（Ef）
622（Ef）　褐色（10YR3/2）砂質土。粒状炭化物のブロック、３㎜の礫を少量、褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含む。中世土師器・弥生土器。
624（Ef）　黒褐色（10YR3/2）砂質土。粒状炭化物のブロック、３㎜の礫を少量、褐色シルトの５㎜ブロックをやや多く含

む。
625（Ef） 図70。
626（Ef） 粒状炭化物のブロック、3㎜の礫を少量、褐色シルトの5㎜ブロックをやや多く含む。
627・628（Ef） 粒状炭化物のブロック、3㎜の礫を少量、褐色シルトの5㎜ブロックをやや多く含む。
632（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。
633（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。
634（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。
635（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色（10YR4/4）シルトの5㎜ブロックを多く含む。
636（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色（10YR4/4）シルトの5㎜ブロックを多く含む。焼土。
638（Ef） 黒褐色（10YR2/3）砂質土。
643・644（Ef） 黒褐色(10YR2/3)砂質土。やや粘性がある。褐色シルトの1㎝ブロックを少量、3㎝の炭化物を含む。
645（Ef） 黒褐色（10YR2/3）砂質土。
646（Ef） 黒褐色（10YR2/3）砂質土。
647（Ef） 黒褐色（10YR2/3）砂質土。
648（Ef） 黒褐色（10YR2/3）砂質土。
650（Ef）
651（Ef） 黒褐色（10YR2/3）砂質土。やや粘性あり。5～10㎜の炭化物を少量含む。
652（Ef） 黒褐色（10YR2/3）砂質土。やや粘性あり。5～10㎜の炭化物を少量含む。
653（Ef） 黒褐色（10YR2/3）砂質土。やや粘性あり。5～10㎜の炭化物を少量含む。
654・655（Ef） 黒褐色(10YR2/3)砂質土。黒褐色（10YR2/3）砂質土。やや粘性あり。5～10㎜の炭化物を少量含む。
657（Ef） 暗褐色（10YR3/3）砂質土。やや粘性あり。5～10㎜の炭化物を少量含む。
658（Ef） 暗褐色（10YR3/3）砂質土。やや粘性あり。5～10㎜の炭化物を少量含む。
659（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。にぶい黄褐色（10YR5/3）シルトが混じる。
660（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。にぶい黄褐色（10YR5/3）シルトが混じる。
662（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。5㎜の炭化物を極少量含む。
663（Ef） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色シルトの1㎝ブロックを多く含む。
664（Ef） 暗褐色（10YR3/3）砂質土。2㎜の礫を少量含む。粒状炭化物を少量含む。
665（Ef） 暗褐色（10YR3/3）砂質土。2㎜の礫を少量含む。粒状炭化物を少量含む。
666（Ef） 暗褐色（10YR3/3）砂質土。2㎜の礫を少量含む。粒状炭化物を少量含む。
667 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。5㎜の炭化物を極少量含む。
668（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。5㎜の炭化物を極少量含む。
669（Ef） 図70。中世土師器・陶器。
673（Ee） ①褐灰色（10YR4/1）砂質土。5㎜の礫や炭化物を少量含む。②褐色（10YR4/1）砂質土。Ⅳ層の微小ブロック含む。粘性あり。
674～683（Ee）
684（Ef） SK-40内。
685（Ef） SK-40内。
686（Ef） SK-40内。
687・688（Ef）
689（Ef） 図70。
690（Ef） 図70。
691（Ef）
692（Ef） SD-32内。
693（Ef） SD-32内。
694（Ef） SD-32内。
695（Ef） SD-32内。
696（Ef） SD-32内。
697～699（Ej）
700（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。1㎜の砂粒を少量、粒状炭化物をまばらに含む。
701（Ef） 黒褐色（10YR3/2）粘質土。にぶい黄褐色（10YR5/3)シルトの1㎝ブロックを多く、粒状炭化物を少量含む。中世土師器・瓦器。
702（Ef） 図70。中世土師器。
703（Ef） 黒褐色(10YR3/2)砂質土。やや粘性あり。SK-40内。
704（Ef）
705（Ef） 図70。
706（Ef） 図70。
707（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。1㎜の砂粒を少量、粒状炭化物をまばらに含む。
708（Ef） 黒褐色（10YR2/2）粘質土。褐色シルトの5㎜ブロックをやや多く含む。中世土師器。
709（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。1㎜の砂粒を少量、粒状炭化物をまばらに含む。
710（Ef） 黒色（10YR2/1）粘質土。褐色シルトの5㎜ブロックを少量含む。
711（Ef） 黒色（10YR2/1）粘質土。褐色シルトの5㎜ブロックを少量含む。
712（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色シルトの5㎜ブロックを少量含む。
714（Ef） 黒色（10YR2/1）粘質土。褐色シルトの5㎜ブロックを少量含む。
715（Ef） 褐色（10YR4/4）砂質土と黒褐色（10YR3/2）砂質土が混在。
717（Ef） 褐色（10YR4/4）砂質土と黒褐色（10YR3/2）砂質土が混在。
718（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色シルトの5㎜ブロックを少量含む。
719（Ef） 褐色（10YR4/4）砂質土と黒褐色（10YR3/2）砂質土が混在。
720（Ef） 褐色（10YR4/4）砂質土と黒褐色（10YR3/2）砂質土が混在。
721（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色シルトの5㎜ブロックを少量含む。
722（Ef） 褐色（10YR4/4）砂質土。黒褐色（10YR3/2）砂質土の5㎝ブロックを多く含む。
723（Ef） 褐色（10YR4/4）砂質土。黒褐色（10YR3/2）砂質土の5㎝ブロックを多く含む。
724（Ef） 褐色（10YR4/4）砂質土。黒褐色（10YR3/2）砂質土の5㎝ブロックを多く含む。
725（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。褐色シルトの2㎝ブロックを少量含む。
726（Ef） 褐色（10YR4/4）砂質土。黒褐色（10YR3/2）砂質土の5㎝ブロックを多く含む。
727（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。1㎜の砂粒、褐色シルトの5㎜ブロックを多く含む。
728（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の5㎜ブロックを少量含む。
729（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の5㎜ブロックを少量含む。
730（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の5㎜ブロックを少量含む。粒状炭化物を多く含む。中世土師器・弥生土器。
731（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の5㎜ブロックを少量含む。
732（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の5㎜ブロックを少量含む。
733（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の5㎜ブロックを少量含む。
734（Ef） 黒褐色（10YR3/2）砂質土。やや粘性あり。褐色土の5㎜ブロックを少量含む。
735（Ei）
736（Ej） 中世土師器・弥生土器。
737（Ej） 中世土師器。
738（Ej）
739～743（Ee）
744（We）
745（Wf） SD-28内。
746（We）
747（Wd）
748（We）
749（Ee）

ⅲ　Ⅲ区の調査

Ⅲ区は、遺伝子実験施設新営地点の内、汚水処理施設西側、RI施設との間の、東西５m強・南北約30mほどの発掘区である（写真82）。汚水処理施設西側を南北方向に、X＝92780以南をⅢa区、X＝92780～92790をⅢb区、X＝92790以北をⅢc区、汚水処理施設北側をⅢd区と区画した。

ただし、これらの調査区の内、発掘を行い得た範囲はさらに限られる。Ⅲa・Ⅲb区では、東辺は深く掘削された汚水処理施設の余掘りと土層観察用畔の設定のため、汚水処理施設西壁から約１mほど離れねばならなかった。また西辺も、南北方向に走る複数の既設管路のため、制限を受けた。Ⅲa区南の管路と調査区西壁の間では、作業範囲の制限から、後論するSR－１c層までしか掘削できず、Ⅲa区北からⅢｂ区の間は調査区西辺に３条の既設管路を残したままとなり、西側の２条以西は、実質表土層の掘削と既設管路の検出に留まる。したがって、Ⅲa区・Ⅲb区を通じて調査ができた範囲は、幅約３mの範囲でしかない。さらに加えて、一定深度以後は湧水のため、汚水処理施設余掘り部分崩落の可能性が生じてきたため、人力による掘削は停止せざるを得ず（図版18・19）、重機による掘削で土層の確認と一部遺物の採集に留まった（図84・85、図版20）。

一方、Ⅲc区・Ⅲd区では、浅い地点でⅣ層の検出ができることもあって、逆に攪乱の影響が大きくなり、この傾向は北側ほど顕著となる。なお、コンクリート基礎と汚水処理施設に挟まれたⅢd区では、現地表下1.3mまで掘削を行ったが、攪乱が続き、地山層を確認できなかった。

このように、かなり制限された調査になったが、それでもⅠ区に連続すると考えられる自然流路の広がりを確認できた。まず、Ⅰf区以西でSR－１とした流路内堆積が調査区南半には認められた。さらに、Ⅰh区で認められた溜まり状の堆積SX－２と共通の堆積も、Ⅲb区北側からⅢc区南側に広がりを確認できた。Ⅲ区で遺構として認識したのは、この２単位のみである。

(1)　SR－１（図84・85）

Ⅰ区では、SR－１の上層部分としてa・b層といった砂質土堆積が認められたが、Ⅲ区ではこれらが認められず、Ⅰ層・Ⅱ層の下で、c層が現れる。調査区南壁でのc層検出レベルは、現地表下約１m、標高40.2mである。北側の高所には、X＝92787.5付近まで辿れる。c層の下は砂質土に転じるが、その上位には、比較的砂質が細かく、単位もやや大きな土層が広がる。後論する湧水レベルより上位にあたり、これをe１－１層と大別した。北側高位では、X＝92787付近まで続く。これ以下では、流水単位が細かく細分され、また砂粒もやや粗い場合を含む砂質土層に代わり、これをe１－２層とした。北側にはX＝92788辺りまで広がり、最北部では後論するSX－２c層の下に潜り込んでいる。一方、湧水レベルの39.6m以下は、細分は行い得ていない。また、e１－１層とe１－２層の間にd層と認識した溜まり状の粘質土が入る場合があり、南壁とSR－１の北岸付近でその堆積が顕著である。

SR－１は、X＝92783付近で南に大きく落ち込み、その落ち方ラインは、ほぼ東西方向に幅約２mを検出した。落方付近では、約70cm一気に落ち込みを形成し、40cm前後のd層の下に、約20cmの厚さの砂礫層であるe２層を最下層として、底となる。この地点での底のレベルは、39.0mを測る。ここから南には徐々に底のレベルを下げ、またこれと並行してe２層の厚さを増す。確認できた最南部のX＝92775付近で、底面レベル38.6m、e２層の堆積厚45cmである。流路の最深部に達しているのかどうかは不明。

SR－１からはまとまって遺物が出土している。ただしd層出土遺物で図化できるものはなかった。

①　**c層出土遺物**（図86、図版30-1･2）

c層出土の内、図化できたのは46点。１～７は須恵器。１は坏蓋の稜部で６世紀前葉。２・３は坏口縁部。７世紀初。４は提瓶の胴部片で、成形時の円盤閉塞が窺える。５は長頸壺の底部。６は壺胴上部で、胴がやや強く張り、口縁部の屈曲は強い。内外面に回転ナデが施され、器壁は薄い。７は鉢口縁部。７世紀後半。８は赤焼けの須恵質陶器。外面には平行タタキ後、横方向のヘラ状工具による強いナデが施される。

９～12は坏・椀の口縁部。９は須恵器。10世紀段階。10は瓦器椀。ヘラミガキは不明瞭。13世紀段階。11・12は土師器椀の口縁部。11は内面に薄く炭素の吸着が見られ、12は端部がわずかに端反りする。13～33は坏底部。13のみ須恵器で、他は土師器。13～25は円盤状高台。13～21は直上に立ち上がり、22～25は内傾また

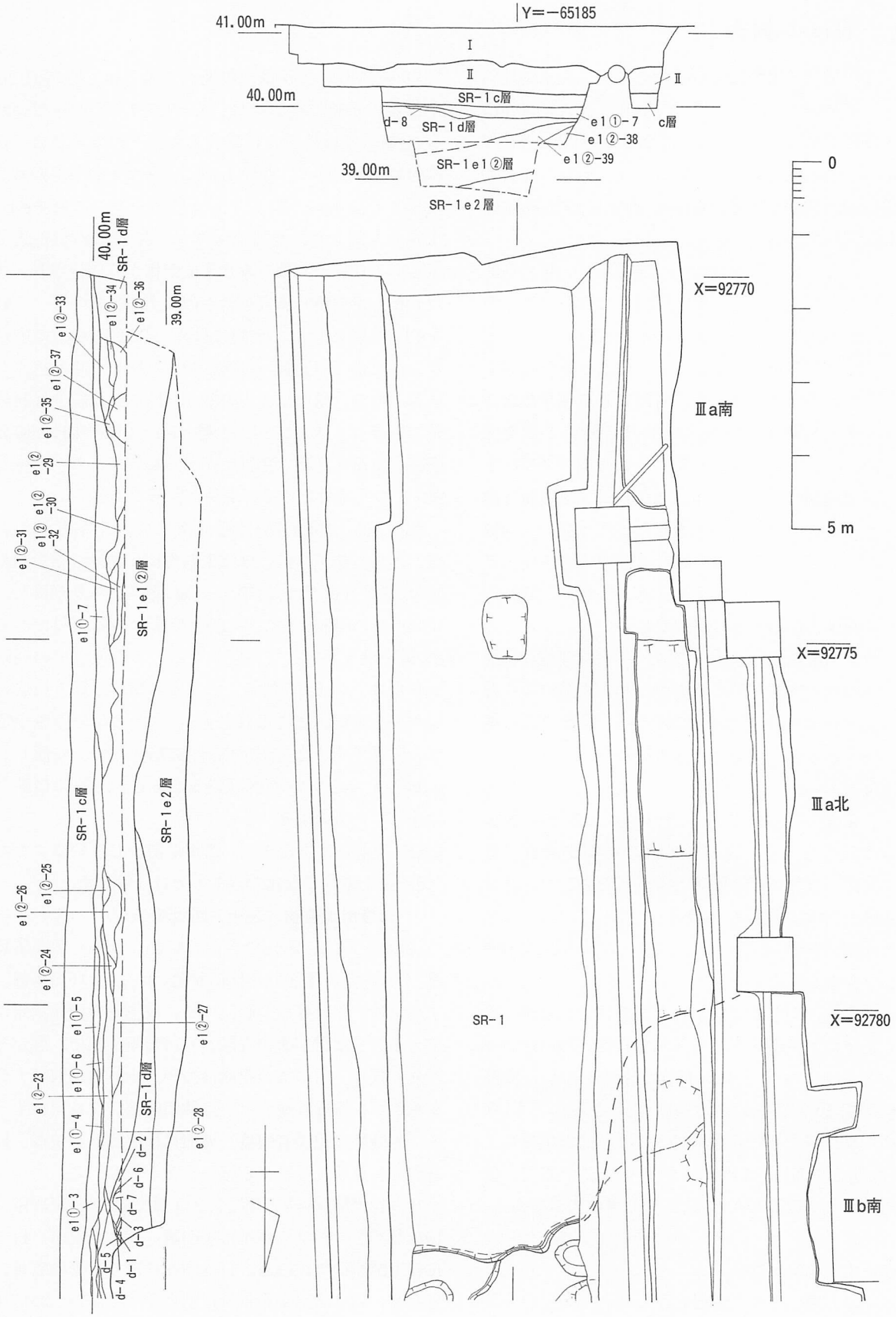


図84　Ⅲ区実測図(1)（縮尺１/80）

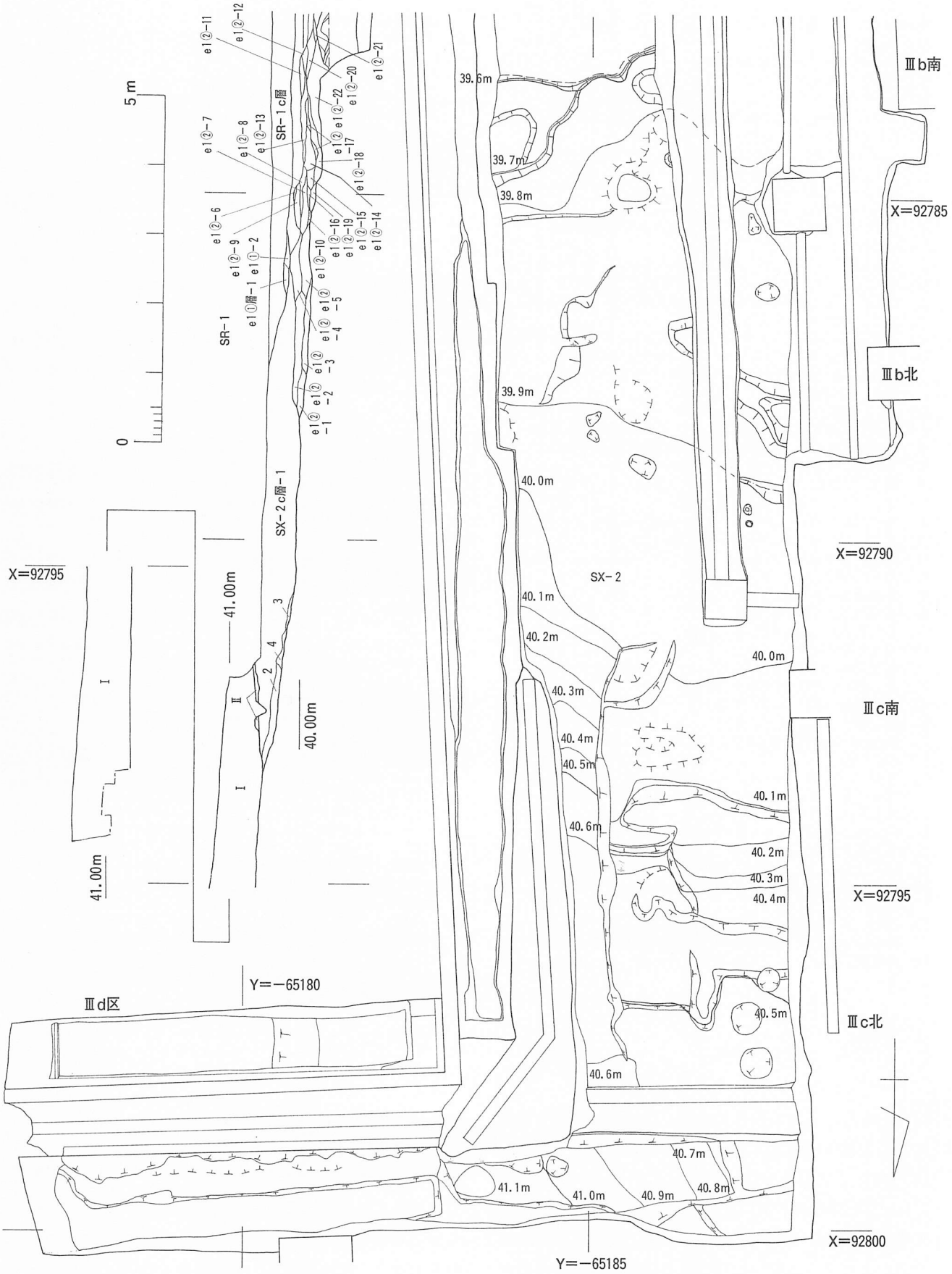


図85　Ⅲ区実測図(2)（縮尺１/80）

図84・85　土層注記

SR-1c層
にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。下部にいくにつれ、砂質が増す。しまりあり。

SR-1e1-1層
1　オリーブ褐色（2.5Y4/3）砂質土。やや粗く、1～5㎜の砂礫をまばらに多く含む。
2　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。やや粘性あり。きめ細かく、礫はほとんど含まない。
3　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。きめ細かく、礫をほとんど含まない。
4　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。土器片を含む。3～5㎜の礫を多く含む。
5　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。きめ細かく、しまりあり。
6　灰黄褐色（2.5Y6/2）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土と混じる。5層と比べ、砂粒の大きさにばらつきあり。礫をわずかに含む。
7　暗灰黄色（2.5Y5/2）粘質土。明赤褐色（5YR5/8）土と混じる。明黄褐色（10YR6/8）土を1.5㎝の円形ブロック状に含む。砂粒は細かく、2㎜の礫がまばらに入る。しまりあり。粘性は弱い。

SR-1e1-2層
1　暗褐色（10YR3/3）砂礫層。1～7㎝の礫を多く含む。
2　暗褐色（10YR3/3）砂質土。3㎝の礫を極少量含む。
3　黒褐色（10YR3/2）粘質土。粘性が強い。
4　褐色（10YR4/4）砂質土。5層に比べ、きめが細かいが部分的に1～3㎜の砂礫を少し含む。
5　褐色（10YR4/4）砂礫層。0.5～5㎝の砂礫を多く含む。
6　オリーブ褐色（2.5Y4/3）砂質土。
7　にぶい黄褐色（10YR5/3）砂質土。きめ細かく、礫はほとんど含まない。
8　きめ細かく、ほとんど礫を含まない。
9　黄褐色（2.5Y5/3）砂質土。下部に1～2㎝の礫を多く含む。上部は5㎜の礫を多く含む。
10　たまり状部分。
11　灰黄褐色（10YR4/2）砂層。1～3㎝の礫を多く含む。砂粒も粗い。やや褐色味を帯びる。
12　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。やや細かい砂の上に3㎝の礫を多く含む。
13　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。鉄分の多い砂を下部に多く含む。
14　黄褐色（2.5Y5/3）粘質土。黒褐色（10YR3/2）粘質土が20㎝のレンズ状ブロックとして入る。砂質土の中にブロックとして粘質土が入り込む。
15　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土と粘質土が混じる。
16　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。1～2㎜の粗砂を多く含む。
17　にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質土。18層よりやや細かい砂粒。
18　灰黄褐色（10YR4/2）砂層。灰色の強い砂の層。3～5㎜の礫を多く含む。
19　礫層。5～10㎝の丸みを帯びた礫。すきまに粗い褐色の砂が混じる。
20　砂礫層。褐色と灰黄褐色が混じる。2～5㎝の礫を多く含む。
21　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂礫層。1～3㎝の礫を多く含む。
22　砂礫層。5～20㎝の礫。粗い砂が入り込む。土器片を含む。
23　灰黄褐色（10YR4/2）砂層。1～3㎝の礫を多く含む。砂粒も粗い。やや褐色味を帯びる。
24　褐灰色（10YR5/1）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土が混じる。やや粘性がある。しまりは弱い。
25　灰色（7.5Y5/1）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土がわずかに混じる。ややしまりあり。わずかに湿り気をもち、やや粘性あり。砂粒は細かい。
26　褐灰色（10YR6/1）砂質土と赤褐色（5YR4/8）土が同程度混じる。部分的に5㎜の礫が5㎝程のブロック状に入る。非常にサクサクしている。砂粒は粗い。
27　褐灰色（10YR6/1）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土が線状に入る。やや粘性あり。砂粒は細かい。
28　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。やや粘性あり。
29　灰黄褐色（10YR5/2）粘質土。明赤褐色（5YR5/8）土と混じる。しまりあり。
30　黒褐色（10YR3/1）粘質土。明赤褐色（5YR5/8）土を上位にわずかに含み、黄橙色（10YR8/8）土の1㎝ブロックをわずかに含む。砂粒は細かく、しまりあり。
31　黄灰色（2.5Y5/1）粘質土。明赤褐色（5YR5/8）土と混じる。2㎜の礫をまばらに含み、しまりあり。
32　灰色（5Y5/1）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土と混じる。しまりはあるが、サクサクした感もある。
33　灰黄褐色（10YR4/2）粘質土。黄橙色（10YR8/8）土の1㎝ブロックを多く含み、しまりあり。
34　灰黄褐色（10YR4/2）粘質土。33層より赤味が強い。黄橙色（10YR8/8）土の2㎝までのブロックをわずかに含み、しまりあり。
35　褐灰色（10YR4/1）粘質土。37層との互層。黄橙色（10YR8/8）土の1㎝ブロックを含み、非常にしまりが強い。
36　記載漏れ。
37　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土と混じる。非常に砂粒は細かい。

SR-1e2層
砂礫層。

SR-1d層
1　灰黄褐色(10YR4/2)砂質土。灰色味が強く、やや粘性あり。
2　黒褐色（10YR3/2）粘質土。
3　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。やや粗い砂粒。
4　黒褐色（10YR2/2）粘質土。粘性が強く、しまりあり。
5　礫層。
6　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。灰色味が強く、やや粘性あり。
7　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂層。2～5㎜の礫が多く、砂質は粗い。
8　灰黄褐色（10YR4/2）粘質土。褐色（10YR4/6）砂質土の0.5～2㎝の円形ブロックを多く含む。礫はほとんど含まない。
9　黒褐色（10YR3/2）粘質土。やや褐色味が強い。黄橙色（10YR8/8）土の1㎝ブロックが多く、3㎝ブロックをわずかに含む。しまりあり。

SX-2c層
1　黒褐色（10YR3/2）シルト質土。1㎝のⅣ層小ブロックをラミナ状に含み、粘性が強い。しまりあり。遺物を多く含む。Ih区SX-2c-7層に相当。
2　暗褐色（10YR3/3）粘質土。
3　暗褐色（10YR3/3）粘質土。1層よりやや砂質が強い。しまりあり。
4　褐色(10YR4/4)砂質土。1～3㎜の礫をやや多く含む。

は丸みをもち、26のみ外傾する。28～33は高台と体部の境目が曖昧である。30は厚みのある底部から緩やかに内湾して立ち上がる。31は回転糸切り。33は口径7.1㎝の小形の坏。34～36は土師器皿。34は回転糸切りが見られる。36は径7.6㎝の小皿。37～43は椀底部で高台を有する。40～42は内黒の黒色土器。40はやや高めの断面三角形の高台で、内面ミガキ。43は瓦器。高台は断面三角形で低く、焼成は良くない。13世紀代。

44は坩堝口縁部で、上方に立ち上がり、端部は丸く収める。内面の器表面は剥落が激しく、また内外面ともに被熱により赤変。45は焼成粘土塊で、片面は面をもつ。46はガラス滓付着の土器片。47はサヌカイト製打製石鏃で、凹基無茎式。剥離は薄く内部にまで及んでいない。48は磨製石庖丁の側部近くの小片で、緑色

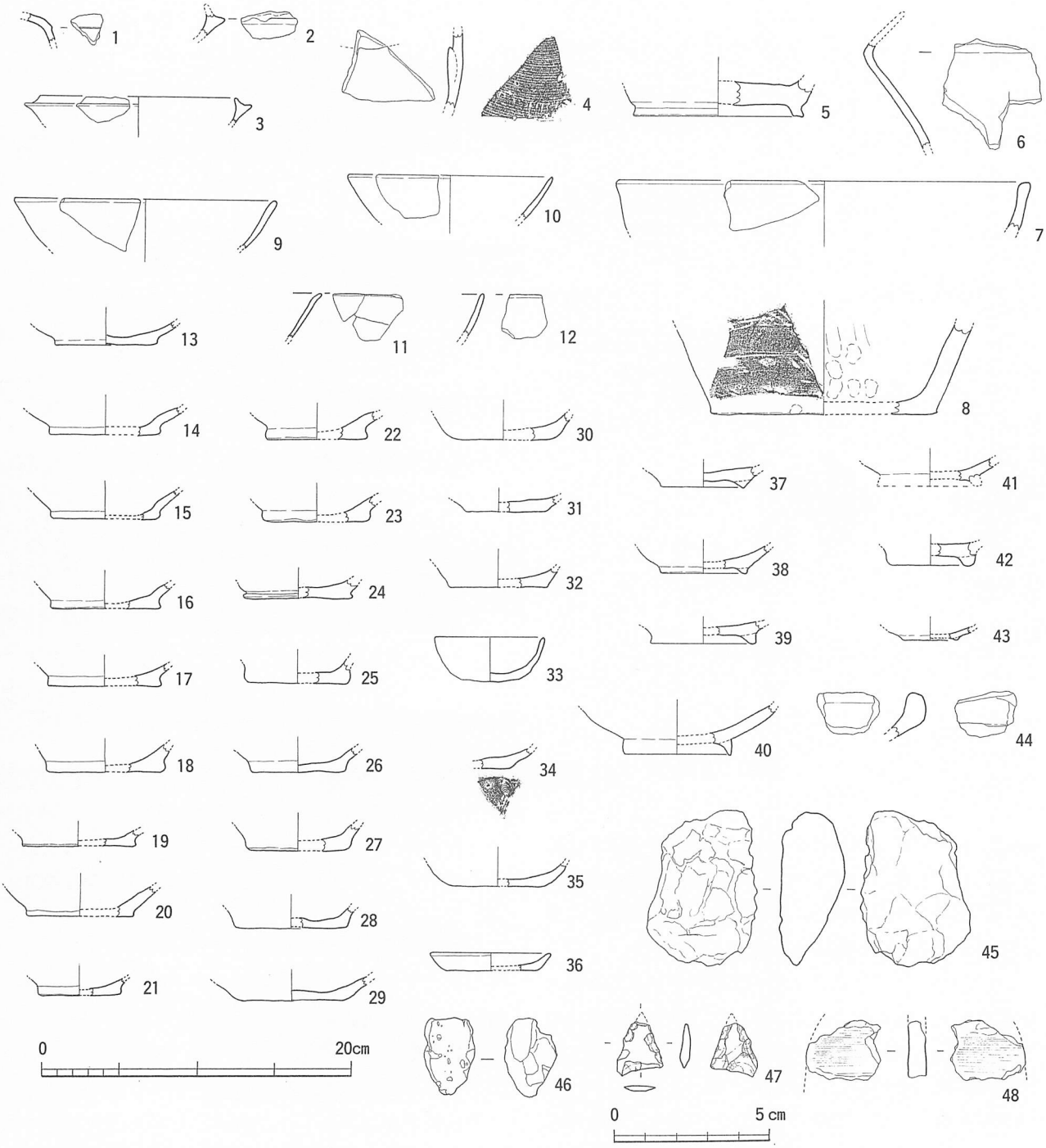


図86　Ⅲ区SR－１c層出土遺物実測図（縮尺１／４、１／２）

片岩製。なお、c層からは刀子１点(図115－３)も出土している。

②　**e１層出土遺物**（図87・88、図版30-3～7）

SR－１e１層出土で図化できたのは72点。１～９は８世紀以前の須恵器。１～３は坏蓋で、１は５世紀末～６世紀初、２は６世紀前葉。４は７世紀前葉の坏。５は壺胴部片。６は８世紀後半の蓋。７は長頸壺の脚台部。７世紀末。８は平底の壺底部。内外面ともに回転ナデ。９は大甕の体部片。10～14は土師器。10は高坏脚裾部で、内面に明瞭な稜が入る。５世紀代。11は甕口縁。12は壺。13は坏口縁部。体部から口縁部に向かって緩やかに内湾し、口縁部は直立気味に立ち上がり、わずかに内傾する。14は坏底部。

15～19は坏ないし椀の口縁。15のみ須恵器で他は土

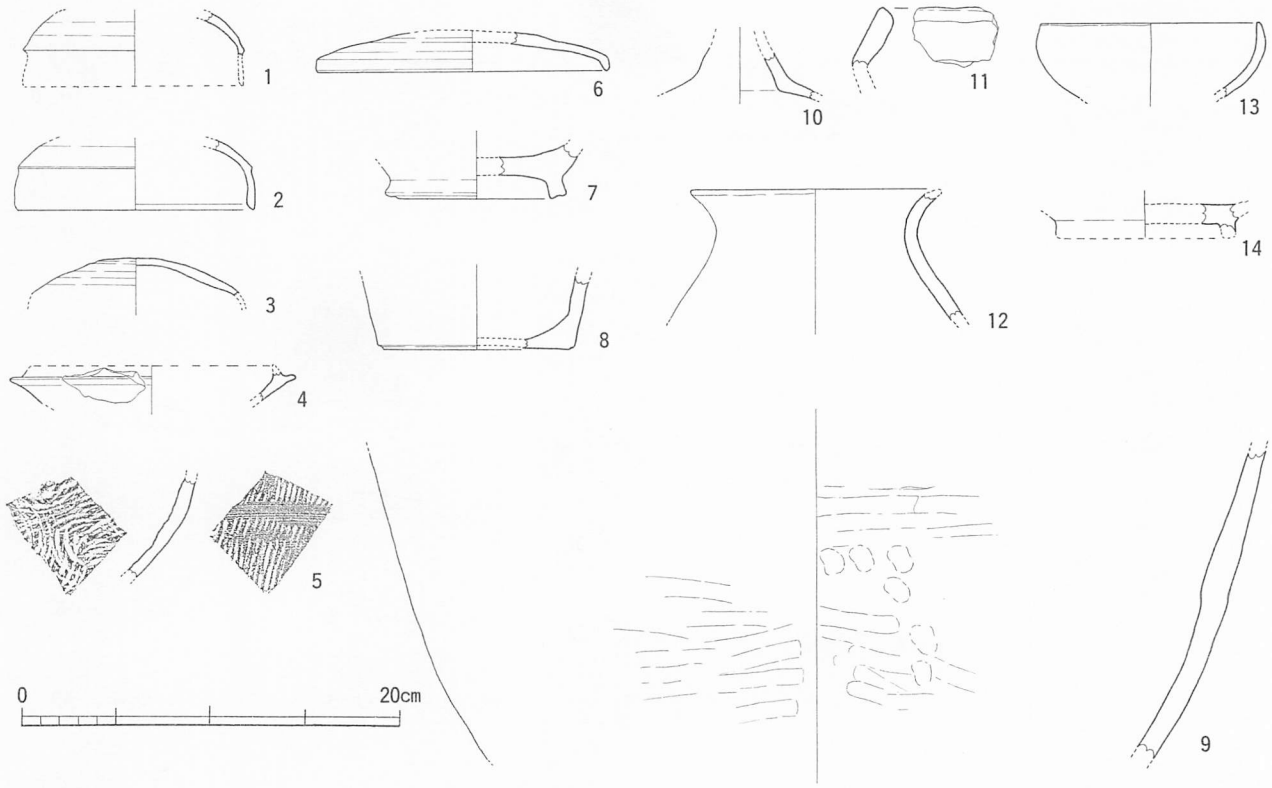


図87　Ⅲ区SR－１e１層出土遺物実測図(1)（縮尺１／４）

師器。15の口縁端部は強いナデにより稜が入る。10世紀代。16は外面に回転ナデによる明瞭な稜線を残し、赤色の化粧土が見られる。10世紀代。17～19は口縁端部下に強めのナデが施され、稜が入る。

20～34は坏底部である。20～24は円盤状高台。23・24は回転糸切り。24の胎土は粗い。25の底部内面は中央部が突出し、回転ナデの痕跡が明瞭に残る。28はヘラ切りの後に板目圧痕。29～31は高台をもたない。31は回転糸切り。32・33は外底面がやや凹む。33は回転糸切り。34は底径12.6cmと大型。これらの底部片は10～13世紀の範疇でとらえられる。

35～45は土師器皿。35～38は口縁部。35は椀の可能性もある。38は厚みのある底部から直線的に立ち上がる。外面に赤色の化粧土が見られる。39～45は小皿。40はヘラ切り。44は口径7.6cmとかなり小さい。45は内底面の中央が突出する。切り離しは回転糸切り。

46～50は椀の口縁。46～50は体部から緩やかに内湾し、口縁先端で短く外反する。いずれも口径16cm前後。51は内黒の黒色土器体部片。内面はミガキが施され、下方ほど密。外面には煤が付着。53～71は椀底部で高台を有する。53・54は所謂足高高台で、53は重厚な底部。55～58は断面三角形の高台。56は丁寧なナデを施し、器壁はなめらか。60は低めの高台で、内底面には多方向のナデ。62は内面に雑なミガキを施す。62・66・67は、底部回転糸切りの後、高台貼り付け。68～71は内黒の黒色土器。内面のミガキは、70が定方向、71は放射状。

72は被熱粘土塊。２～３㎜幅のスサ状痕が見られる。73はガラス滓。内面は黒色で表面と断面の一部はにぶい赤褐色を呈する。74は土師器坏。10世紀前半。

③　**e２層出土遺物**（図89、図版31-1～4）

重機掘削の際、e２層出土として回収した遺物の内、図化できたのは38点。

１～10は須恵器。１・２は坏蓋で、ともに稜が明瞭で５世紀末から６世紀初。３は坏底部。４は壺口縁部で、直立する筒状の頸部から、口縁端部は玉縁状に巻き込む。６世紀後葉。５は壺もしくは瑞の胴部。６は直口の鉢。７世紀代。７は壺もしくは坏の底部片。焼

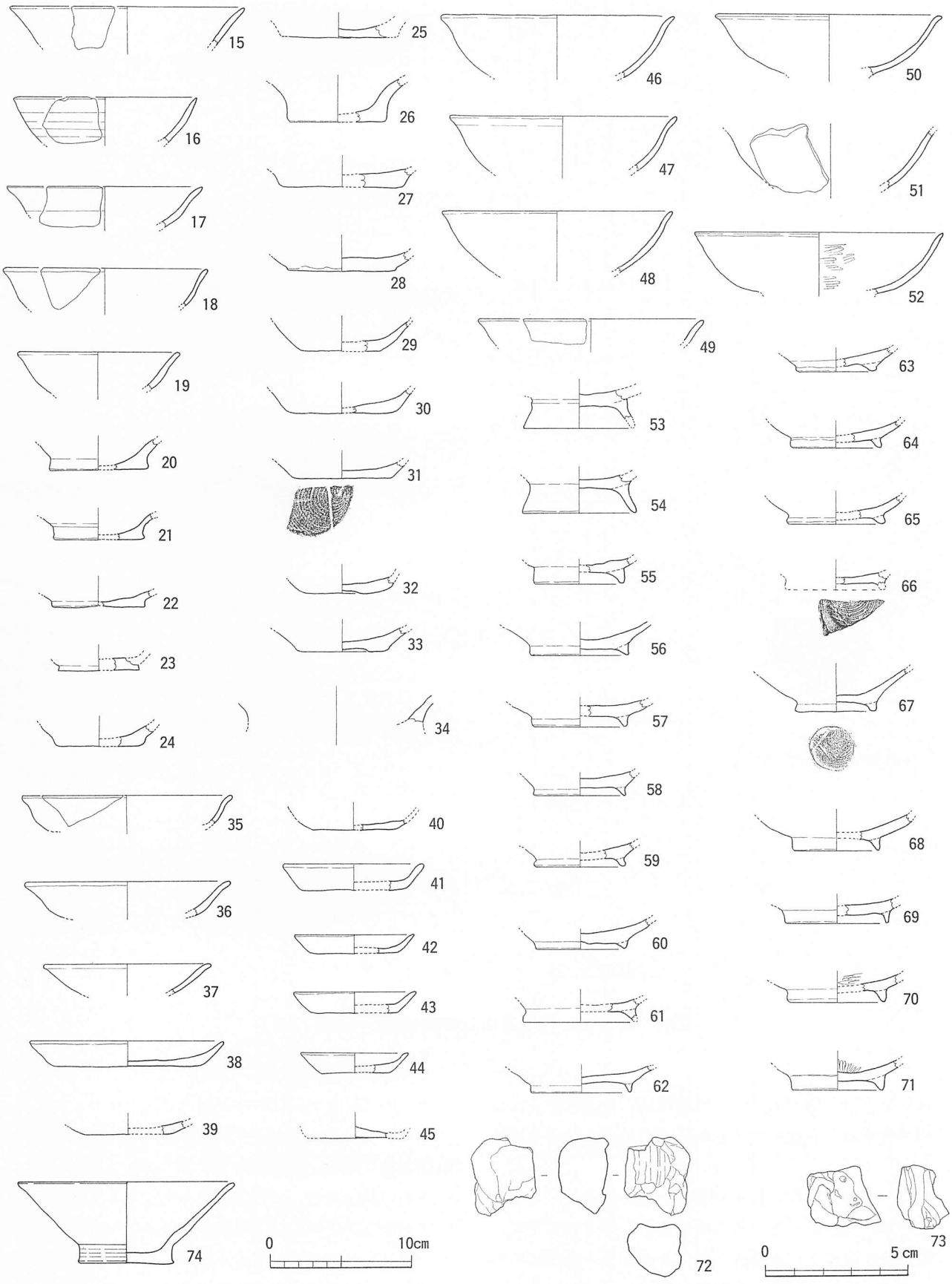


図88　Ⅲ区SR－１ｅ１層出土遺物実測図(2)（縮尺１／４、１／２）

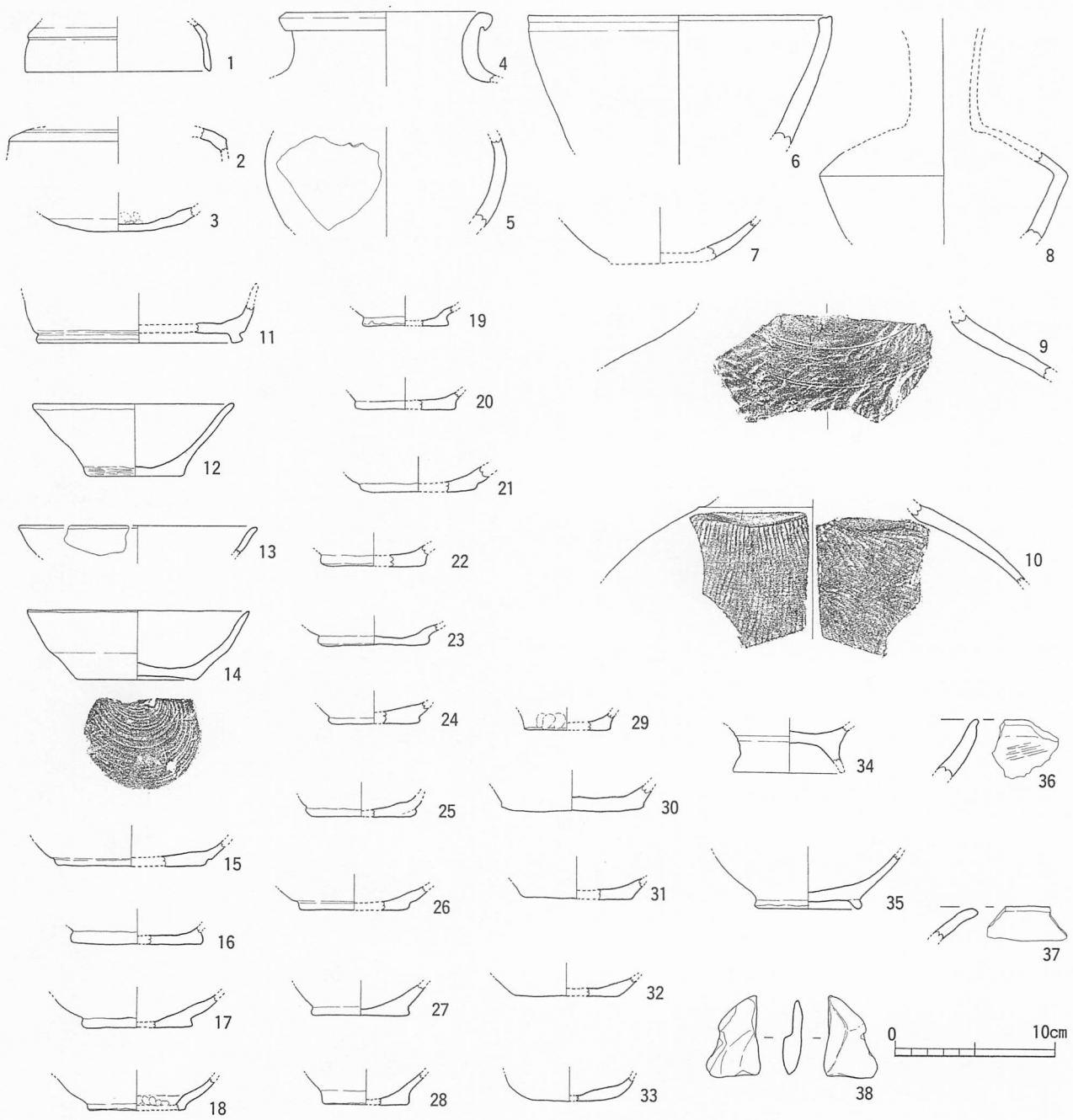


図89　Ⅲ区SR－１e２層出土遺物実測図（縮尺１／４）

成は軟質で火襷が入り、８世紀以降。８は算盤玉状の長頸壺胴部。８世紀代。９・10は大甕または壺の胴部上半。

11～37は土師器。11～33が坏。11は断面台形のしっかりした高台をもち、平らな底部から外上方に開く。須恵器を模倣したと考えられ、８世紀代。12は底部から緩やかに外に開き、口縁部は直口し、端部は丸く収める。底部立ち上がり部分には横方向のハケメが施される。10世紀前半。14の底部付近は強い横ナデによりくぼみ、口縁部は直線的に開く。底面は凹面で、回転糸切り痕が残る。13世紀前半。15～33は底部片で、15～28が円盤状高台。16～18はやや内傾する高台。16・17は回転ヘラ切り。15は須恵質の焼きで火襷が入る。24～26は丸みをもった高台。27はやや内傾した高台で底部をヘラ切り後ナデ。28は高めの外へ開く高台。29～32は立ち上がりがなく底部から外に開く。33は丸み

のある底部。34・35は椀底部。34は足高高台で10世紀代。35は内面にミガキ。36は甕か鉢の口縁部。37は鉢の口縁。38は泥岩質の剥片。表面の摩滅が著しい。

(2)　SX－２（図84）

Ｉh区で認められた粘質土の溜まり状の堆積が、Ⅲ区北部でも認められた。南北範囲は、X＝92785～92793辺りまでで、以北はＩ層がⅣ層直上にまで達する。Ｉ区では、SR－１と直接切り合わなかったが、Ⅲ区では切り合い関係から、SX－２がSR－１e１－１層とe１－２層の間に位置づけられることが判明した。

SX－２c層出土遺物として図化できたのは、18点（図90、図版31-5）。１は須恵器坏。６世紀末葉。２は須恵器の壺底部付近。外面は回転ヘラケズリ。３～５は土師器坏・椀の底部。３は円盤状高台で緩やかに内湾して口縁にいたる。10世紀代。４は坏口縁。５は椀口縁。６～16は坏の底部で、16以外は円盤状高台。６は厚く明瞭な内傾して立ち上がる高台。底部は回転ヘラ切り後ナデ。７～13は直線的に立ち上がる高台。７は回転ヘラ切り後ナデ。12は回転糸切りでその上に板目圧痕が見られる。13は回転ヘラ切り。14・15はやや丸みをもった底部の立ち上がり。17は皿の口縁。18は鉢の口縁で、端部は短く外反。

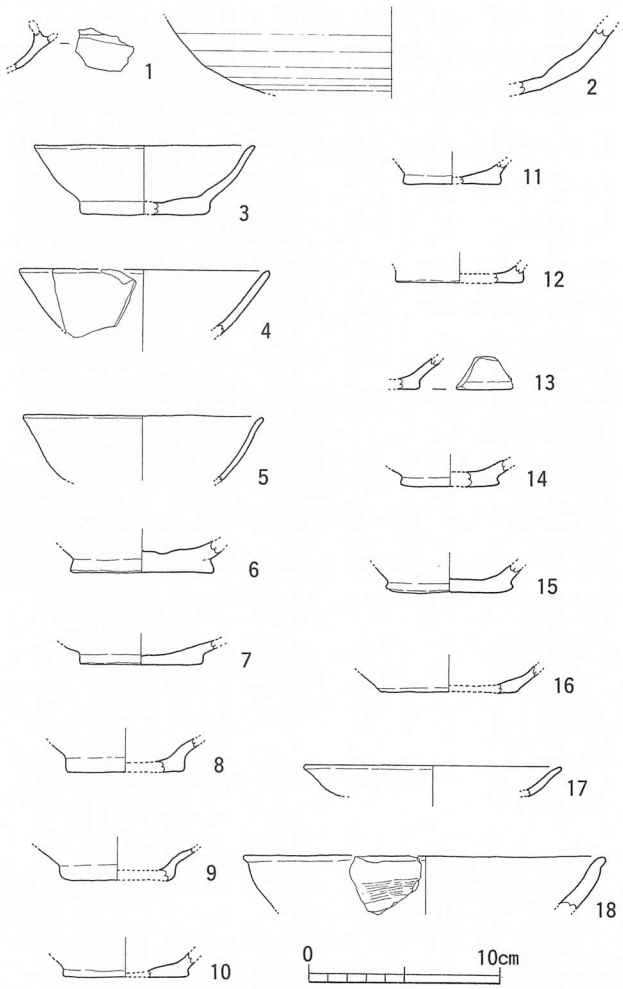


図90　Ⅲ区SX－２c層出土遺物実測図（縮尺１／４）

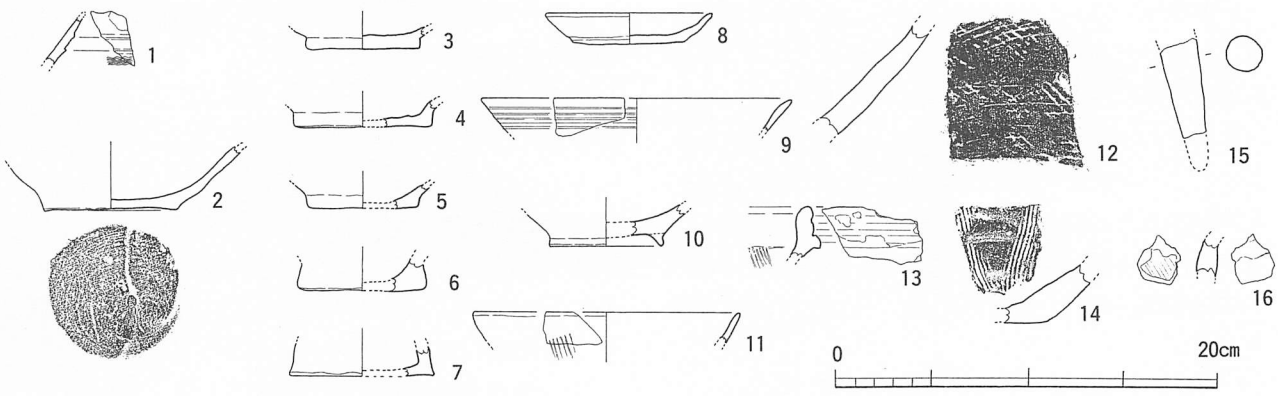


図91　Ⅲ区攪乱出土遺物実測図（縮尺１／４）

(3) **Ⅲ区攪乱出土遺物**（図91、図版31-6）

Ⅲ区の攪乱出土遺物から図化したのは16点。1は須恵器碗の口縁部。口縁外面には微隆起突帯が2条、突帯下には櫛描波状文が施される。2～7は土師器坏の底部片。2は回転糸切り。3～6は円盤状高台で、底部に明瞭な立ち上がりをもつ。8は土師器皿。外底面はヘラ切り未調整。9は瓦器椀口縁部。外面には横ナデによる稜が明瞭に入る。12世紀。10は土師器椀底部。11は青磁碗口縁部。口縁は直口し、外面に櫛描直線文が斜めに施される。15世紀前半。12は赤焼けの須恵質陶器の胴部下半。SR-1c層出土に同じ形態の破片（図86-8）がある。13は備前焼擂鉢の口縁部。口縁部は直立し、口縁外面には凹線文が2条施され、16世紀後半。14は備前焼擂鉢の底部。15は羽釜脚。16は器種不明の胴部片である。外面には粘土の継ぎ目が見られ、内面は被熱により赤変する。

(4) **小　結**

Ⅲ区では、If区以西で検出していたSR-1の本流部分を検出したことになる。ただし、SR-1の南岸は未検出のままで、SR-1の底にしても、最終的に重機掘削によって確認したに留まる。しかしその範囲内でも、Ⅰ区とは若干異なる遺物相が窺える。すなわち、Ⅲ区SR-1出土遺物は、円盤状高台の土師器坏等、10～12世紀の遺物が主体で、これはⅠ区と同様ながら、回転糸切り底の13世紀以降に下る土師器の坏・皿が、c層からe層にいたるまで、一定量出土している。また、Ⅰ区SR-1ではより多く出土した、古墳時代に遡る遺物も、Ⅲ区では少ない。流路内の地点により、埋没単位に差が生じていた可能性が高い。

一方、Ih区で認められたSX-2の堆積がⅢ区でも認められ、それがSR-1e1層中に嵌入するように堆積することが判明した。別遺構でSX-2としたものの、本来はSR-1d層の面的広がりと理解できることになる。あるいは、SR-1北岸に水口等の何らかの施設が置かれたことに伴う堆積の可能性もあるが、狭い調査範囲では、不明なままである。

iv　Ⅳ区の調査

Ⅳ区は、遺伝子実験施設新営地点の内、排水処理施設を解体した後に、その建物跡に設定された調査区である（図92）。東西約13m・南北18mを測る。排水処理施設基礎等により、表土掘削段階で既に井桁状に攪乱が及び、とりわけ北側の攪乱が激しい。それでも、攪乱の及ばなかった深度においては、調査区南側でⅠ区・Ⅲ区で検出したSR-1の本流部分を確認できたし、部分的にSX-2に相当する堆積の広がりも確認できた（図版21）。Ⅳ区で確認した遺構は、この2単位の堆積以外に柱穴1基（SP-176）のみである。

Ⅳ区内の小区画は、南北方向に、X＝92780以南をⅣa区、X＝92780～92785をⅣb区、X＝92785～92790をⅣc区、X＝92790以北をⅣd区とし、東西方向にY＝－65160以東を東、Y＝－65160～－65165を中、Y＝－65165以西を西として、「Ⅳb中」等として遺物を取り上げた。

(1) **SR-1**（図92、図版22）

SR-1は、その北岸を北西－南東方向に斜行しながら、およそ標高39.8mで確認できた。北岸直下で39.5mまで下がり、調査区内最深部では39.2mを切る。この最深部は、検出した北岸にほぼ並行し、しかも北岸がわずかながらも北側に膨らむことから、この地点が蛇行する水流の攻撃面側に当たっていたと判断される。一方、南側については、調査区南壁付近で底のレベルが南側に上昇する部分も認められ、攻撃面と反対側で緩やかな傾斜によって、調査区外で南岸を形成していたものと推測される。その一部は、本調査に先行する事前試掘の99804調査5トレンチで検出した落ち方が相当しよう。

Ⅳ区において発掘できたSR-1埋土は、上層のa・b層を欠き、c層以下、e1層とe2層である。c層は調査区南壁で20cm内外、e1層が60cmに及んで厚く堆積し、e2層は20cm程度とやや薄い。流路の最深部ではe2層がもう少し厚い堆積となっていたが、それでも西側のⅢ区と比べると、e2層の堆積は薄いようである。以下、出土層位毎に遺物を解説する。

① **c層出土遺物**（図93、図版32-1･2）

図化したのは28点。1は弥生土器の複合口縁壺口縁部。2・3は土師器坏底部。2の体部は丸みをもつ。4～7は円盤状高台の坏底部。4は内底面に回転ナデの痕跡が顕著で中央部が突出する。6は回転ヘラ切

り。７の内底部はへそ状に突出する。８～10は土師器皿。８は体部から緩やかに内湾し、口縁下で強いナデにより短く外反する。９は小皿。回転糸切りで、底部から体部への立ち上がりは鋭い。10は回転ヘラ切り後ナデ。11は須恵器。大きく開く口縁部が先端で短く外反する。９世紀代。12・13は土師器椀。14～24は椀底部で高台を有する。16・18は回転糸切り後、高台を貼り付け、内面はミガキ。19は内黒の黒色土器。21は瓦器椀。高台は断面台形状を呈する。外面はナデ、内面見込みは定方向のミガキ、体部は横方向のミガキである。12世紀代。22～24は土師器。25は青磁碗体部片。内外面に比較的厚い釉が施され、外面には蓮弁文の花弁が３単位残存している。26は東播系須恵器のこね鉢口縁部。11世紀後半から12世紀前半。27は土師質のこね鉢口縁部。28は羽釜口縁部で14世紀前半。29は瀬戸・美濃系のおろし皿。外底面は回転糸切り痕が残る。

②　e１層出土遺物（図94・95、図版32-3～9）

図化したのは59点。１・２は須恵器坏蓋。ともに６世紀後葉。３は須恵器坏底部。内面に青海波文の当て具痕が残る。

４～42・44・45は土師器。４・５は坏口縁部。４は10世紀代。５は大型。６は皿口縁部で、白色の精製土を用いる。８～31は坏底部。８～25は円盤状高台。26～30は立ち上がりのないもの、曖昧なもの。８・13・16は須恵質に近く白色系の胎土。９・10・15～18・20・24・25・30・31は回転ヘラ切り。９・10はヘラ切り後板目圧痕。15は切り離し後ナデ。16は板状の擦痕が見られる。８・12・26・27・29は回転糸切りである。32～40は皿。32は大型。37は回転糸切り痕が残る。38は底部が厚く、口縁先端は短く外反する。外底面は回転糸切り痕が残る。39・40も回転糸切り。37～40の小皿は、13～14世紀。41・42は椀口縁部。44は足高高台で10世紀代。45は底部。

43・46～50は内黒の黒色土器の椀。43は緩やかに外に開く。器壁は薄く、内面横方向のミガキ、外面横ナデ。46～50は底部。46は回転ヘラ切り後やや高めの高台を貼り付ける。体部は横方向のミガキ。47の内面も横方向のミガキ。48・49は外面横ナデ、内底面に定方向のミガキ。49の欠損した高台の貼り付け面には２条の沈線が見られる。

51・52は土師器土鍋。51は口縁部の屈曲が強く、内面には明瞭な稜が入る。外面は縦方向の粗いハケ。内面の稜はハケメ調整による器壁の段差。52は口縁部。53は須恵器壺の筒状頸部。54は軟質ながら須恵質の壺底部。白色系の胎土。55は甕もしくは壺の胴下半部。56は甕の胴上半部。胎土は砂粒を多く含む。57は鉢の口縁部で、白色系の胎土。口縁部は短く屈曲し、上方へわずかにつまみ出される。58は甑の胴部。胴部外面は格子目状のタタキの後粗いハケメ。59は羽釜脚部。

③　e２層出土遺物（図96～98、図版33）

e２層からは117点を図化した。１は弥生土器の複合口縁壺。２～５・８～12は須恵器。２・３は坏。６世紀末から７世紀初頭。４は坏蓋。天井部には扁平なつまみがつく。８世紀代。５は坏底部。高台は内側のみ接地する。８世紀後半。６は土師器の坏底部。７は土師器の甕口縁部。８・９は壺体部。10は壺底部。９・10は胎土・焼きから古代。11は甕口縁部。５世紀後半に遡る。12は筒状の胴部。

13～75は坏ないしは皿。75のみ須恵器で他は土師器。13～21は口縁部。13～17は皿で、17は大型。18は内傾する立ち上がりから、体部は緩やかに内湾し、口縁端部は丸く収める。底部外面は回転ヘラ切り。10世紀代。21の坏は短い立ち上がりで、体部は直線的に外傾する。やはり10世紀代。22～75は底部。22～62は円盤状高台をもつ。22～37はほぼ直上に立ち上がる高台で、22は短く、33～36はやや長く立ち上がる。24・33・37は回転ヘラ切り、26は外底面に板目圧痕が見られる。34は回転ヘラ切りの上に板目圧痕。38～54は内傾する円盤状高台。40は回転ヘラ切り後板目圧痕。42は回転ヘラ切り。45は外底面は凹状で、回転糸切り。49は回転ヘラ切り後にナデ。50は回転ヘラ切り。53は回転ヘラ切り後部分的にナデ。54は回転糸切りで、精製土を用いる。55は高く内傾する立ち上がり。56～62は外傾または丸みを持った円盤状高台。56は回転ヘラ切り後ナデ。58は精製土を用い、内面ミガキ。56・60は回転ヘラ切り。63～75は立ち上がりが曖昧もしくは見られない底部。63・64は回転ヘラ切り。65は回転ヘラ切り後板目圧痕。75は須恵器で丸い底部。

76は皿底部。77～81は口径10㎝前後の小皿。79は外底面回転ヘラ切り未調整。いずれも10～11世紀。

82～110は椀。89が瓦器、90は須恵器、92が青磁、103～108は内黒の黒色土器で、他は土師器。82～91は口縁部。82・83の端部は肥厚して端反りする。82は内面ミガキで精製土を用いる。84も内面ミガキ。85は内外面ともにミガキ。89は瓦器で12世紀代。90は須恵器。口縁端部付近で屈曲し、丸く収める。91の口縁部は強

Ⅱ層
1　暗灰黄色（2.5Y5/2）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土の1㎝の円形ブロックをわずかに含む。サクサクした感じ。
2　にぶい黄色（2.5Y6/3）砂質土。赤褐色（5YR4/8）土が混じり、黒褐色（10YR3/2）土を棒状ブロックで含む。
3　黄色（2.5Y8/6）シルト、明褐色（7.5YR5/8）土、黒褐色(10YR3/2)土、灰白色（7.5Y7/2）土が混じり、色調斑ら。
4　橙色（7.5YR6/6）砂質土。にぶい黄橙色（10YR6/4）砂質土と混じる。砂粒は均質。
5　明黄褐色（10YR6/6）砂質土。4層と互層。しまりあり。やや粘性あり。
6　灰黄褐色（10YR6/2）砂質土。黒褐色（10YR3/2）粘質土を含む。

SR-1c層
暗褐色(10YR3/2)砂質土。1㎜までの粗砂を少し含み、しまり強い。やや粘性あり。遺物含む。

SR-1e1層
1　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。色調は全体に斑らで、灰色味や黄色味を帯びる箇所もある。部分的に暗赤褐色（2.5YR3/6）土を含む。
2　黄灰色（2.5Y6/1）砂質土。ややにぶい色調で、砂粒の大きさにばらつきがあり、1.5㎝の礫もまばらに含む。
3　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。1層に比べ、暗い色調。3㎜程の礫を多く含む。
4　c層に同じ。c層との間に薄い砂層を点々と介在。
5　褐灰色(10YR4/1)砂礫。5㎝前後の礫を含み、しまり弱い。
6　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂粒は細かく、0.1㎜以下。しまりは弱い。部分的にc層をラミナ状に含む。
7　黒褐色（10YR3/1）砂質土。d層ブロックがラミナ状に混じる。
8　褐灰色(10YR5/1)砂礫。1㎜前後の粗砂を混じえ、しまりは弱い。
9　褐灰色(10YR4/1)砂質土。d層・Ⅳ層ブロックを含む。しまりあり。
10　にぶい黄橙色（10YR6/3）砂。砂粒は1㎜前後。しまり弱い。
11　褐灰色（10YR5/1）砂質土。砂粒は0.1㎜以下で細かいがしまりは弱い。c層を10層よりやや多く含む。
12　灰黄褐色(10YR6/2)砂礫。1㎝までの礫を含み、しまりは弱い。
13　褐灰色（10YR4/1）砂質土。砂粒細かく、わずかにd層を含む。
14　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。d層・Ⅳ層を含み、しまりあり。
15　灰黄褐色(10YR6/2)砂質土。1㎜前後の粗砂を含み、しまりあり。
16　褐灰色（10YR5/1）砂礫。1㎝前後の礫からなる。鉄分の沈着あり。しまり弱い。
17　黒褐色(10YR3/1)砂質土。d層をブロック状に多く含み、粘性あり。
18　褐灰色（10YR4/1）砂質土。わずかにd層を含む。しまり弱い。
19　灰黄褐色（10YR6/2）砂質土。砂粒は0.1㎜までしまり弱い。
20　褐灰色（10YR4/1）粘質土。明赤褐色（5YR5/8）土が混じる。1㎝の礫をほんのわずかに含む。粘性弱い。
21　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土が20層より多く混じる。砂粒は細かいが、ばらつきあり。サクサクした感じ。
22　褐灰色（10YR5/1）砂質土。砂粒は細かく均質。小石をわずかに含む。
23　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。橙色（7.5YR6/8）土の1㎝ブロックをわずかに含み、明赤褐色（5YR5/8）土・粘質土が混じる。
24　褐灰色(10YR4/1)粘質土。粘性はやや弱く、23層との互層。
25　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂粒は細かく1㎜程の粗砂も多く含む。
26　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂粒は細かく2㎜の礫をわずかに含む。
27　灰黄色（2.5Y6/2）砂質土。砂粒は細かく均質。サクサクした感じ。
28　にぶい黄橙色（10YR6/4）砂礫層。礫は5㎜と小さいが、非常に多い。
29　灰黄褐色（10YR5/2）シルト。やや粘性あり。部分的に28層との互層。
30　灰黄褐色（10YR6/2）砂質土。明褐色（7.5YR5/8）土をブロック状に含む。灰白色（7.5YR8/1）土が混じる。
31　にぶい黄褐色（10YR5/3）砂質土。砂粒は細かく、2㎜程の礫をやや多く含む。一部にやや大きい砂粒が混じる。やや粘性あり。
32　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂粒は細かく均質。橙色（7.5YR6/8）土が混じり、しまりあり。
33　褐灰色（10YR4/1）砂質土。2㎜までの砂礫をわずかに含む。東側の高所では橙色（7.5YR6/8）土が混じり、小石は見られない。

SR-1e2層
1　灰黄褐色（10YR6/2）砂礫。5㎜前後の礫を主体とし、しまり弱い。鉄分の沈着あり。
2　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂礫。5㎝前後の礫を含み、しまり弱い。

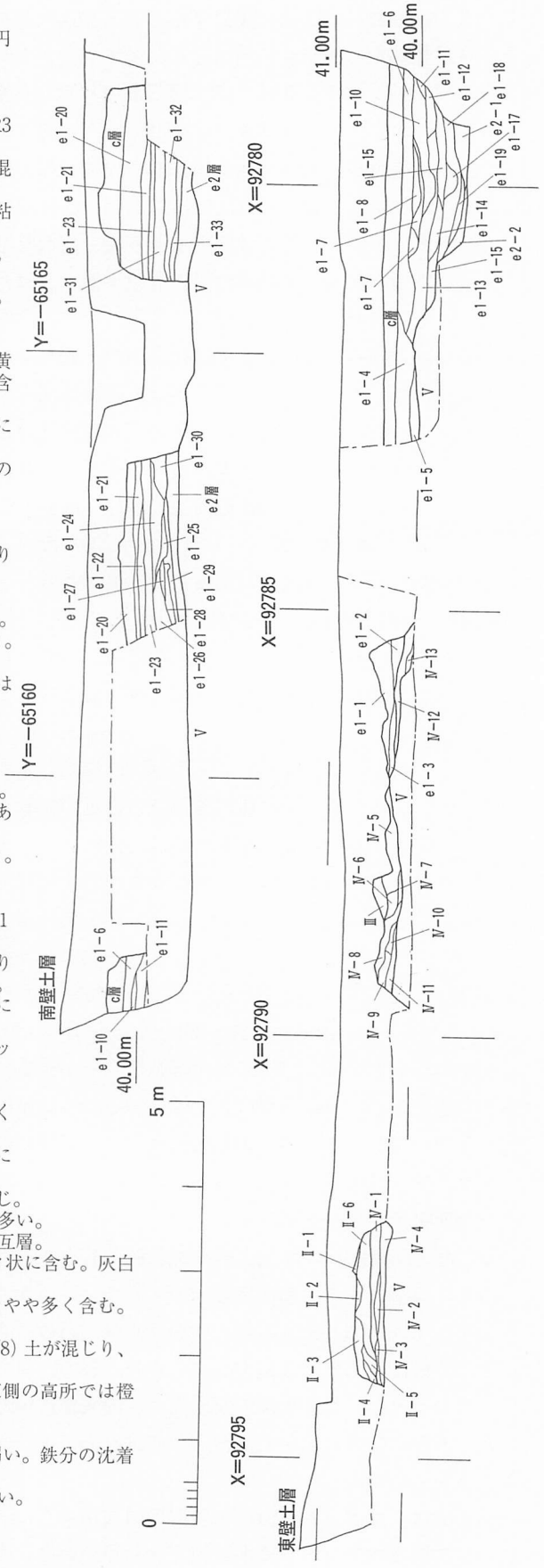
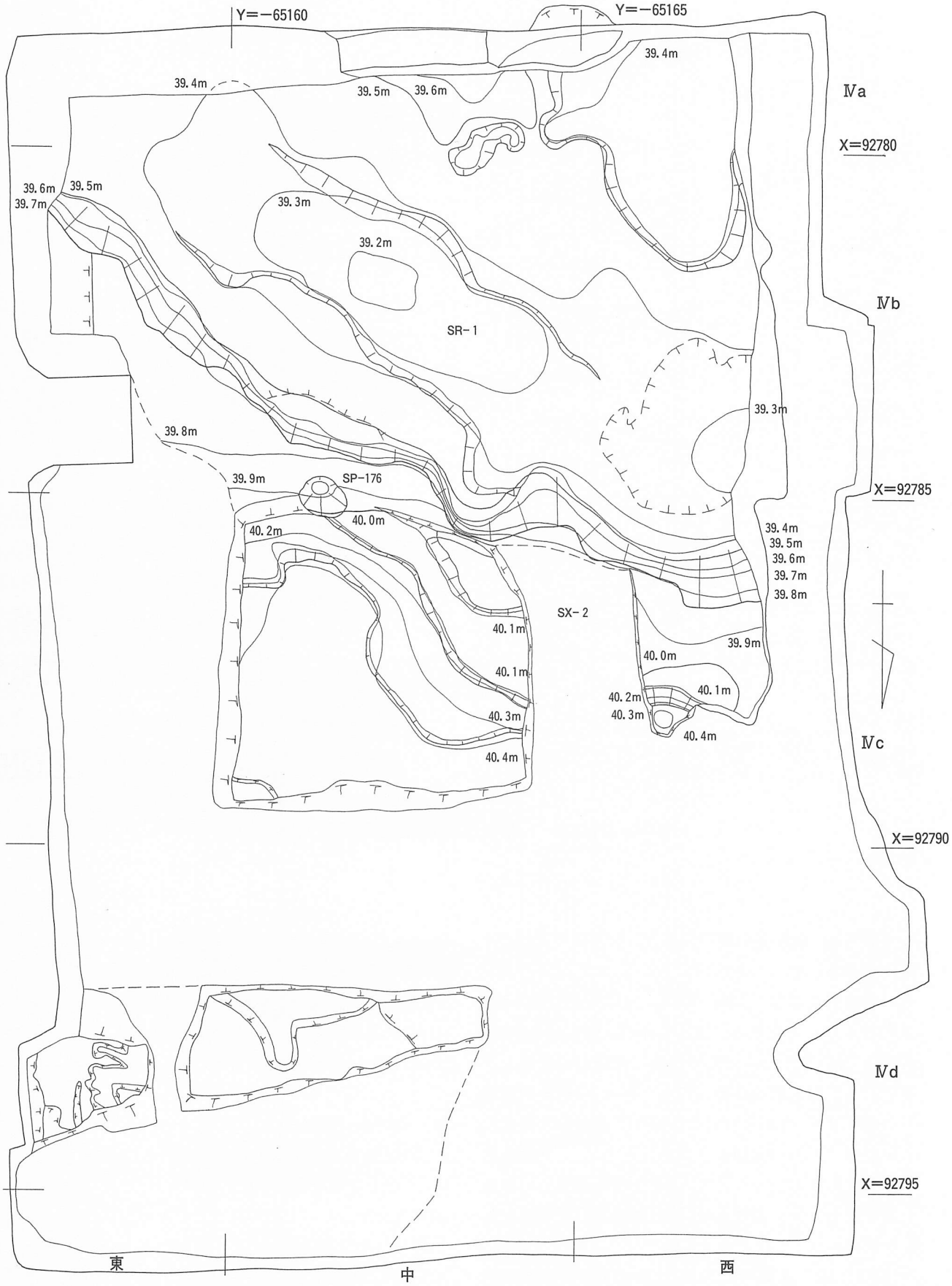


図92　Ⅳ区実測図（縮尺1/80）


Y=−65160
Y=−65165
39.4m
39.5m
39.6m
39.4m
Ⅳa
X=92780
39.6m
39.7m
39.5m
39.3m
39.2m
SR-1
Ⅳb
39.3m
39.8m
39.9m
SP-176
40.0m
40.2m
X=92785
39.4m
39.5m
39.6m
39.7m
39.8m
SX-2
40.1m
40.1m
40.3m
40.4m
39.9m
40.0m
40.1m
40.2m
40.3m
40.4m
Ⅳc
X=92790
Ⅳd
X=92795
東
中
西

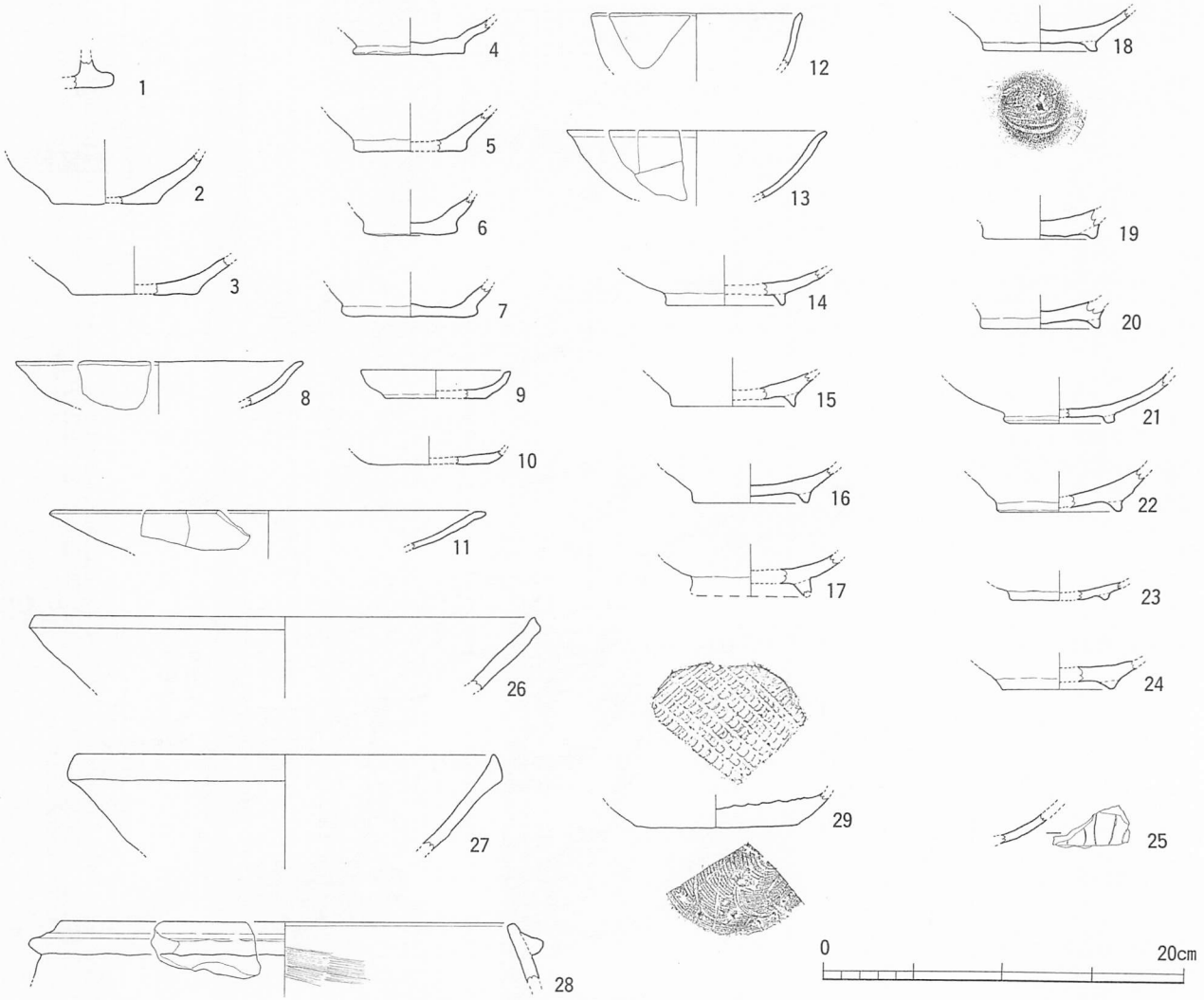


図93　Ⅳ区SR－１c層出土遺物実測図（縮尺１／４）

く外反する。92は青磁碗の体部片。内外面の釉はやや厚みがある。93～110は底部。93・94は足高高台で、93の高台端部は反り気味に開く。10世紀代。99～102は内面にミガキを施し、胎土は精良。99・100は見込みに定方向のミガキ。100の外面には赤色の化粧土が塗られる。回転糸切り後高台貼り付け。104は内面横方向のミガキ。105も内面にミガキ。高台の欠損部には貼り付けの際の沈線が２条が見られる。108は底部内面に定方向の密なミガキ。109は内外面黒色の黒色土器。高台は低く器壁も薄い。110は須恵質で外底面はケズリ。

111は土師質土鍋の口頸部。112は土師器の甕頸胴部。胎土は細かい砂粒を多く含む。113は、軟質で白色系胎土の須恵質の壺底部。外面は底部付近に横方向のハケメ後ナデ消し。114は土鍋の頸胴部。115は土鍋の口縁部。口縁部はやや強く屈曲し端部は面をなす。116は土釜の口縁部で、口縁部外面に粘土帯を１条貼り付ける。10世紀代。117は羽釜脚。

(2)　SX－２（図92）

Ｉh区及びⅢ区で認められた粘質土の溜まり状堆積が、やはりⅣ区でも部分的に認められた。攪乱により、高位部分がほとんど失われている中で、Ⅳc区西とⅣc区中の、島状部分において、Ⅳ層の直上、南側では薄くSR－１c層を被った下で、SX－２c層が広がっていた。

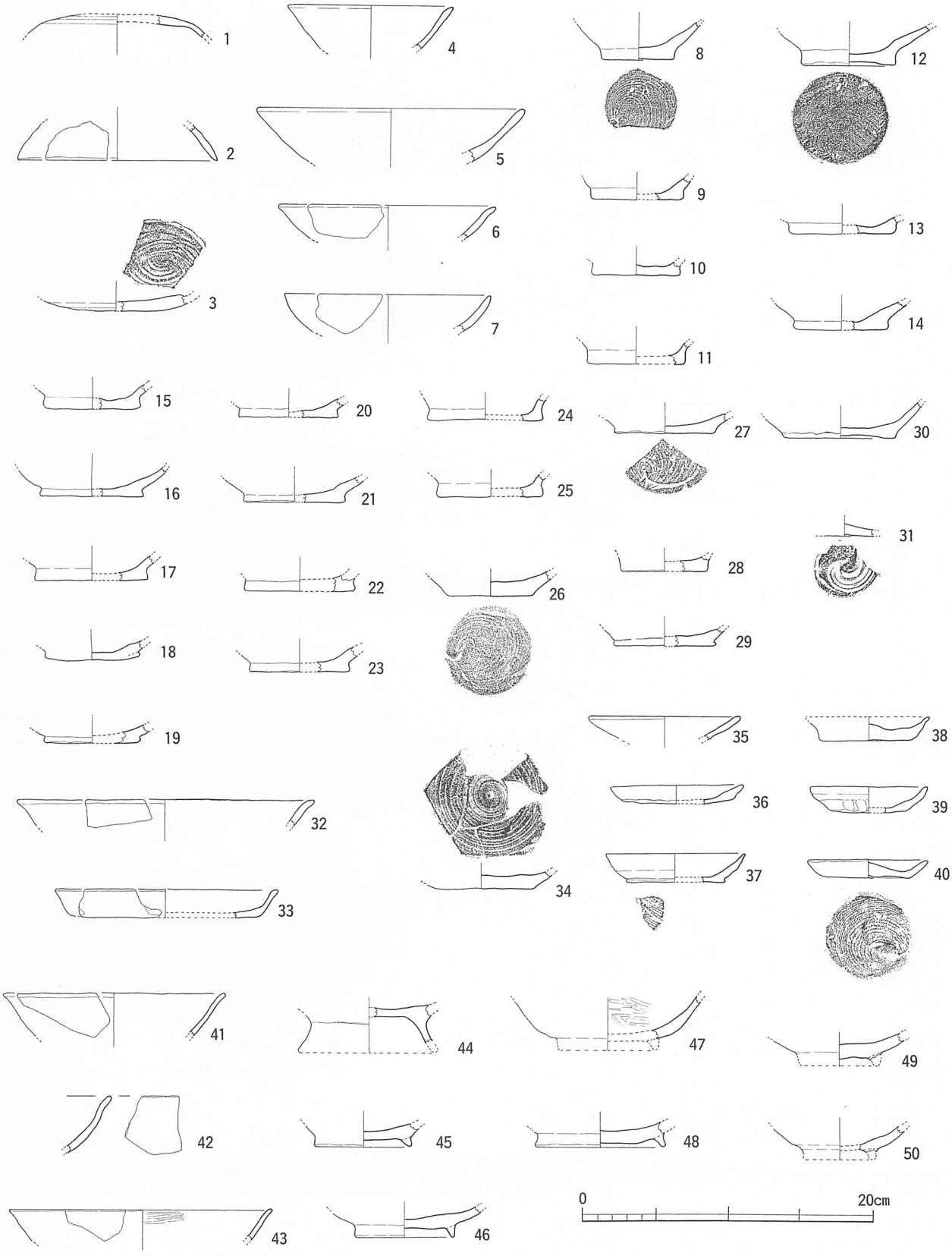


図94　Ⅳ区SR－１e１層出土遺物実測図(1)（縮尺１／４）

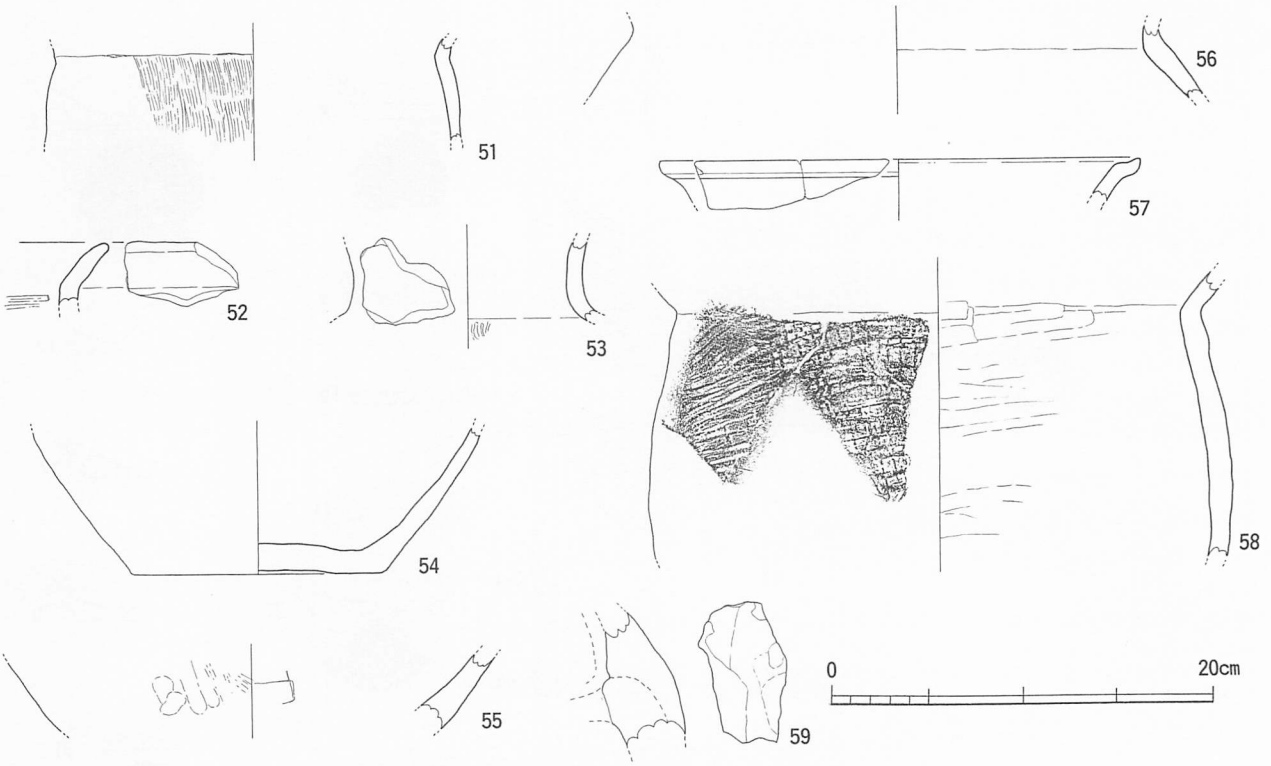


図95　Ⅳ区SR－１ｅ１層出土遺物実測図(2)（縮尺１／４）

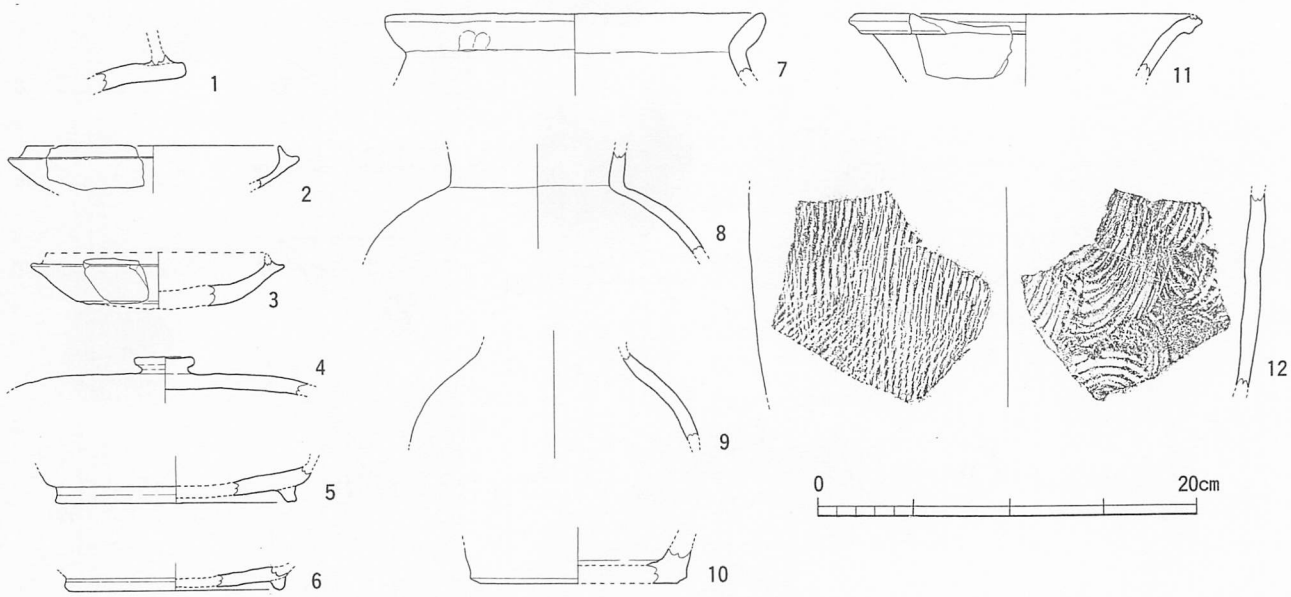


図96　Ⅳ区SR－１ｅ２層出土遺物実測図(1)（縮尺１／４）

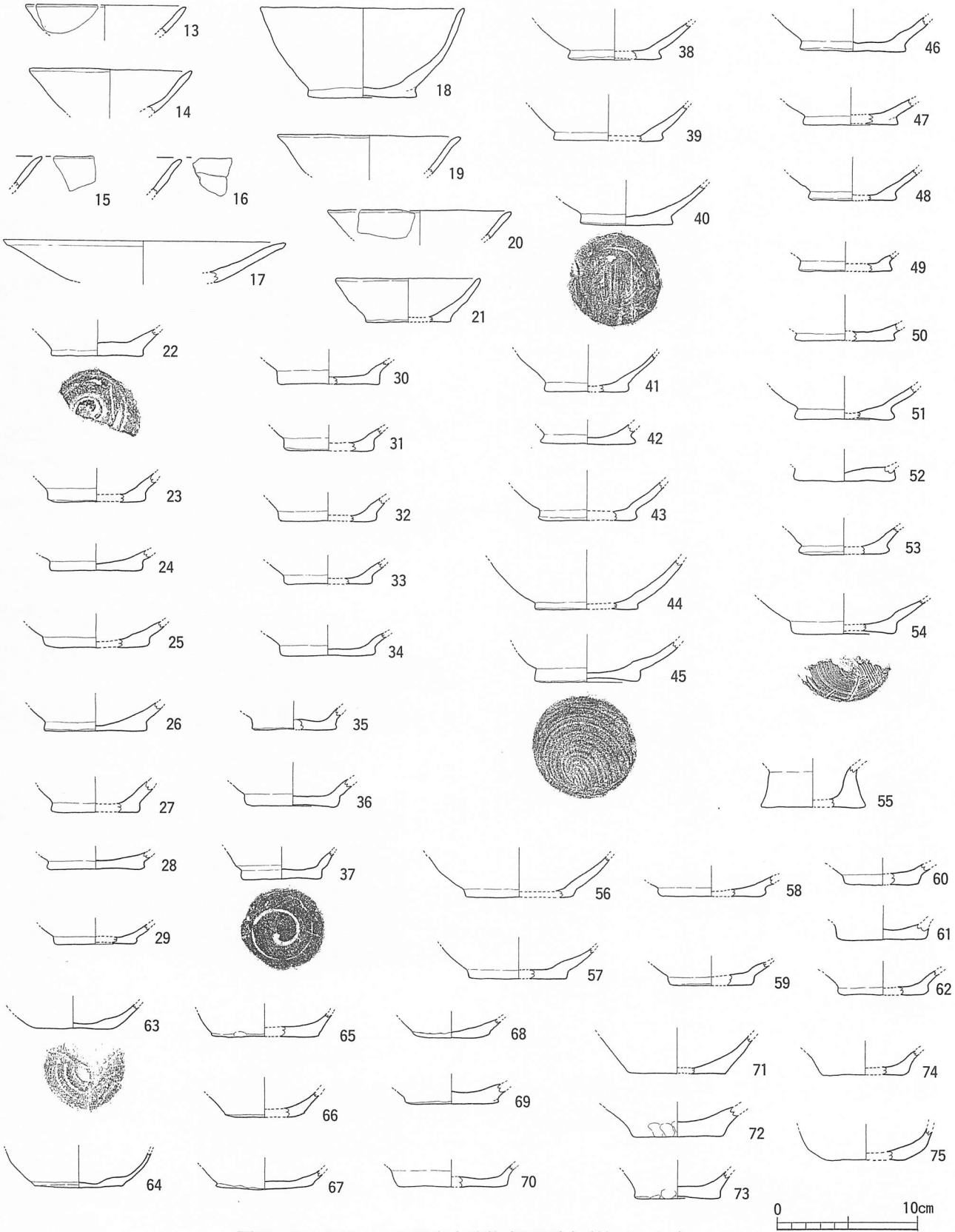


図97　Ⅳ区SR－１ｅ２層出土遺物実測図(2)（縮尺１／４）

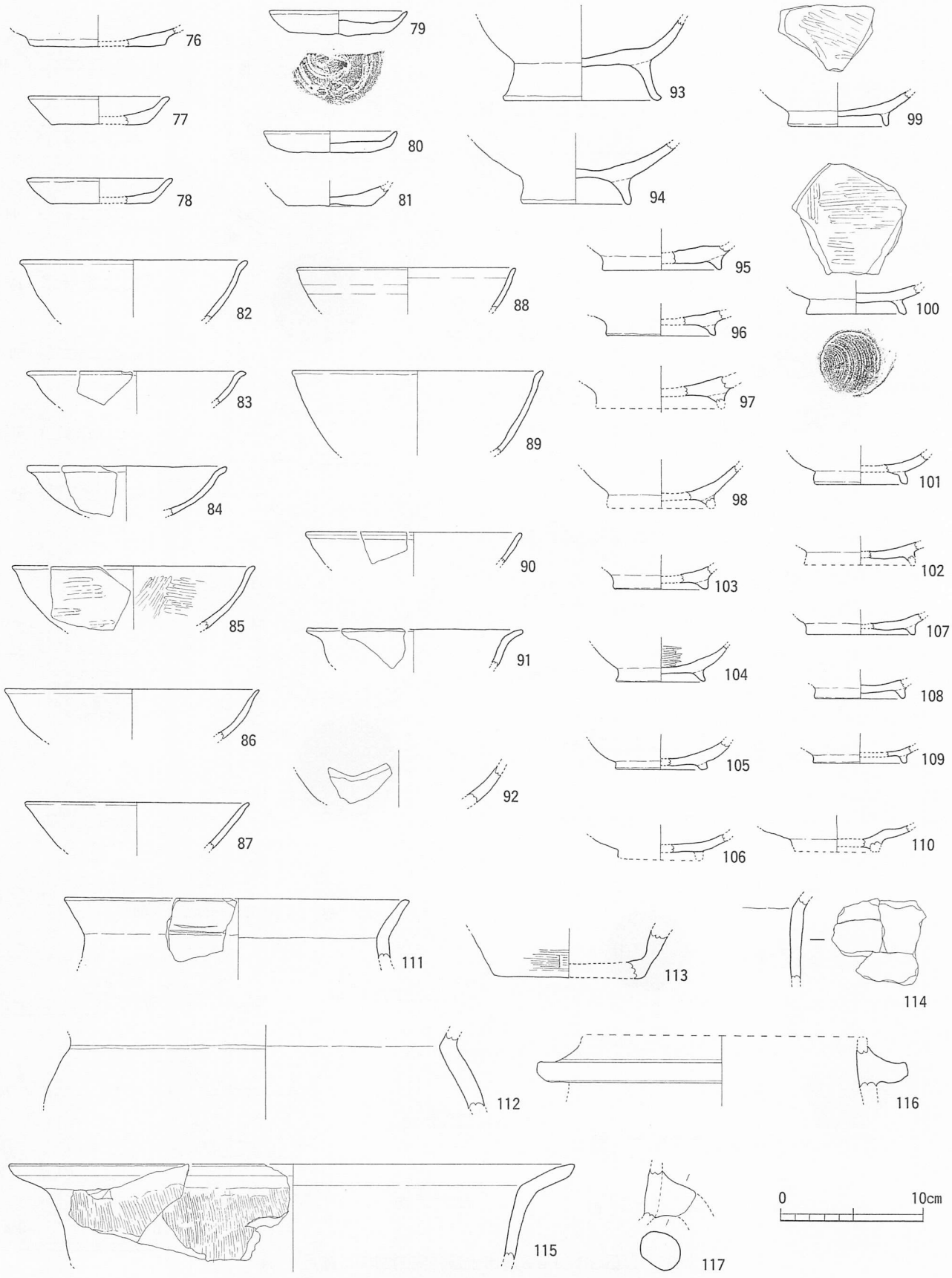


図98　Ⅳ区SR－１ｅ２層出土遺物実測図(3)（縮尺１／４）

SX－２c層出土遺物の内、図化したのは12点（図99、図版34-1･2）。１～３は円盤状高台の坏底部。外底面はすべて回転ヘラ切り。１・３は土師器、２は軟質の須恵器。４は、口縁下に強い回転ナデにより、「て」の字状となった皿口縁部。５は口径８cmの小皿。６は皿もしくは坏の底部。７は椀で、強いナデにより口縁先端で外反する。８は瓦器椀口縁部。12世紀代。９～11は高台付きの椀底部。11は回転糸切り後、断面三角形の高台を貼り付ける。12は須恵質の平瓦。凸面縄席文タタキで、凹面は細かな布目が見られる。SX－２出土遺物も点数は少ないが、SR－１出土遺物と様相に差はないようである。

(3)　**SP-176**（図92）

SX－２c層掘り下げ中に、同じc層を埋土とする柱穴を確認した。SP-176である。攪乱によって南半は上位を削平されているが、北半の残存部分では、柱穴上端径80cm前後に復元できる。残存した最高所から柱穴底までの深さは40cmを測り、底面は25×18cm程の東西に長い楕円形である。出土遺物として２点が図化できた（図100、図版34-3）。いずれも土師器椀底部である。１は断面三角形、２は台形状の高台をもつ。

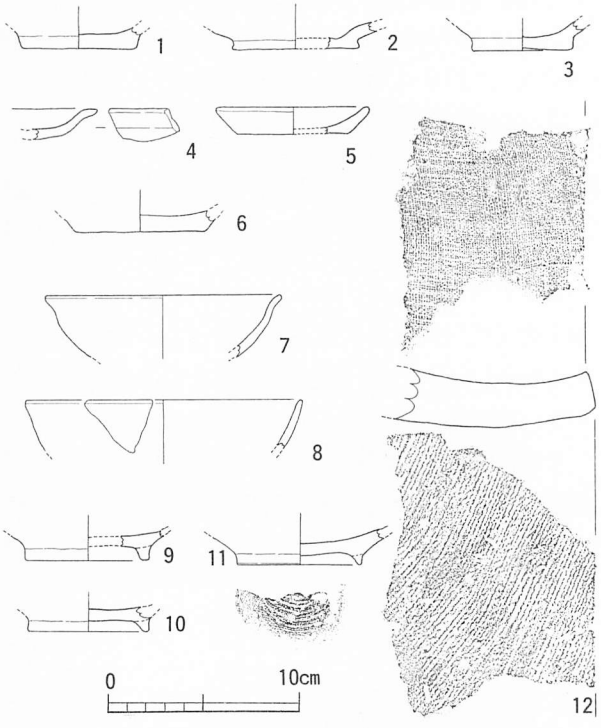


図99　Ⅳ区SX－２c層出土遺物実測図（縮尺１／４）

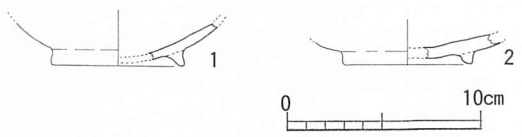


図100　SP-176出土遺物実測図（縮尺１／４）

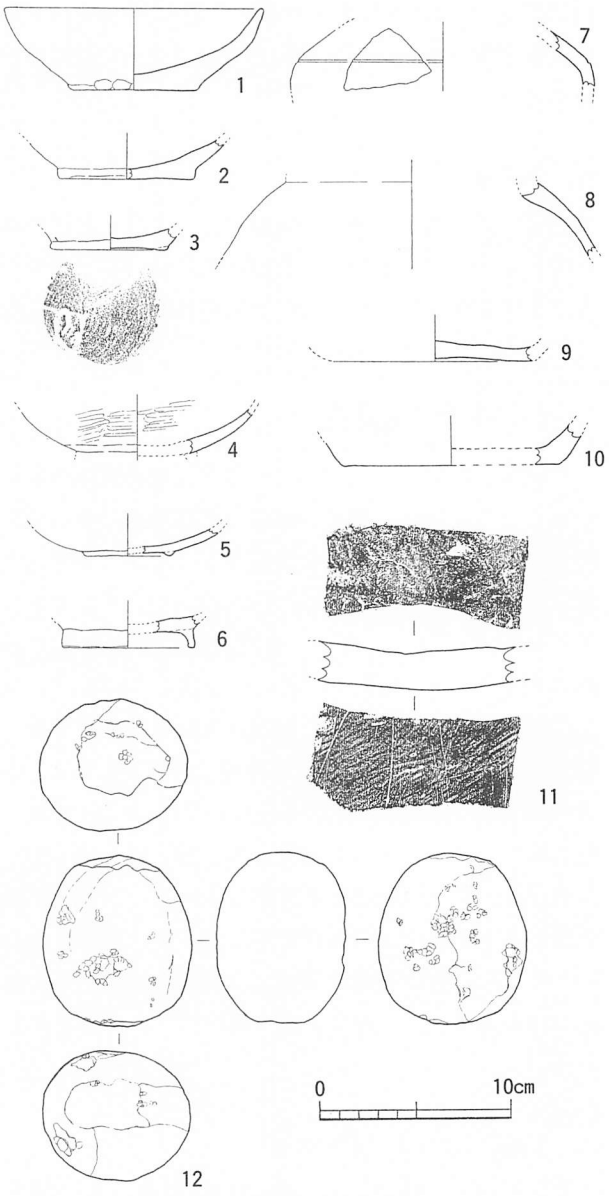


図101　Ⅳ区攪乱出土遺物実測図（縮尺１／４）

(4) Ⅳ区攪乱出土遺物（図101、図版34-4･5）

最初に述べたように、排水処理施設撤去に伴う攪乱がⅣ区には大きく及び、それら攪乱部から出土した遺物の内、12点を図化した。

1～3は坏。1は短い立ち上がりから緩やかに内湾し口縁部にいたる。立ち上がり部分に指頭圧痕がよく残る。2は円盤状高台の底部。底部は回転ヘラ切り後ナデ。3は回転糸切り。4～6は椀底部。4は内黒の黒色土器。内外面ともに横方向のミガキ。5は内外面ともにナデ。6は底部回転糸切り後、やや長めの高台を貼り付ける。7は須恵器の短頸壺もしくは瑞の胴上半部。8は土師質の壺。9は中世陶器の平底壺の底部。胎土は砂粒を多く含む。10は天目の底部。底面は露胎。11は平瓦。凸面は平行タタキをナデ消し、凹面もナデ。12は砂岩質の敲石。平面楕円形でほぼ全面に敲打痕が見られる。

(5) 小　結

Ⅳ区では、攪乱が著しいとはいえ、Ⅰ区・Ⅲ区で部分的にしか調査できなかったSR-1について、北岸から底までを東西約10mにわたって調査できたことになる。しかも、底部の様子や先の試掘調査の成果を加味すると、SR-1の南岸の位置の特定もおよそ可能な状況である。調査全体のまとめの中で、これについては触れたい。なお、SX-2とした堆積の広がりも認められ、その堆積土で埋没する柱穴SP-176も検出できた。Ⅲ区の小結で述べたように、あるいは水口などの施設に伴う堆積、さらには附随施設としての柱穴を考慮しておくべきなのかもしれない。ただし、それをより正確に検討するには、周辺の攪乱が激しすぎる。

Ⅳ区でもSR-1出土遺物は、10～12世紀の遺物が主体をなすものの、各層から13世紀以降の遺物の出土が認められ、底部回転糸切りも多い。したがって、Ⅰ・Ⅲ区の様相も加味して、SR-1の最終埋没は13世紀から14世紀にまで下ると結論づけられる。14世紀前後には、北部の2次調査地点付近で集落が形成されており、その遺物の一部がSR-1埋没に際して供給されたと考えられる。なお、12世紀以前の遺物の供給先については、SR-1上流の東部に求めることが適当で、4次調査地点の暗褐色シルト質土出土遺物とともに、樽味団地北東部からの供給が予想される。

v　Ⅴ区の調査

Ⅴ区は、電気管路に関して、農学部校舎東側中庭に設定された発掘区である。植栽と既存管路の多い中庭のため、直線的に発掘区を設定することができず、かなり曲折した発掘区となった（図版23-1）。それでも、幅0.7m・総長56mに及ぶ。また、既存管路などで分断された毎に、Va区～Vf区に小分割している。

Ⅴ区で検出した遺構は、竪穴式住居4棟、溝2条、柱穴・小穴23基である。Ⅴ区の西よりVa区では、中世の柱穴が比較的多く認められ、Vb・Vc区では、弥生時代と推定される住居跡（SC-16・17・18・20）の重複と、溝（SD-15）を検出している。一方、Ⅴ区中央部以東は、中世の包含層が広がるが、遺構は少ない。ただし、南側の樽味遺跡2次調査で検出された南北方向の溝SD-1に連なる溝（SD-19）が検出されている。

(1) Va区（図102、図版23-2）

Ⅴ区の西端、長さ11m・幅0.8mの東西に長い調査区である。60～70cmの表土の下、薄いⅡ層の堆積を挟んで、Ⅳ層が現れる。標高41.4m前後である。このⅣ層上面で竪穴式住居1棟（SC-20）と小穴19基を確認している。

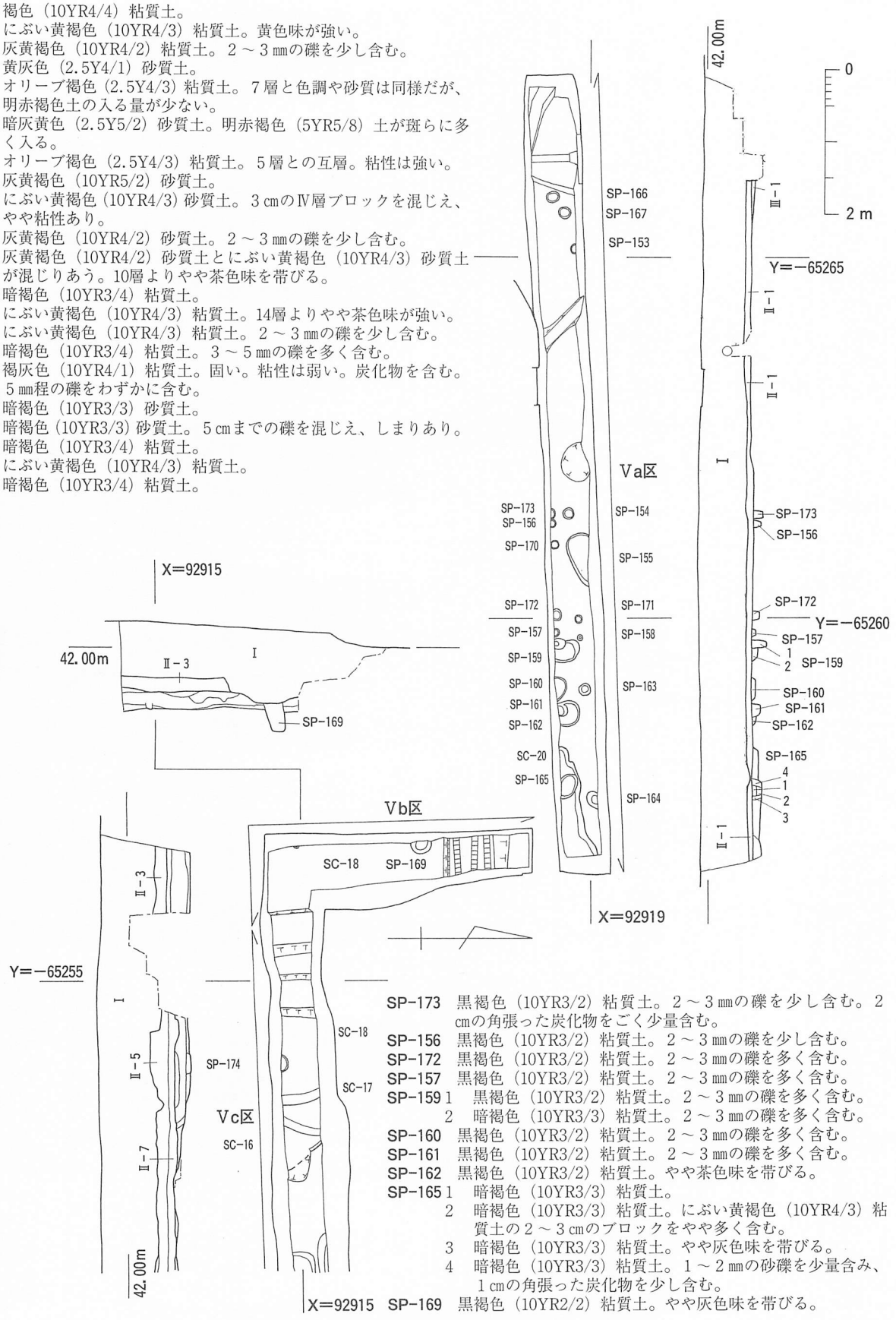
① SC-20（図104）

Va区東端で、東西方向から東で若干北にふる、ほぼ直線的な掘り込みである。SP-165に切られているが、埋土はそれと異なり、黒褐～黒色の粘質土で、南側Vb区のSC-18に一致する。ただし、床面レベルは41.3m前後で、SC-18には一致せず、別単位の遺構と考えられる。なお、SC-20出土遺物は何れも細片で図化できるものはなかった。

② 柱穴・小穴

多くは径10cm前後の小穴であるが、中には柱痕と掘方埋土が判別できるものも存在した（SP-159・161・165等）。これらのうち、SP-170出土遺物1点が図示できる（図103）。楠葉型瓦器椀の口縁部で、直線的に開いた後内湾し、端部は先細り。外面の口縁端部沿って帯状に黒変部が見られる。13世紀代。この他の多くの小穴も、中世と推定される。

Ⅱ-1　褐色（10YR4/4）粘質土。
Ⅱ-2　にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。黄色味が強い。
Ⅱ-3　灰黄褐色（10YR4/2）粘質土。２～３㎜の礫を少し含む。
Ⅱ-4　黄灰色（2.5Y4/1）砂質土。
Ⅱ-5　オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘質土。７層と色調や砂質は同様だが、明赤褐色土の入る量が少ない。
Ⅱ-6　暗灰黄色（2.5Y5/2）砂質土。明赤褐色（5YR5/8）土が斑らに多く入る。
Ⅱ-7　オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘質土。５層との互層。粘性は強い。
Ⅱ-8　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。
Ⅱ-9　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。３㎝のⅣ層ブロックを混じえ、やや粘性あり。
Ⅱ-10　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。２～３㎜の礫を少し含む。
Ⅱ-11　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土とにぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土が混じりあう。10層よりやや茶色味を帯びる。
Ⅱ-12　暗褐色（10YR3/4）粘質土。
Ⅱ-13　にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。14層よりやや茶色味が強い。
Ⅱ-14　にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。２～３㎜の礫を少し含む。
Ⅲ-1　暗褐色（10YR3/4）粘質土。３～５㎜の礫を多く含む。
Ⅲ-2　褐灰色（10YR4/1）粘質土。固い。粘性は弱い。炭化物を含む。５㎜程の礫をわずかに含む。
Ⅲ-3　暗褐色（10YR3/3）砂質土。
Ⅲ-4　暗褐色（10YR3/3）砂質土。５㎝までの礫を混じえ、しまりあり。
Ⅲ-5　暗褐色（10YR3/4）粘質土。
Ⅲ-6　にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。
Ⅲ-7　暗褐色（10YR3/4）粘質土。



SP-173　黒褐色（10YR3/2）粘質土。２～３㎜の礫を少し含む。２㎝の角張った炭化物をごく少量含む。
SP-156　黒褐色（10YR3/2）粘質土。２～３㎜の礫を少し含む。
SP-172　黒褐色（10YR3/2）粘質土。２～３㎜の礫を多く含む。
SP-157　黒褐色（10YR3/2）粘質土。２～３㎜の礫を多く含む。
SP-159　1　黒褐色（10YR3/2）粘質土。２～３㎜の礫を多く含む。
　　2　暗褐色（10YR3/3）粘質土。２～３㎜の礫を多く含む。
SP-160　黒褐色（10YR3/2）粘質土。２～３㎜の礫を多く含む。
SP-161　黒褐色（10YR3/2）粘質土。２～３㎜の礫を多く含む。
SP-162　黒褐色（10YR3/2）粘質土。やや茶色味を帯びる。
SP-165　1　暗褐色（10YR3/3）粘質土。
　　2　暗褐色（10YR3/3）粘質土。にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土の２～３㎝のブロックをやや多く含む。
　　3　暗褐色（10YR3/3）粘質土。やや灰色味を帯びる。
　　4　暗褐色（10YR3/3）粘質土。１～２㎜の砂礫を少量含み、１㎝の角張った炭化物を少し含む。
SP-169　黒褐色（10YR2/2）粘質土。やや灰色味を帯びる。

図102　Ⅴ区実測図(1)（縮尺１/80）

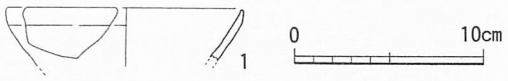
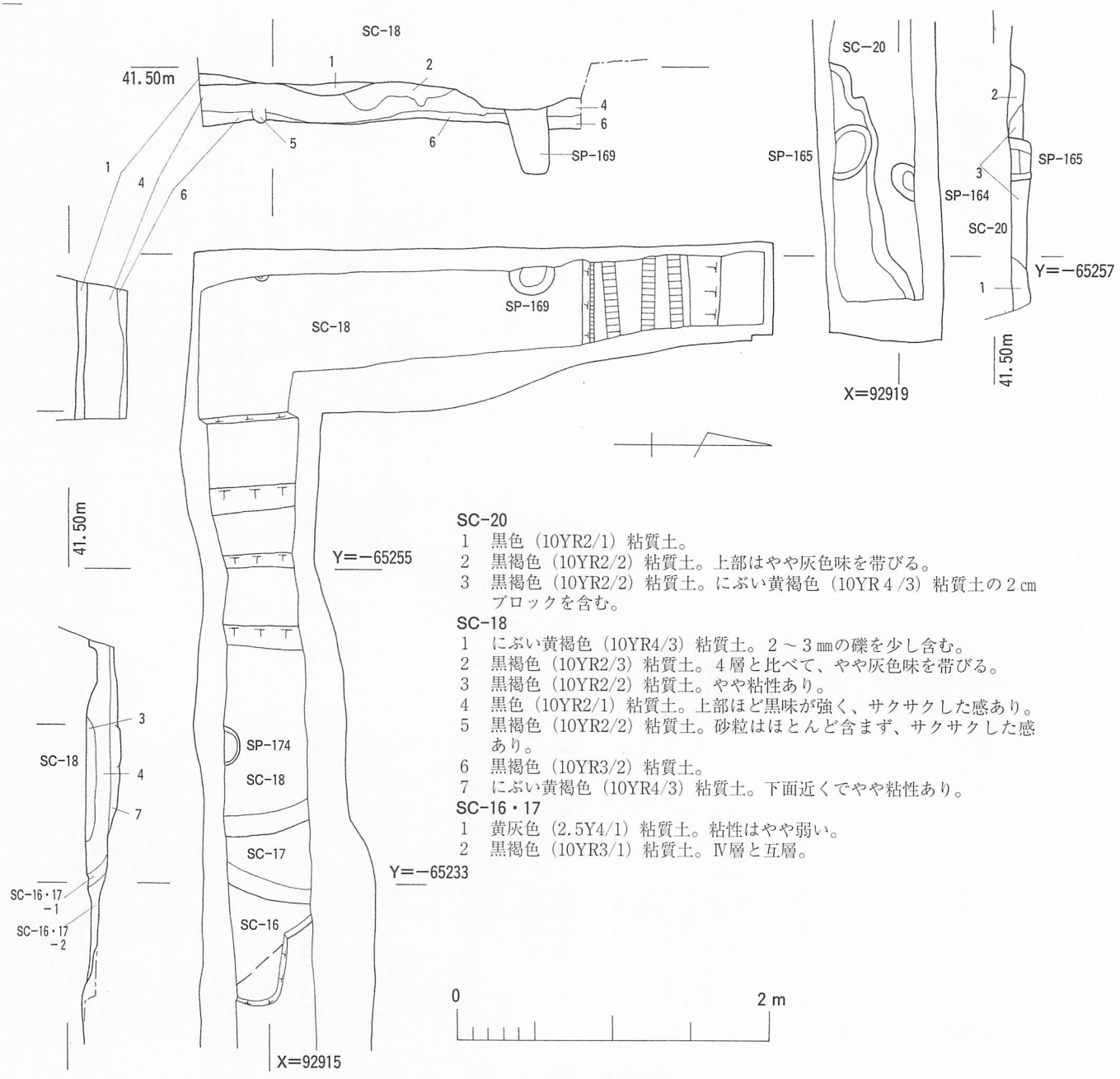


図103　SP-170出土遺物実測図（縮尺１/４）



SC-20
1　黒色（10YR2/1）粘質土。
2　黒褐色（10YR2/2）粘質土。上部はやや灰色味を帯びる。
3　黒褐色（10YR2/2）粘質土。にぶい黄褐色（10YR４/3）粘質土の２㎝ブロックを含む。

SC-18
1　にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。２～３㎜の礫を少し含む。
2　黒褐色（10YR2/3）粘質土。４層と比べて、やや灰色味を帯びる。
3　黒褐色（10YR2/2）粘質土。やや粘性あり。
4　黒色（10YR2/1）粘質土。上部ほど黒味が強く、サクサクした感あり。
5　黒褐色（10YR2/2）粘質土。砂粒はほとんど含まず、サクサクした感あり。
6　黒褐色（10YR3/2）粘質土。
7　にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。下面近くでやや粘性あり。

SC-16・17
1　黄灰色（2.5Y4/1）粘質土。粘性はやや弱い。
2　黒褐色（10YR3/1）粘質土。Ⅳ層と互層。

図104　SC-16・17・18・20実測図（縮尺１/40）

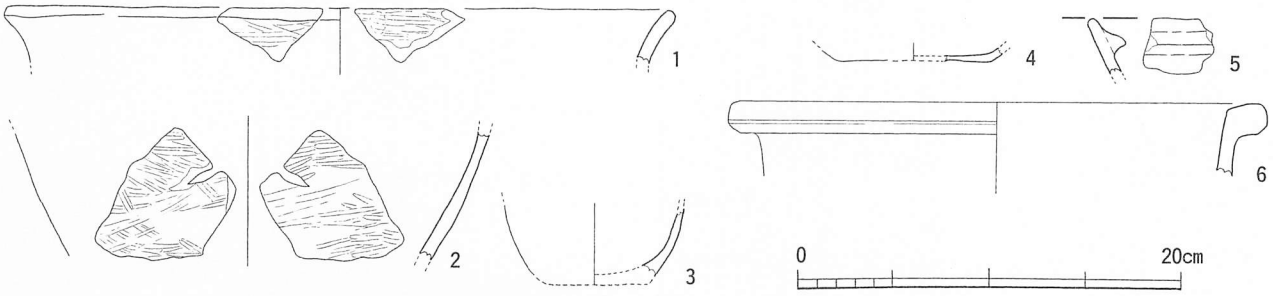


図105　Ⅴ区Ⅲ層出土遺物実測図(1)（縮尺１／４）

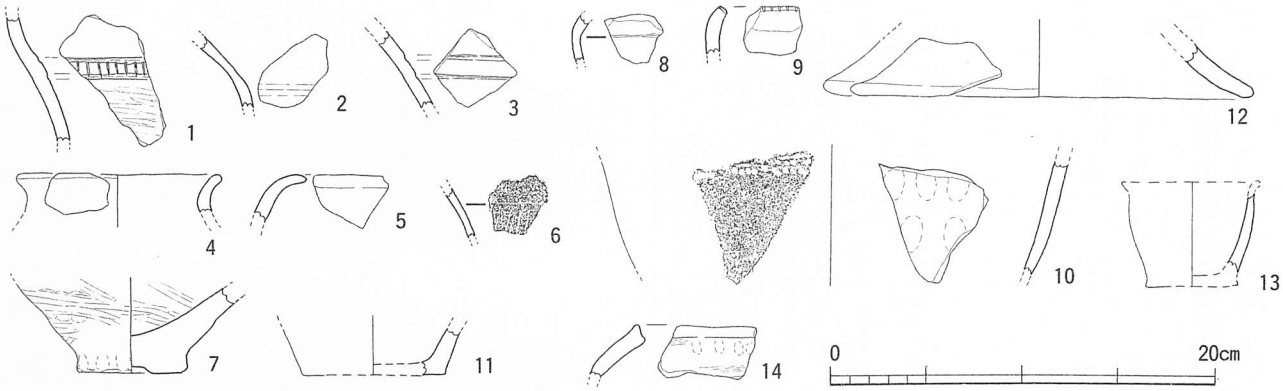


図106　SC-16・17・18出土遺物実測図（縮尺１／４）

(2)　**Vb区**（図102、図版23-3）

Va区から直角に南側へ屈曲し、再び東西方向に直角に屈曲するまでの、幅0.8m前後・長さ3.6m足らずの南北に長い調査区である。Va区とは縁石基礎のため0.4m程の、Vc区とも既設管路により1.4m程の未掘部分を挟む。さらにVb区北端１m程は、やはり既設管路により、以下を未掘のまま残している。したがって、Ⅳ層上まで完掘できたのは、幅0.5m・長さ2.4mに、東に25cm程屈曲した範囲に過ぎない。

①　**SC-18**（図104）

この範囲では黒褐～黒色粘質土が厚さ20～30cmと厚く堆積し、上部はⅢ層として取り上げたものの、下部は後記するVc区のSC-18に連続するものと理解して、遺物を取り上げた。完掘した床面標高は、41.15m内外である。床面では柱穴１基（SP-169）を確認したが、これは、壁面土層の観察により、上部からの掘り込みであると認められた。SC-18についてはVc区に連続し、出土遺物はそこで併せて説明する。

②　**Ⅲ層出土遺物**（図105）

上記したように、Vb区ではⅢ層出土として若干の遺物を取り上げている。多くは黒褐～黒色粘質土のⅢ-２層出土遺物であるが、SP-169のような中世遺構の掘り込みも一部認められ、中世遺物も混在する。なお、Va－b区間、Vb－c区間の未掘部分について、新設管路敷設時に、横からの掘削に伴って出土した遺物も、併せてⅢ層出土としている。

Vb区出土は４・５。Va－b区間出土が２・３。Vb－c区間出土が１・６である。１～３は弥生土器。１は、緩やかに外反する壺か鉢の口縁で、内外面横方向のミガキ。２も壺ないし鉢の胴部で、内外面横方向のミガキ。３はミニチュア土器の体部片。４は土師器皿の底部。板目圧痕が見られる。５は羽釜口縁部片で、14世紀前半。６は土師器釜の口縁部。直線的に外に開き、端部は断面隅丸方形の粘土帯を貼り付ける。胎土は精良。

(3)　**Vc区**（図102・107、図版23-3）

東西方向の、幅0.8m前後・長さ約７mの調査区で、東側のVd区とは既設管路による未掘部分で画されている。東側では、若干の凹凸があるものの、明確な遺構は認識していない。対して西側は、Vb区から連続する遺構が存在する。

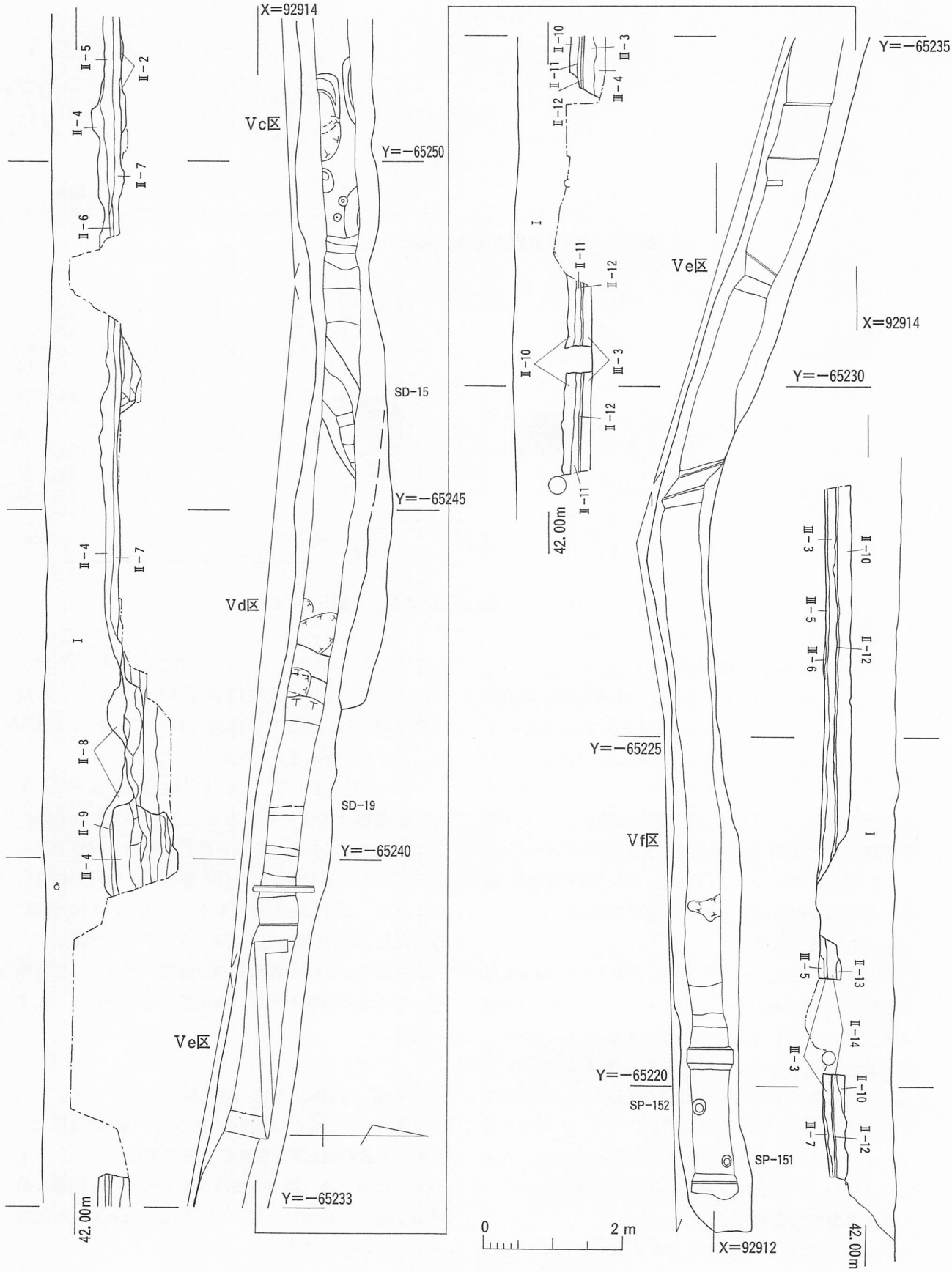


図107　V区実測図(2)（縮尺１/80）

① **SC-16・17・18**（図104）

Ⅴb区で確認されたSC-18がやはりⅤc区にも広がる。ただし、西端ではⅤb区同様、約41.15mの標高に掘り込みが達するが、東側では段状の掘り込みとなり、これをそれぞれ別々に認識した。下段がSC-18、中段SC-17、上段SC-16である。遺物取り上げではSC-16・17を一括としたが、最終的な土層確認によると、むしろSC-17とした埋土の単位は、SC-18に一連のもののようである。Ⅴa区のSC-20も含めて、SC-17・18、SC-16、SC-20と３回程度の遺構の重複があることになる。

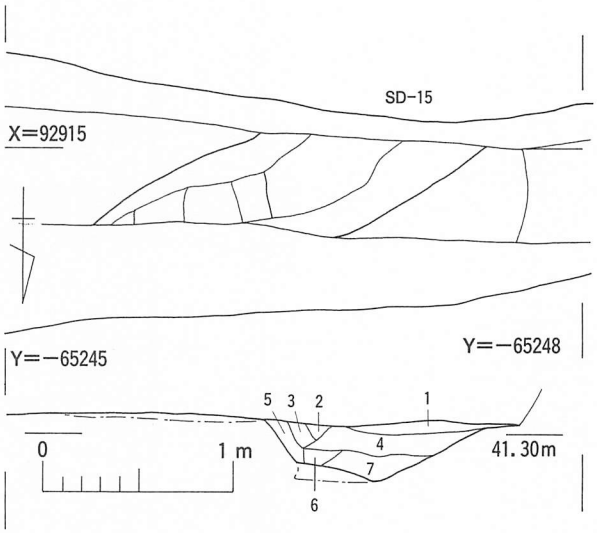
これら住居跡から出土した遺物の内、図化できたのは14点（図106、図版34-6）。１はSC-16・17出土として取り上げ、２はSC-17出土。他はSC-18出土であるが、６～11がⅤb区、３～５・12～14がⅤc区出土である。１～13は弥生土器で、時期は前期中頃。１～３・６は壺の胴部片。１は緩やかに内湾する胴部から、施文部を境に外反する頸部に転じる。施文は、２条のヘラ描き沈線の間に縦方向の浅い沈線が入り梯子状。胴部外面は横方向のミガキ仕上げである。２は胴部最大径部位の破片。表面の遺存が良くないが、数条の沈線があった可能性がある。３はヘラ描き沈線を２条施す。器壁の薄い６には羽状文を施す。４・５は壺の口縁部。７は壺の底部で、内外面ミガキ。８・９は如意形口縁の甕口頸部。８は屈曲部に浅い沈線があり、９は口縁端部全面を刻む。10は胴部片で浅めの沈線と刺突文の一端が残る。11は甕の底部片。12は甕蓋。端部内面には煤が付着する。13は甕のミニチュア。14は土師器の甕口縁部。口縁端部はわずかに肥厚し面をもつ。外面には指押さえ痕がよく残り、煤が付着する。

⑷　**Ⅴd区**（図107、図版24-1）

幅0.8m前後・長さ約10mの区間がⅤd区で、東西から東で若干南側にふる。Ⅴd区では基本的に、Ⅱ層直下で地山面であるⅣ層となり、その標高はおよそ41.4m。Ⅳ層上面で、SD-15・19を検出している。

① **SD-15**（図108、図版24-2）

Ⅴd区西端近く、Y＝－65248～－65245の間で検出した、北東－南西方向の溝である。幅は本来80cm前後で、深さ30cm前後を測る、逆台形状のしっかりした溝であったと推定される。埋土は基本的に黒～黒褐色の粘質土で、西側のSC-18他に近似する。出土遺物で図化できたのは２点（図109）。１は壺の底部。底面は小



1　黒色（10YR2/1）粘質土。粘性は弱く、サラサラした感あり。５cmの黄橙色（7.5YR7/8）粘質土ブロックを含む。
2　にぶい黄褐色（10YR4/3）粘質土。黒褐色（10YR2/2）粘質土のブロックを含む。
3　黒褐色（10YR3/1）粘質土。明褐色（7.5YR5/8）粘質土や浅黄橙色（7.5YR8/6）粘質土の小ブロックを多く含む。
4　黒色（10YR2/1）粘質土。やや粘性弱い。
5　黒色（10YR2/1）粘質土。３層を互層状に含む。
6　黒褐色（7.5YR3/1）砂質土。明褐色（7.5YR5/8）土の２mmの円形ブロックを多く含む。やや粘性あり。
7　黒色（10YR2/1）粘質土。黄褐色（10YR5/8）土の５mmの円形ブロックをわずかに含む。

図108　SD-15実測図（縮尺１/40）

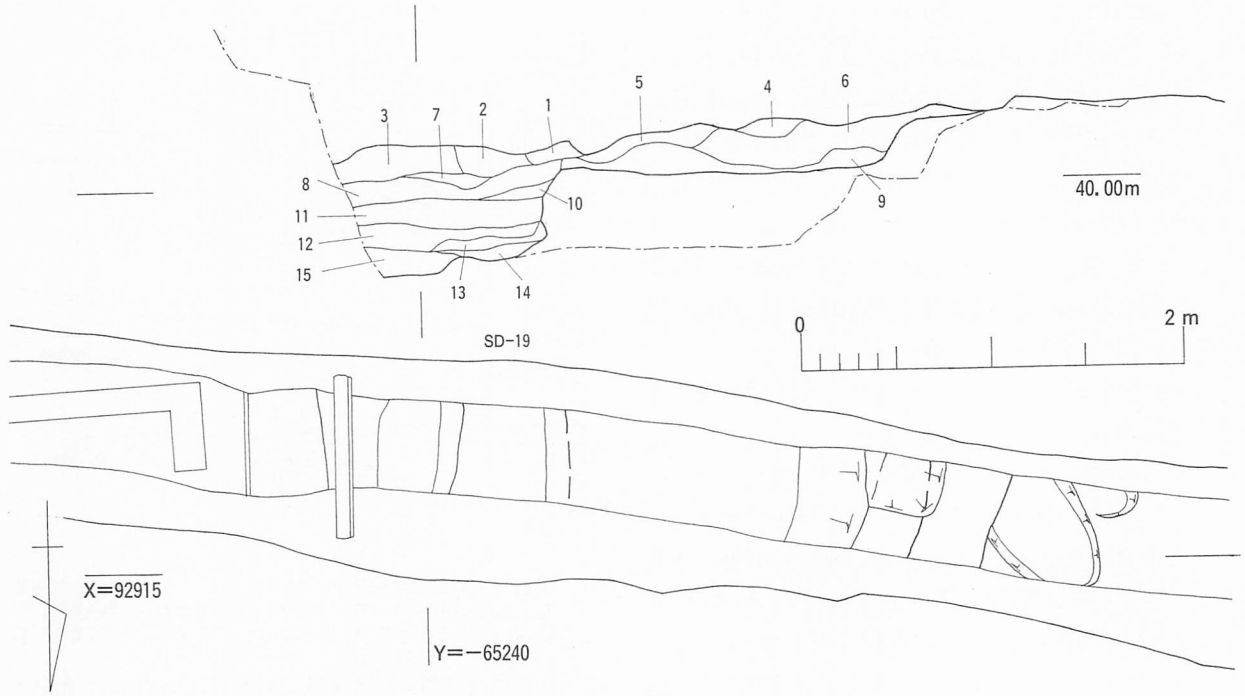
図109　SD-15出土遺物実測図（縮尺１/４）

さい。２は如意形口縁甕の口縁部。下端を刻む。いずれも弥生土器で、２は前期に遡る。

② **SD-19**（図110、図版24-3）

Ⅴd区の東端で検出された溝で、東岸は未検出である。それでも、幅約３mを検出している。検出面は、西側の地山面にほぼ等しく41.4mであるが、東側では一部Ⅲ層をはさみ、41.3m付近以下をSD-19とした。SD-19埋土は細分できるが、基本的に砂質土で流水性堆積と見られる。溝は断面逆台形状のしっかりしたもので、西側1.6m程の間は、底面41.05mと浅いが、東側の幅１m以上は、40.55mまで一気に深さを増す。

SD-19出土遺物から図化できたのは、12点（図111、図版34-7）。１は須恵器坏。７世紀初頭。２は土師器



1　褐灰色（10YR5/1）砂質土。砂粒は細かく均質。２層に比べ、やや粘性あり。
2　褐灰色（10YR5/1）砂質土。砂粒細かく、しまりあり。わずかに鉄分の沈着がラミナ状にあり。
3　褐灰色（10YR5/1）砂質土。細かく均質な砂粒をベースに、５㎜までの礫を含み、鉄分の沈着がやや多い。
4　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。シルト質土やⅣ層小ブロックをラミナ状に含み、しまりあり。
5　黄灰色（2.5Y5/1）砂質土。細かく均質。砂層中に、１～２㎜の砂礫がラミナ状に嵌入する。
6　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂粒は細かく均質。シルト質土を斑状に含み、しまりあり。
7　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。５㎜前後の礫を少量含み、やや粘性あり。
8　褐灰色（10YR5/1）砂礫。５～10㎜の礫を多く含み、シルト質土もブロック状に若干含む。ややしまり弱い。
9　褐灰色（10YR5/1）砂。10㎝の砂礫と５㎜前後の礫をやや含む。
10　褐灰色（10YR4/1）シルト。粘性強い。
11　褐灰色（10YR6/1）砂。シルト質土や、やや粗い砂粒をラミナ状に含み、ややしまりあり。
12　灰黄褐色（10YR6/2）砂。11層に比べ、１～２㎜の砂礫が主体を占め、やや砂粒が粗い。そこに、シルト質土や、やや粗い砂粒をラミナ状に含む。ややしまり弱い。
13　黒褐色（10YR3/1）シルト。粘性強い。
14　褐灰色（10YR5/1）砂礫。２㎝の礫を少し含み、下面は固い鉄分の沈着面あり。
15　褐灰色（10YR6/1）砂質土。１㎝までの粗砂をやや混じえ、３㎝のⅣ層ブロックが多く混じる。

図110　SD-19実測図（縮尺１/40）

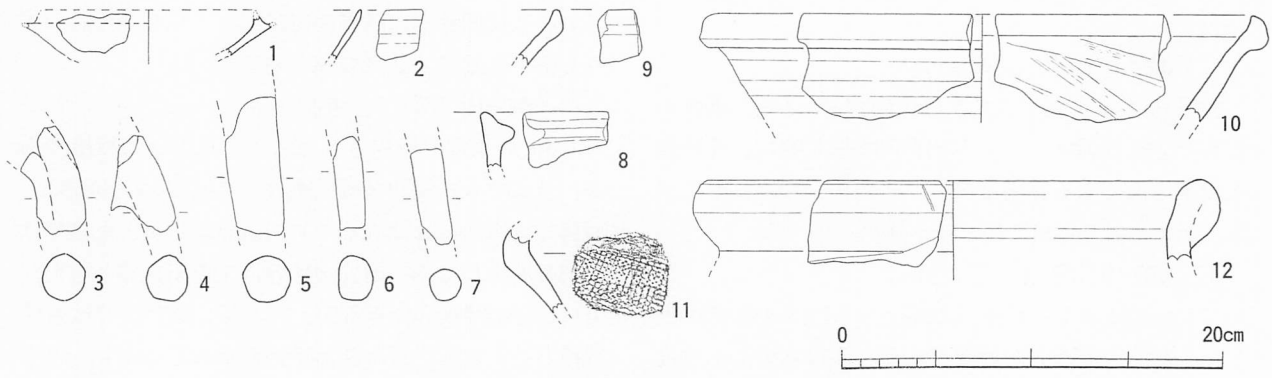


図111　SD-19出土遺物実測図（縮尺１/４）

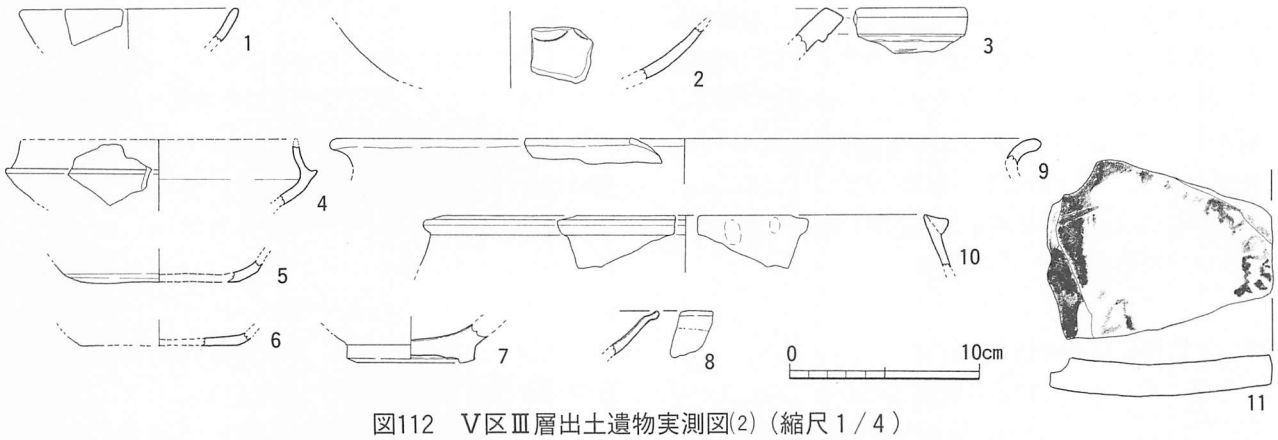


図112　Ⅴ区Ⅲ層出土遺物実測図(2)（縮尺１／４）

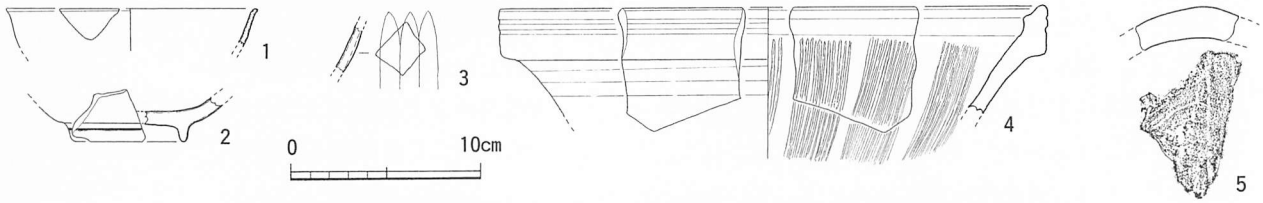


図113　Ⅴ区撹乱出土遺物実測図（縮尺１／４）

椀口縁部。器壁は薄く端部はやや先細り。３～７は羽釜脚部片。４は瓦質。８は羽釜口縁部片。断面三角形の突帯を貼り付ける。９～11は須恵質。９・10はこね鉢口縁部。ともに11世紀後半から12世紀前半。11は亀山焼大壺の肩部。外面には２㎜角の格子目タタキがやや斜めに入る。12は備前焼の壺口縁部。玉縁の折り曲げ口縁で、15世紀代。

SD-19は、検出位置と出土遺物から、南側の樽味遺跡２次調査で検出されたSD-１の北側延長にあたると推定される。ただし、その深さと、西側へのテラス状部の拡張から、あるいは水口等の部分に相当する可能性も考慮されなければならない。

③　**Ⅲ層出土遺物**（図112）

Ⅲ層出土として取り上げた遺物が若干存在する。ただしこの地点のⅢ層は、Ⅴb区を中心とした黒～黒褐色粘質土ではなく、色調の薄く砂質の強い暗褐色砂質土であり、SD-19の上層にも一部広がっていた。

図化したのは３点（１～３）。１は土師器皿の口縁部。２は青花の皿。内面に弧線を描く。３は須恵器の鉢か壺の口縁部。口縁部外面を段状に肥厚させ、そこに１条の沈線を施す。

(5)　**Ⅴe区**（図107、図版24-4）

Ⅴe区は幅0.8m前後・長さ約10.6mの区間で、Ⅴd区にも増して東方で南に傾いた調査区である。この区間では、既設管路や地下貯蔵タンクなどによる撹乱が激しく、包含層を掘削できたのは、Y＝－65235付近の１m前後の範囲と、Y＝－65230前後の３m弱ほどの範囲しかない。前者ではⅢ層が約30㎝堆積し、細分もできる。その下Ⅳ層上面のレベルは41.2mである。対して後者では、Ⅲ層の堆積は10㎝強で、Ⅳ層上面のレベルも41.4mまで上がる。図化できるⅤe区Ⅲ層出土遺物はない。

(6)　**Ⅴf区**（図107、写真100）

Ⅴ区の東端、Ⅴe区とは既設管路による未掘部分を介在させ、幅0.8m前後・長さ約10mに及ぶ区間である。この区間では、若干の撹乱も挟むが、包含層は比較的広い範囲に残存する。西半ではⅢ層が約15㎝の厚さで堆積し、その下のⅣ層上面のレベルは42.35m付近。中間の撹乱付近でⅢ層の厚さを若干増し、Ⅳ層上面レベルも少し下がるが、東端の撹乱以東はⅢ層の厚さを減じ、Ⅳ層上面レベルも41.5mまで上がっていく。この部分のⅣ層上面で、小穴２基を検出している。

①　**Ⅲ層出土遺物**（図112）

Ⅲ層出土として取り上げた遺物が存在する。この地点でもⅢ層は、色調の薄く砂質の強い暗褐色砂質土である。図化できたのは、８点（４～11）。４は須恵器

坏。6世紀中葉。5は瓦質の皿底部。6は土師器皿底部。底部外面には回転糸切り痕を残す。7は白磁碗底部。高台は削り出しで、外面露胎。8は青磁皿口縁部。端部が「て」の字状を呈し、内外面の端部に黄灰色の釉がかかる。9は土師器甕口縁部。復元口径は36.8cm。10は羽釜口縁部。11は平瓦らしいが、両面と破面にタール状の付着物があり、転用品。

(7) **Ⅴ区攪乱出土遺物**（図113）

Ⅴ区の攪乱出土遺物から図化したのは5点。3がⅤa区、5がⅤc区、1・2・4がⅤd区出土である。1は青磁碗の口縁部片。端部は短く外反し、内外面施釉。12世紀代。2は青花碗底部で、内外面に薄い釉が施され、畳付のみ露胎。高台に1条、体部にも文様が見られる。3は龍泉窯系の青磁碗。内外面に厚めの釉が塗られ、外面には蓮弁文が浅い凹みとなって見られる。13世紀代。4は、備前焼擂鉢。16世紀代。5は丸瓦。

(8) **小　結**

Ⅴ区の調査では、細い調査区でその一端を明らかにしたに過ぎないが、弥生時代前期の遺構の存在と、南側の2次調査で確認された中世方形区画溝の広がりを見いだすことができた。

前者は、Ⅴb区を中心にした住居跡群（SC-16・17・18・20）であり、少なくとも3段階の遺構の重複が確認できる。また、この東側で見つかったSD-15も同時期の遺構の可能性が高い。なお同様の遺構は、ⅡEg区や樽味遺跡1次調査区でも発見されており、これらを含めた弥生集落の様相については、後論する。

中世方形区画の延長と推定されるのがSD-19である。2次調査SD-1のほぼ真北延長に位置し、14～15世紀代の方形区画の一端を構成する南北方向の溝である。樽味遺跡2次調査区周辺の中世集落の展開状況についても、周辺Ⅱ区の成果を加味して後論したい。

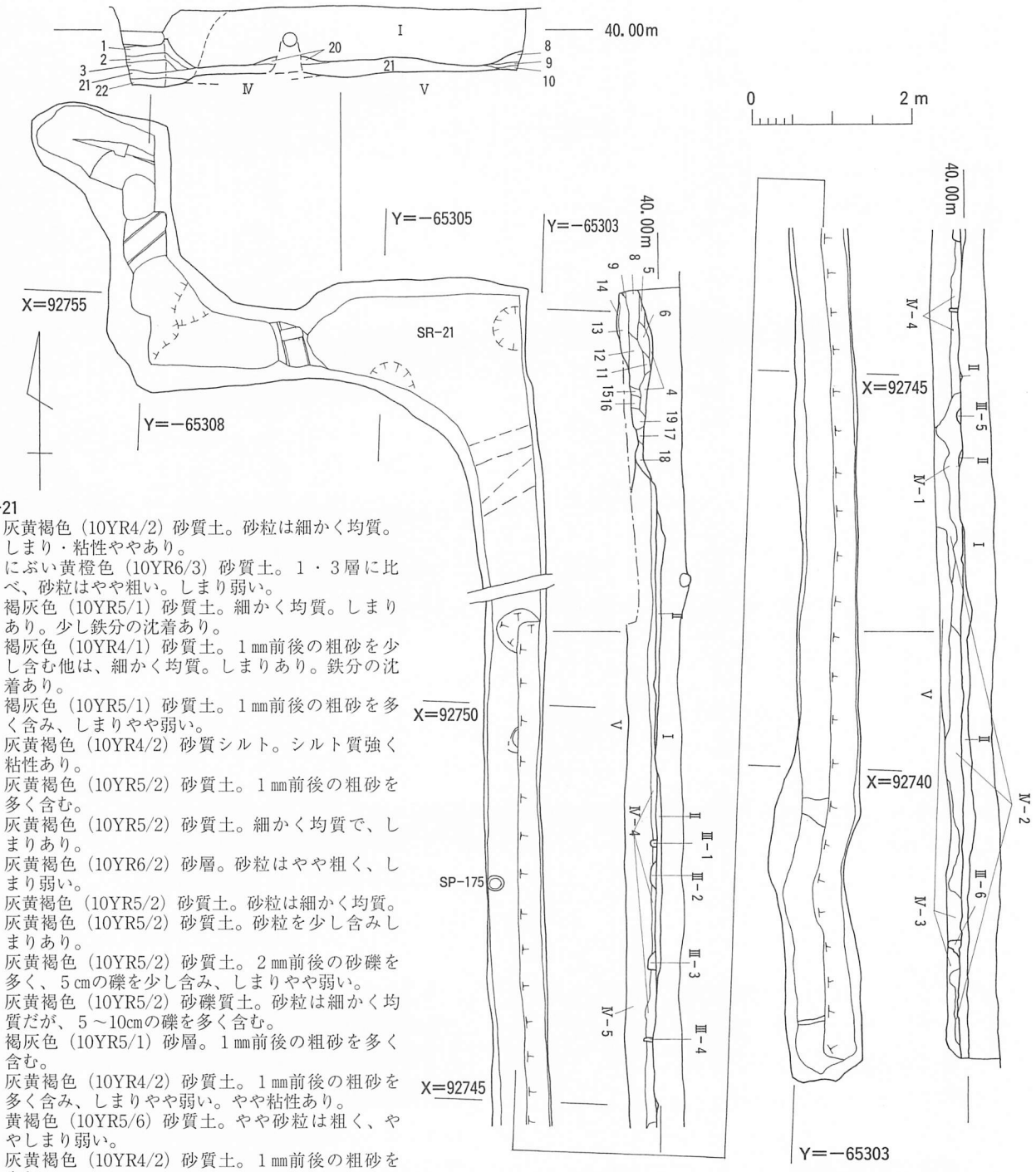
vi　Ⅵ区の調査

Ⅰ区同様、拓翠寮に関しても公共下水道への下水道切り替えが必要となり、拓翠寮の北側から東側にかけて、南端は99708調査地点に達する、幅0.7m・総長約28mの発掘区がⅥ区である（図114）。Ⅵ区のみ、他の調査区と連続せず、しかもその間に距離が比較的あったため、基準点の移動に際して、まずⅥ区内だけの基準点を設置し、しかる後に本来の座標へ調査区を落とし込んだ。最初基準にしたのは、拓翠寮敷地南東隅部の点（X＝92736.752，Y＝－65302.049）で、これから調査区東側に並行する線を南北の基準とし、そのライン上の（X＝92755.737，Y＝－65302.750）をⅥ区の仮原点とし、図化を行った。

現地表下40～50cmでⅡ層直下のⅣ層に達し、遺物包含層は認められない。Ⅳ層上面検出のレベルは、Ⅵ区南端で、地表下約50cm・標高39.9m。現地表から浅い深度でⅣ層が検出されたため、調査区南では東側を断ち割り、下層の状況の確認も行った。その結果、Ⅳ層は約20cmほどの厚さで、以下はⅤ層となる。なお、断割土層の所見で、Ⅳ層上面を切り込む、Ⅲ層に類する埋土をもつ掘り込みがいくらか認められ、柱穴などの存在が、辛うじて窺える（図版25-1·2）。一方、調査区北半は、表土下で流路内堆積層を広い範囲で確認し、これをSR-21とした。

(1) **SR-21**（図114、図版25-3·4）

調査区北半、X＝92753以北で、Ⅳ・Ⅴ層が落ち込み、そこに流路内堆積が認められた。調査区西端の最深部で、堆積層厚50cm・底面標高39.5mに達する。Ⅰ区西半広くに展開したSR-1とともに、一帯を東から西へ流れる流路帯の一部を構成するものと推測される。なお、出土遺物は認められなかった。



SR-21

1　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。砂粒は細かく均質。しまり・粘性ややあり。
2　にぶい黄橙色（10YR6/3）砂質土。１・３層に比べ、砂粒はやや粗い。しまり弱い。
3　褐灰色（10YR5/1）砂質土。細かく均質。しまりあり。少し鉄分の沈着あり。
4　褐灰色（10YR4/1）砂質土。１㎜前後の粗砂を少し含む他は、細かく均質。しまりあり。鉄分の沈着あり。
5　褐灰色（10YR5/1）砂質土。１㎜前後の粗砂を多く含み、しまりやや弱い。
6　灰黄褐色（10YR4/2）砂質シルト。シルト質強く粘性あり。
7　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。１㎜前後の粗砂を多く含む。
8　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。細かく均質で、しまりあり。
9　灰黄褐色（10YR6/2）砂層。砂粒はやや粗く、しまり弱い。
10　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂粒は細かく均質。
11　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂粒を少し含みしまりあり。
12　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。２㎜前後の砂礫を多く、５㎝の礫を少し含み、しまりやや弱い。
13　灰黄褐色（10YR5/2）砂礫質土。砂粒は細かく均質だが、５～10㎝の礫を多く含む。
14　褐灰色（10YR5/1）砂層。１㎜前後の粗砂を多く含む。
15　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。１㎜前後の粗砂を多く含み、しまりやや弱い。やや粘性あり。
16　黄褐色（10YR5/6）砂質土。やや砂粒は粗く、ややしまり弱い。
17　灰黄褐色（10YR4/2）砂質土。１㎜前後の粗砂を含む。
18　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。砂粒は0.1㎜以下と細かく、しまりあり。
19　灰黄褐色（10YR5/2）砂質土。ラミナ状に鉄分が沈着。
20　褐灰色（10YR5/1）砂質土。
21　黄灰色（2.5Y6/1）砂礫。0.5～１㎜の粗砂をベースに、拳大までの礫を混在。しまり弱い。
22　黒色（10YR2/1）粘質土。わずかにⅣ層小ブロックを含む。

Ⅲ層

1　黒褐色（10YR2/2）シルト質土。
2　黒褐色（10YR3/1）砂質土。斑状にシルト質土を混在。しまり弱い。
3　にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土。
4　暗褐色（10YR3/3）シルト質土。
5　暗褐色（10YR3/3）シルト質土。
6　黒褐色（10YR3/2）シルト質土。１㎜の粗砂を少し含み、しまりあり。

Ⅳ層

1　にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト質土。砂粒少なく、非常にしまり強い。
2　暗褐色（10YR3/4）シルト質土。２㎜前後の砂礫をやや多く混じえ、ややしまりあり。
3　黄褐色（10YR5/6）シルト質土。２㎜前後の砂礫を少し混じえ、堅緻。
4　灰黄褐色（10YR4/2）シルト質土。砂粒少なく、粘性あり。
5　褐色（10YR4/4）シルト質土。暗褐色の斑状部多く、しまりやや弱い。

図114　Ⅵ区実測図（縮尺１/80）

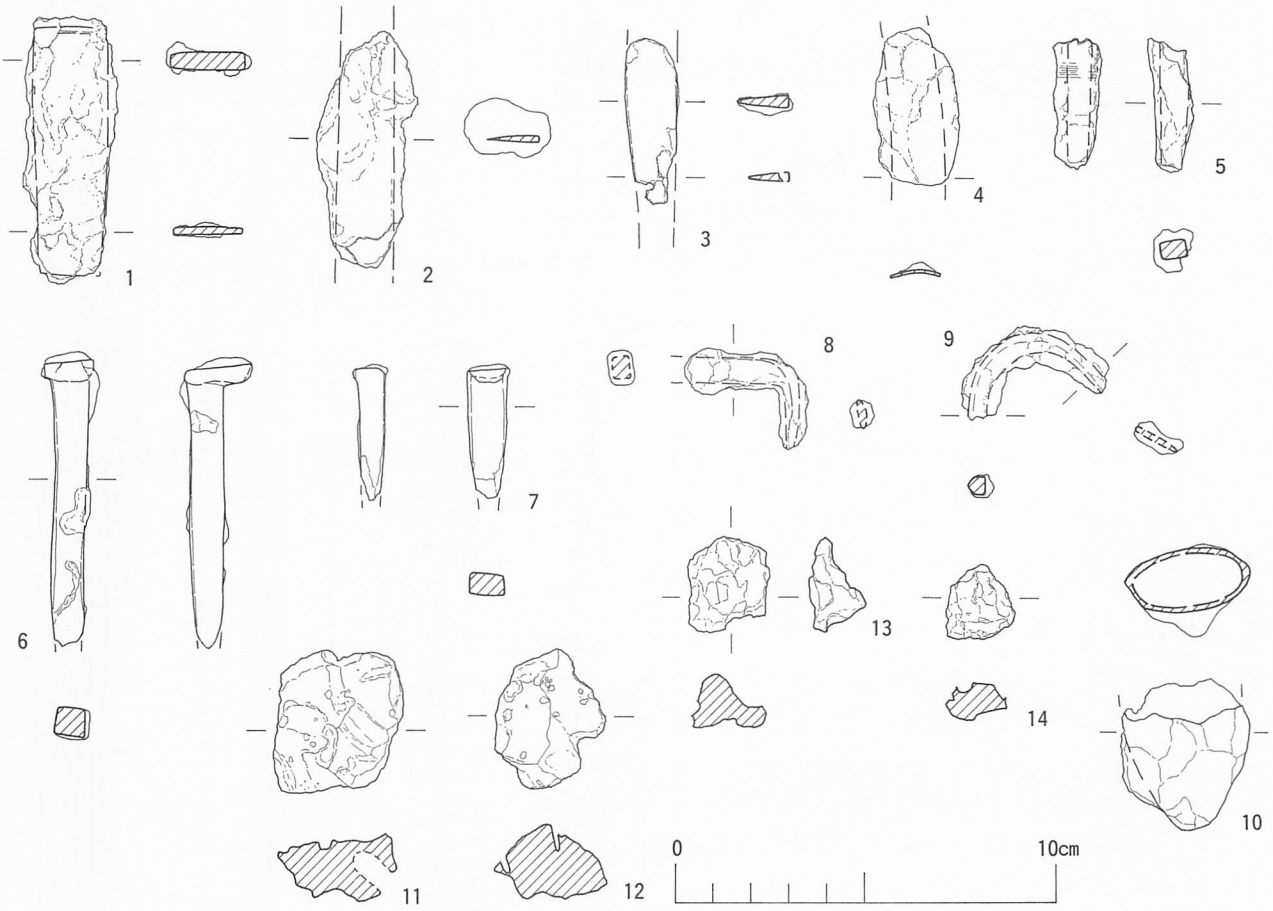


図115　出土鉄器・鉄滓実測図（縮尺１/２）

4　ま　と　め

樽味遺跡５次調査は、樽味団地西半一帯に長いトレンチを入れる格好となり、旧地形や遺跡の広がりについて多くの知見を得ることができた。以下、その成果について、若干のまとめを行っておく。

(1)　樽味団地の旧地形

今回の調査の所見に基づき、樽味団地の東西方向と南北方向の土層断面図を作成した（図116）。

東西方向には、Y＝－65230辺りでSR－１が調査区から外れ、以東はⅣ層上面が標高40.50m前後で安定して広がる。ただし、SX－２を挟んで、東西でⅣ層検出高に約50㎝の差があり、段丘状の裾部にSX－２が堆積していたことになる。一方、SR－１は底のレベルにかなりの起伏があり、流路の蛇行が予想されるとともに、西方あるいは南方への流路の広がりが予想される。

南北方向では、SR－１を除くと、Ⅳ層上面の比高差は約90㎝と比較的小さい。その中で、２次調査地点付近の標高41.5～41.8m付近が、最も遺構の集中し、包含層も厚く堆積する地点である。SR－１の岸辺から70m近く離れ、比高差も50～80㎝ある。堆積土にも水性堆積は見られないように、地形的にも安定した位置である。以上から、樽味団地西北部は、SR－１等の樽味団地南部を西流する流路の北側微高地上にあたることになる。

SR－１は、Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ区で確認しているが、面的な調査ができたのはⅢ・Ⅳ区である（図117）。とは言え、いずれも狭い範囲でしかなく、南岸は調査区内には求められなかった。ただ、99804調査の５トレンチで南岸を検出しており、Ⅳ区付近では流路幅10m前後と復元できる。ところが、Ⅲ区では15m近くまで幅を増し、

南岸の現れるⅠe区では、逆に幅を減じると予測できる。また、Ⅵ区ではSR-21とした流路の南岸が見つかり、団地外西方の樽味四反地遺跡１次調査でも東西方向の流路が見つかっている[注1]。したがって、SR-１からSR-21にいたる南北約50m幅が、中洲状の高まりを残しながらも、幅広の流路帯のような景観を呈した可能性が高い。東西に蛇行しながら、幅にもかなり変化のある様子が復元されよう（図118）。なお、４次調査では８世紀段階にほぼ埋没してしまう南流するSR-１が存在したが、５次調査SR-１との直接的関係は、現時点ではわからない。

(2)　弥生前期集落の広がり（図119）

５次調査では、確実な弥生前期の遺構として、Ⅴb区を中心とした竪穴式住居群（SC-16・17・18・20）を検出した。時期は前期中頃。Ⅴd区の溝（SD-15）も前期に遡る可能性が高く、ⅡEg区の貯蔵穴（SK-38）も、前期末以降ながら、時間的接点を持つ可能性が残る。１次調査においても、前期中頃に遡る溝（SD-４）と土壙（SK-５）を検出しており、これらはいずれも、樽味団地北西部に位置する。すべての遺構が同時併存とはできないが、弥生前期土器の中世遺構への混入や包含層出土が見られるのも、ほぼこの範囲であり、一帯が弥生前期の生活領域であったことは間違いない。現時点で、およそ東西100m・南北60m程の広がりが想定される。石手川を挟んだ文京遺跡21次調査・24次調査地点とともに、松山平野における弥生集落の成立を語り得る遺跡と評価できよう。

(3)　中世集落の広がり（図120）

１次調査や２次調査によって、14世紀から16世紀の集落の様子が知られてきた。とりわけ２次調査地点においては、小規模で簡単な構造の掘立柱建物や柵列を内部にもつ方形区画の一端が明らかになり、そのような区画の広がりが予想されていた。

今回の調査では、ⅡEe・ⅡEf区、ⅡWe・ⅡWf区、そしてⅤ区が２次調査地点に最も近接するとともに、５次調査中、最も包含層・遺構の残存が良好な地区であった。しかし、２次調査地点から連続する区画の延長が想定できるのは、２次調査SD-１の北側延長にあたる、Ⅴ区のSD-19のみである。ともに深さ60cmを越える逆台形状の断面で、埋土の様子も近似する。２次調査地点内では水口が伴ったが、SD-19でも西側に浅い落ち込みが広がり、同様の水口が想定できる可能性がある。出土遺物にも大きな差はなく、２次調査SD-１と５次調査SD-19は一連の溝と判断できる。

この南北溝の東、２次調査SD-７以北は、SD-７以南と同様の遺構の広がりが確認されている。その北を画す遺構として、５次調査ⅡEf区・ⅡWf区にまたがるSD-28あるいはSD-32が指摘できよう。ただし、南北幅12～15mとやや狭い区画になってしまい、断定はできない。

一方、２次調査地点東側のⅡEe区・ⅡWe区においては、２次調査SD-７の延長は見出せない。また、ほぼ同時期の遺構が広がりながらも、他に有意な区画遺構も見いだせない。狭い未調査区域に南北方向の区画が存在するのか、それとも狭い調査区で抽出し得ないのか、現時点では保留せざるを得ない。したがって、今回の調査成果としては、14世紀前後の生活遺構が東へも広がっていることを提示できるに留まる。

なお、SR-１出土遺物や４次調査暗褐色シルト質土出土遺物には、10～12世紀の遺物を多く含み、それら遺物を供給した当時の生活領域は、上記してきた14世紀前後の集落とは地点を違えて、SR-１上流にあたり、樽味遺跡４次調査地点を含む、樽味団地の北東部に求められることが現時点では適当であろう。

[注]

1　梅木謙一 1992：桑原地区の遺跡．松山市文化財調査報告書 26

図116　樽味団地土層断面図（縮尺1/1,000・1/40）

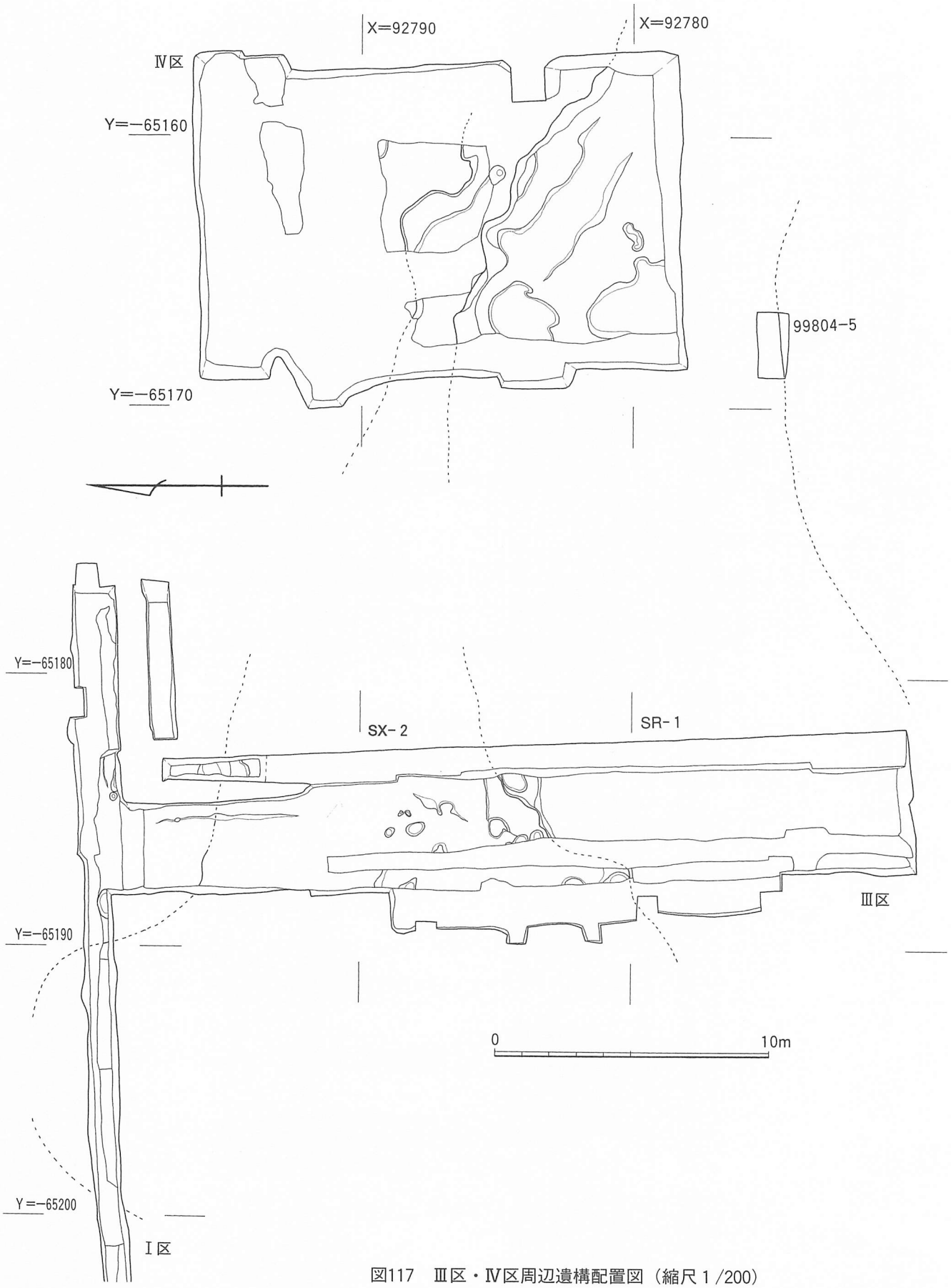


図117　Ⅲ区・Ⅳ区周辺遺構配置図（縮尺１/200）

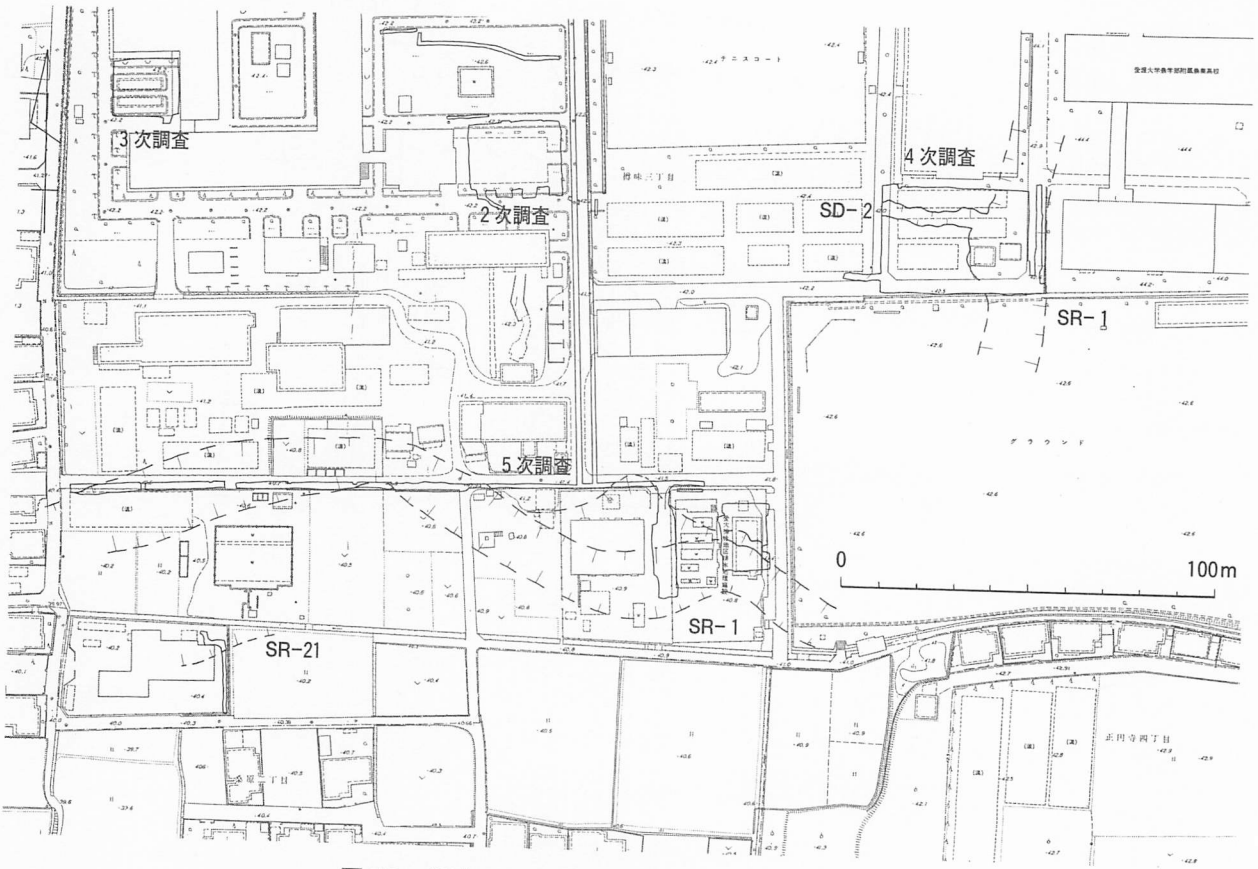


図118　樽味団地自然流路復元図（縮尺１/2,000）

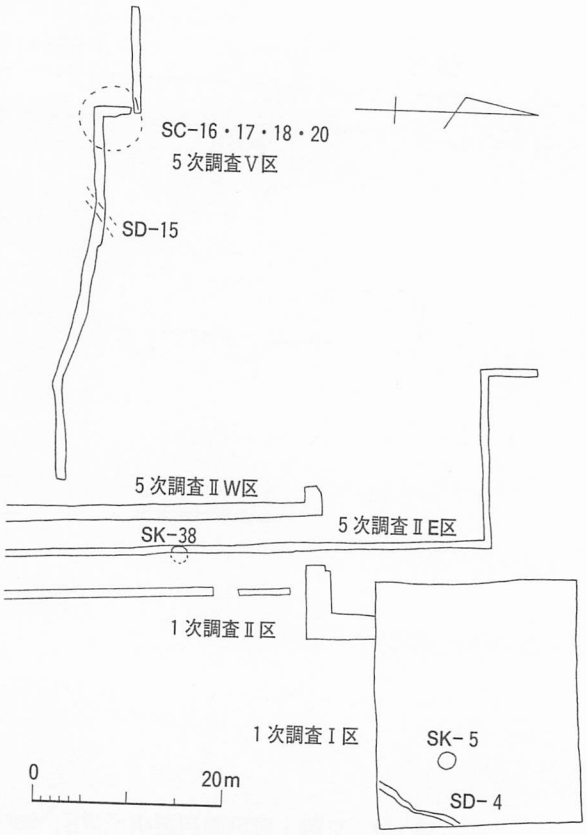


図119　弥生前期遺構配置図（縮尺１/800）

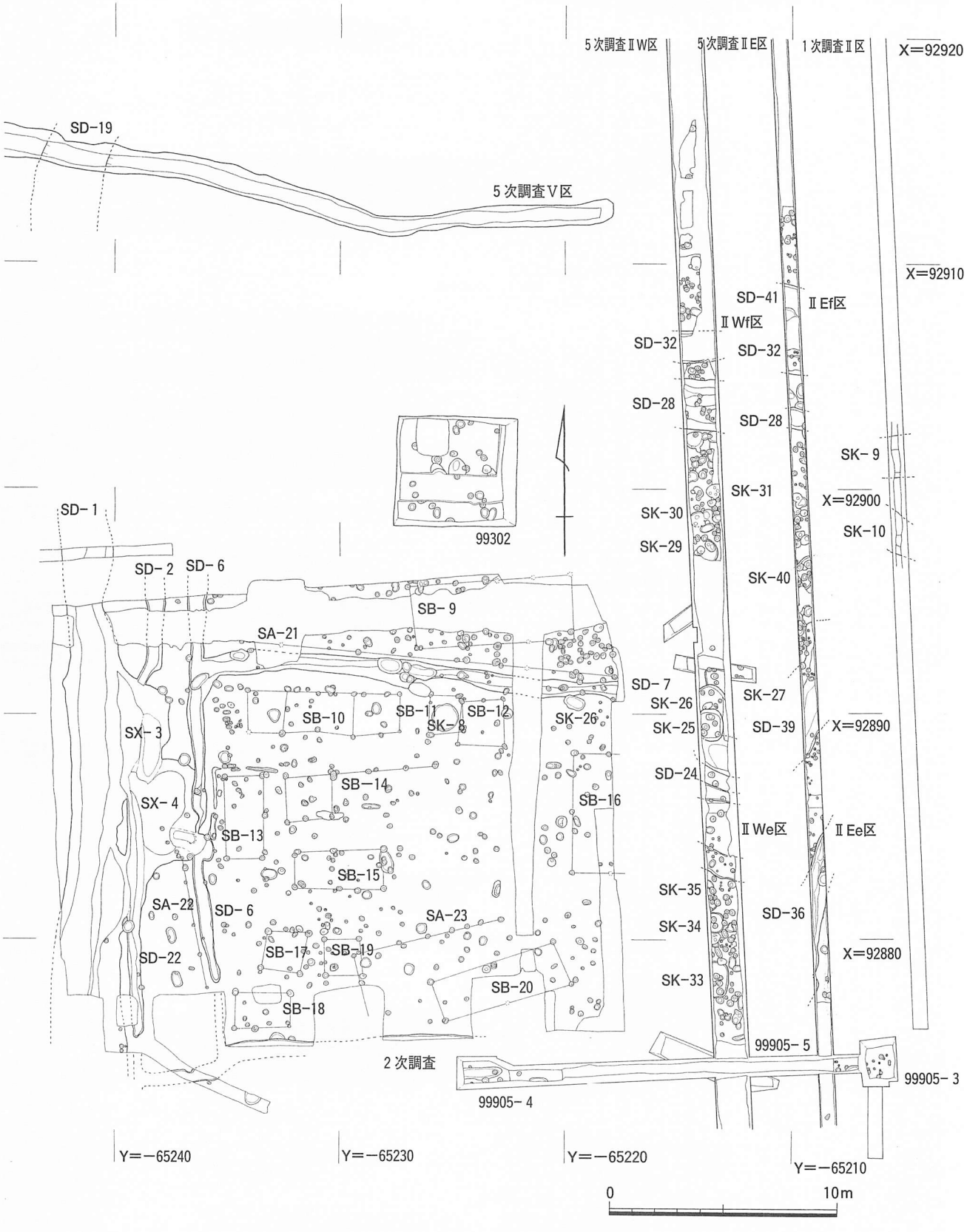


図120　樽味遺跡２次調査周辺遺構配置図（縮尺１/250）

表4　樽味遺跡5次調査出土遺物観察表

図33　Ⅰa区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SD6		Ⅰa	須恵器	高坏	脚裾部	内外面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。	1150
2	SR1	a·b層	Ⅰa	白磁	碗	口縁	内外面灰白色、全体に薄い釉。破面に磁胎の切込みが見られる。	1011
3	SR1	a·b層	Ⅰa	土師器	椀	底部	外面磨滅、内面ナデ。外面灰白色、内面にぶい黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	1012
4	SR1	a·b層	Ⅰa	土師器	坏	底部	内外面ナデ。外面橙色、内面灰白色。0.5㎜以下の長石・石英少量含む。	1009
5	SR1	a·b層	Ⅰa	土製品	被熱粘土塊		芯の部分に粘土が残るが、大部分が海綿状。軽量。	1010
6	－	Ⅲ層	Ⅰa	土師器	坏	口縁	内外面ナデ。外面淡黄色、内面にぶい黄橙色。0.5㎜以下の長石・石英少量含む。	1148
7	－	Ⅲ層	Ⅰa	須恵器	坏身	底部	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。内外面灰白色。1～4㎜の長石・石英多く含む。	1147
8	－	Ⅲ層	Ⅰa	須恵器	壺	胴部	内外面ナデ。外面灰白色、内面灰オリーブ色。1㎜以下の長石少量含む。	1146
9	SR1	a·b層	Ⅰa	石器	打製石器		上部に細かい剥離。やや青味がかった灰色。堆積岩（泥岩？）で軟質。	1013
10	－	Ⅲ層	Ⅰa	石器	打製石器		側辺に大きめの剥離。灰白色。堆積岩（砂岩質）で軟質。	1149
11	SR1	a·b層	Ⅰa	石器	石鏃未製品		平基無茎式。サヌカイト。	1008

図35　Ⅰb区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	a·b層	Ⅰb	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	1014
2	SR1	c層	Ⅰb	須恵器	壺	口縁	内外面回転ナデ、内面青海波文。内外面灰色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	1022
3	SR1	c層	Ⅰb	須恵器	壺か瑞	胴部	内面ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。やや軟質。	1025
4	SR1	c層	Ⅰb	須恵器	壺か甕	胴部	外面平行タタキ後ナデ、内面青海波文。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1023
5	SR1	c層	Ⅰb	須恵器	甕	胴部	内面板状工具のナデ。内外面灰白色。1～3㎜の長石・石英少量含む。生焼け。	1026
6	SR1	c層	Ⅰb	須恵器	坏か椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	1024
7	SR1	c層	Ⅰb	平瓦			外面タタキ、内面布目。外面灰白色、内面灰色で炭素吸着。1㎜程の長石少量含む。	1018
8	SR1	c層	Ⅰb	平瓦			凹面布目。両面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1020
9	SR1	c層	Ⅰb	土師器	椀	底部	器壁磨滅。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	1017
10	SR1	c層	Ⅰb	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面灰黄色、内面にぶい黄橙色。1㎜以下の長石・雲母少量含む粗い胎土。	1027
11	SR1	c層	Ⅰb	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面淡黄色、内面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	1021
12	SR1	c層	Ⅰb	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1016
13	SR1	e層	Ⅰb	土師器	皿	底部	外面底部粗いヘラケズリ、内面ナデの凹凸顕著。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1019
14	SR1	e層	Ⅰb	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の砂粒少量含む。	1031
15	SR1	e層	Ⅰb	須恵器	坏蓋	体部	外面回転ヘラケズリ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1029
16	SR1	e層	Ⅰb	須恵器	坏蓋	体部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1030
17	SR1	e層	Ⅰb	須恵器	坏蓋	天井部	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ、内底面不定方向ナデ。内外面灰白色。長石少量含む。	1028

図36　Ⅰc区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	a·b層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	つまみ	内外面ナデ。外面灰白色、内面青灰色。0.5㎜以下の長石少量含む。	1036
2	SR1	a·b層	Ⅰc	土師器	皿	口縁	内外面ナデ、口縁わずかに内湾。内外面浅黄橙色。精製土に長石・石英少量含む。	1033
3	SR1	a·b層	Ⅰc	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面にぶい黄橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む	1034
4	SR1	a·b層	Ⅰc	土師器	坏	口縁	口縁端部わずかに内湾。内外面淡黄色。0.5㎜以下の長石少量含む。	1032
5	SR1	a·b層	Ⅰc	土師器	椀	口縁	内外面ナデ。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	1035
6	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	全形	外面回転ヘラケズリ・ナデ、内面回転ナデ。外面灰白色、内面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	1065
7	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	口縁	外面回転ヘラケズリ、内面ナデ。外面灰白色、内面灰色。1～3㎜の長石少量含む。	1043
8	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	口縁	外面回転ヘラケズリ・ナデ。内外面青灰色。1㎜以下の長石少量含む。	1061
9	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	口縁	内外面ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。生焼け。	1040
10	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	天井部	外面回転ヘラケズリ、内面ナデ。内外面灰白色。1～3㎜の長石少量含む。	1042
11	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	天井部	外面回転ヘラケズリ。内外面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。	1048
12	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	蓋	口縁	ほとんど砂粒を含まない、白色に近い灰白色の精製土。火襷あり。	1062
13	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏身	口縁	外面回転ヘラケズリ・ナデ。外面灰色、内面灰白色。精製土に1～2㎜の長石少量含む。	1045
14	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏身	全形	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ後底面定方向ナデ。外面青灰色、内面灰色。長石少量含む。	1066
15	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏身	口縁	外面回転ヘラケズリ・ナデ。内外面青灰色。1㎜以下の長石少量含む。	1049
16	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏身	体部	外面回転ヘラケズリ・ナデ。外面灰白色、内面灰色。精製土。	1064
17	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏身	体部	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色、破面暗赤灰色。長石少量含む。	1060
18	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	坏身	体部	内外面回転ナデ。内外面灰色。1～3㎜の長石少量含む。	1063
19	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	高坏	脚部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1058
20	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	1044
21	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。内外面青灰色。1㎜以下の長石少量含む。	1059
22	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。やや軟質。	1047
23	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	壺	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。長石少量含む粗い胎土。生焼け。	1050
24	SR1	c層	Ⅰc	陶器	壺	肩部	13条単位の山形文。内外面ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。須恵質。	1041

25	SR1	c層	Ⅰc	須恵器	壺	胴部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、外面自然釉。長石少量含む。	1046
26	SR1	c層	Ⅰc	土師器	甕	口縁	内外面磨滅。外面にぶい橙色、内面橙色。長石多く含む。	1055
27	SR1	c層	Ⅰc	土師器	甕	頸部	内外面磨滅。外面浅黄色、内面灰黄色、破面黒化層。長石・石英多く含む。	1052
28	SR1	c層	Ⅰc	土師器	坏か椀	口縁	内外面回転ナデ。外面にぶい赤褐色、内面浅黄橙色。0.5㎜以下の長石・雲母少量含む。	1054
29	SR1	c層	Ⅰc	土師器	坏	底部	高めの円盤状高台。内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。砂粒少量含む。	1056
30	SR1	c層	Ⅰc	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面にぶい黄橙色、内面灰白色。精製土。	1051
31	SR1	c層	Ⅰc	土師器	坏	底部	内外面磨滅激しい。内外面灰白色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	1039
32	SR1	c層	Ⅰc	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。１～２㎜の長石・雲母少量含む。	1053
33	SR1	c層	Ⅰc	土師器	椀	底部	内外面ナデ。外面褐灰色、内面灰白色。0.5～１㎜以下の長石少量含む。	1038
34	SR1	c層	Ⅰc	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面黒色。0.5㎜以下の長石・雲母少量含む。	1037
35	SR1	c層	Ⅰc	黒色土器(内黒)椀		底部	外面磨滅、内面ナデ。外面灰白色、内面褐灰色。１㎜以下の長石少量含む。	1057
36	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。１～３㎜の長石少量含む。	1069
37	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	天井部	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。内外面灰白色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	1074
38	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	口縁	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。内外面灰色。１～３㎜の長石少量含む。	1068
39	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	口縁	外面回転ヘラケズリ・ナデ。外面青灰色、内面灰色。１～２㎜の長石少量含む。	1080
40	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	つまみ	外面回転ヘラケズリ・ナデ。内外面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	1071
41	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１～２㎜の長石少量含む。	1075
42	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。	1073
43	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏身	口縁	外面回転ヘラケズリ・ナデ。内外面青灰色、破面灰褐色。１～２㎜の長石少量含む。	1070
44	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏身	口縁	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。１～２㎜の長石多く含む。	1072
45	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏身	口縁	外面ヘラ切り未調整。内外面灰白色。１～２㎜の長石少量含む。	1067
46	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	坏身	底部	外面回転ヘラケズリ、内面青海波文、回転ナデ後中心部定方向ナデ。外面青灰色、内面灰色。重ね焼きのためか、天井部に色調の違いあり。長石少量含む。	1079
47	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。外面灰黄色、内面青灰色。１㎜以下の長石少量含む。	1081
48	SR1	e層	Ⅰc	須恵器	横瓶	肩部	外面平行タタキ後カキメ、内面回転ナデ。外面青灰色、内面灰色。長石・石英少量含む。	1078
49	SR1	e層	Ⅰc	土師器	高坏	坏底部	脚が接合部で外れた状態。外面橙色、内面にぶい黄橙色。精製土に１㎜程の長石少量含む。	1077
50	SR1	e層	Ⅰc	土師器	甕	口縁	口縁端部面あり。内外面ナデ。内外面橙色、破面黒化層。長石・石英多く含む。	1082
51	SR1	e層	Ⅰc	土師器	甕	肩部	内面横ハケメ後ナデ消し。外面黄灰色、内面にぶい橙色。長石・石英・雲母多く含む。	1076

図38　Ⅰd区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	c層	Ⅰd	土師器	羽釜	脚部	にぶい橙色。１～２㎜の長石・石英多く含む。	1083
2	SR1	c層	Ⅰd	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面黄味の強い灰白色、内面灰白色で一部黒変。	1086
3	SR1	c層	Ⅰd	土師器	椀	底部	内外面ナデ。外面灰白色、内面褐灰色。0.5㎜以下の長石少量含む。	1085
4	SR1	c層	Ⅰd	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	1084
5	SR1	e層	Ⅰd	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。１～２㎜の長石・赤色粒少量含む。	1087
6	SR1	e層	Ⅰd	須恵器	坏	底部	外面回転ヘラケズリ。内外面灰色。２～５㎜の長石少量含む。	1090
7	SR1	e層	Ⅰd	須恵器	坏	全形	内外面ナデ。内外面灰白色。１～２㎜の長石・砂粒少量含む。	1088
8	SR1	e層	Ⅰd	弥生土器	壺	口縁	内外面ナデか。内外面にぶい橙色、破面褐灰色。長石・石英多く含む。	1089

図39　Ⅰe区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	c層	Ⅰe	須恵器	壺	脚部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、一部破面橙色。１～２㎜の長石・石英少量含む。軟質。	1091
2	SR1	d層	Ⅰe	土師器	甕	肩部	外面磨滅、内面ナデ。外面橙色、内面浅黄橙色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	1095
3	SR1	d層	Ⅰe	土師器	甕	口縁	外面粗いハケメ、内面ナデ、部分的に指頭圧痕。外面にぶい橙色、内面赤褐色。１～６㎜の長石・石英多く含むきわめて粗い胎土。	1094
4	SR1	d層	Ⅰe	須恵器	壺	胴部	内面回転ナデ。内外面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。軟質。	1093
5	SR1	e層	Ⅰe	磁器	碗	体部	外面オリーブ黄色、内面灰オリーブ色の釉。	1096
6	SR1	c層上	Ⅰe	石器	剥片		先端に細かい剥離。破面鋭い。チャート質の非常に硬い石材。	1092

図41　Ⅰf区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	c層	Ⅰf	丸瓦			凹面布目。灰白色、炭素吸着あり。精製土にスサのようなもの含む。	1097
2	SR1	e層	Ⅰf	弥生土器	壺	頸部	内外面ナデ。内外面灰白色、破面黒化層。１～３㎜の長石・石英・雲母少量含む。	1136
3	SR1	e層	Ⅰf	弥生土器	壺	口縁	口縁部凹線文。内外面ナデ。内外面にぶい黄橙色。１～３㎜の長石・石英少量含む。	1137
4	SR1	e層	Ⅰf	弥生土器	甕	口縁	口縁下端に粘土帯貼付、ヘラ状工具で押圧。内外面ナデ。長石・石英多く含む。	1113
5	SR1	e層	Ⅰf	弥生土器	甕	底部	内外面ナデ。外面橙色、内面明赤褐色。精製土に１～３㎜の長石・石英少量含む。	1116
6	SR1	e層	Ⅰf	弥生土器	壺	胴部	外面タタキ後ハケメ、内面縦ハケメ後ナデ。外面浅黄橙色で有黒斑、内面橙色。長石・石英少量含む。	1106
7	SR1	e層	Ⅰf	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面にぶい黄橙色。１～５㎜の長石・石英多く含む。	1123
8	SR1	e層	Ⅰf	弥生土器	甕	底部	狭い平底。内外面磨滅。内外面浅黄色、黒変部あり。大きめの長石多く含む。	1138
9	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏蓋	体部	外面回転ヘラケズリ・ナデ。内外面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。	1132
10	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏蓋	天井部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。長石少量含む。	1118

11	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏蓋	口縁	外面回転ヘラケズリ、内面青海波文。内外面青灰色。1～3㎜の長石少量含む。	1131
12	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏蓋	口縁	外面回転ヘラケズリ・ナデ、内面回転ナデ。内外面灰色。精製土に1～2㎜の長石少量含む。	1127
13	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏蓋	口縁	外面浅い回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。外面灰白色、内面青灰色。1～3㎜の長石少量含む。	1125
14	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1100
15	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	蓋	つまみ	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1126
16	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	蓋	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。大きめの石英少量含む。	1120
17	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏身	口縁	外面回転ヘラケズリ。内外面灰白色、外面に自然釉、破面赤灰色。長石少量含む。	1111
18	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏身	体部	外面回転ヘラケズリ。内外面灰色。大きめの長石少量含む。	1119
19	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏身	体部	外面回転ヘラケズリ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。やや軟質。	1134
20	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏身	全形	底面ヘラ切り未調整。内外面灰白色、破面黄橙色。0.5～1㎜の長石少量含む。	1110
21	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	坏身	受部	内外面回転ナデ。内外面灰色。精製土。	1121
22	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	高坏	坏部	透かし3方向。外面カキメ。外面暗灰色、内面灰色、破面赤灰色。1～2㎜の長石少量含む。	1135
23	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	高坏	坏部	坏底部に透かしの切込み。外面弱い回転ヘラケズリ。内外面灰色。長石・石英少量含む。	1129
24	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	高坏	脚部	内外面ナデ。内外面灰白色、内外面灰赤色の付着物あり。長石・石英少量含む。	1124
25	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	高坏	脚部	内外面ナデ。内外面灰白色。1㎜程の長石少量含む。	1098
26	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	高坏	脚裾部	透かし3方向。内外面灰色、外面暗灰色の自然釉、破面灰白色。長石少量含む。	1102
27	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	高坏	脚裾部	内外面ナデ。内外面青灰色、破面灰黄色。0.5～1㎜の長石少量含む。	1128
28	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	壺	肩部	外面縦の平行タタキ後カキメ、内面横ナデ。外面暗灰色、内面灰色、破面灰白色。長石少量含む。	1117
29	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	瑞	胴部	外面カキメ。内外面灰白色、緑色の自然釉。長石・石英少量含む。	1122
30	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	瑞	胴部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	1133
31	SR1	e層	Ⅰf	須恵器	壺	口縁	外面平行タタキ後カキメ、内面青海波文後ナデ。内外面灰白色。長石少量含む。焼成不良。	1099
32	SR1	e層	Ⅰf	緑釉陶器	椀	口縁	淡緑色の釉。灰白色の精製土。軟質。	1109
33	SR1	e層	Ⅰf	緑釉陶器	椀	体部	内外面回転ナデ。淡緑色の釉。にぶい黄橙色の精製土。軟質。	1115
34	SR1	e層	Ⅰf	土師器	坏	口縁	内外面ナデ。外面灰白色、内面浅黄色、一部黒変。精製土。	1114
35	SR1	e層	Ⅰf	土師器	坏	口縁	内外面ナデ。内外面にぶい橙色、破面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む精製土。	1107
36	SR1	e層	Ⅰf	土師器	甕	頸部	内外面ナデ。外面浅黄橙色、内面黄褐色。1～4㎜の長石・石英多く含む。	1130
37	SR1	e層	Ⅰf	土師器	壺	肩部	内外面ナデ。外面橙色、内面にぶい橙色。1㎜以下の長石少量含む。	1108
38	SR1	e層	Ⅰf	土師器	椀	底部	内外面ナデ。外面灰黄色、内面黒色、破面灰色。0.5～1㎜の長石・雲母少量含む。	1112
39	SR1	e層	Ⅰf	土師器	坏	底部	底部回転ヘラ切り。内外面橙色、外底面付近黒変。1㎜以下の長石少量含む。	1101
40	SR1	e層	Ⅰf	土師器	坏	底部	内外面ナデ、底部回転ヘラ切り後板目圧痕。外面橙色、内面浅黄橙色。精製土。	1105
41	SR1	e層	Ⅰf	土師器	坏	底部	内外面ナデ。内外面白色に近い灰白色。長石・石英少量含む。	1103
42	SR1	e層	Ⅰf	土師器	坏	底部	内外面ナデ。外面灰白色、内面灰黄色。精製土。長石少量含む。	1104

図46　Ⅰh区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SX2	c層	Ⅰh	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面白色に近い灰白色。精製土。	1141
2	SX2	c層	Ⅰh	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。長石少量含む。	1139
3	SX2	c層	Ⅰh	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、破面浅黄橙色。長石・黒色粒少量含む。	1143
4	SX2	c層	Ⅰh	土師器	坏	底部	内外面磨滅。内外面白色に近い灰白色。精製土。	1142
5	SX2	c層	Ⅰh	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。長石・石英多く含む。	1145
6	SX2	c層	Ⅰh	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。石英粒少量含む。	1144
7	SX2	c層	Ⅰh	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面橙色、内面灰白色。長石多く含む。	1140

図47　Ⅰ区撹乱出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	撹乱		Ⅰb	須恵器	坏蓋	口縁	外面回転ヘラケズリ・ナデ、内面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。	1002
2	撹乱		Ⅰb	須恵器	坏身	口縁	内外面回転ナデ。内外面青灰色。0.5～1㎜の長石少量含む。	1004
3	撹乱		Ⅰb	須恵器	坏身	口縁	外面強い回転ナデ。内外面灰白色。0.5～1㎜の長石少量含む。	1005
4	撹乱		Ⅰb	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。やや軟質。	1003
5	撹乱		Ⅰf	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。長石・石英少量含む。	1007
6	撹乱		Ⅰf	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい橙色、内面橙色。0.5～1㎜の長石・石英少量含む。	1006
7	撹乱		Ⅰb	石器	砥石		仕上砥。上面・左右側面に斜め方向の研ぎ痕。上下欠損で、上部欠損後も使用。	1001

図52　ⅡEa区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	—	Ⅲ層	ⅡEa	須恵器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	2501

図54　ⅡWa区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	—	Ⅲ層	ⅡWa	土師器	Ⅲ	全形	外面磨滅、内面ナデ。内外面淡黄色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	2002
2	—	Ⅲ層	ⅡWa	土師器	椀	底部	外面磨滅、内面ナデ。外面灰白色、内面黄灰色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	2003

図59　ⅡWd区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SP235		ⅡWd	土師器	坏	口縁	内外面磨滅。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2006
2	SP206		ⅡWd	土師器	皿	底部	内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面灰白色。長石・石英少量含む。	2004
3	SP218		ⅡWd	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面灰白色、内面黄褐色。長石・石英・雲母少量含む。	2005
4	SP251		ⅡWd	土製品	被熱粘土塊		外面灰褐色、内面にぶい橙色。1～2㎜の長石・雲母少量含む。	2007

図64　ⅡEe区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	坏か皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面にぶい橙色。精製土。	2520
2	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい黄橙色、内面橙色。1～2㎜の長石・石英多く含む。	2512
3	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい橙色、内面にぶい褐色。長石・石英多く含む。	2516
4	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	内外面ナデ。外面にぶい黄橙色、内面にぶい橙色。長石・石英多く含む。	2511
5	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	内外面ナデ。外面にぶい橙色、内面橙色。1～3㎜の長石・石英含む。	2504
6	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。外面にぶい黄橙色、一部褐灰色。1～2㎜の長石・石英含む。	2503
7	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。外面にぶい橙色、破面灰褐色。1～3㎜の長石・石英含む。	2507
8	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。外面にぶい黄橙色。1～4㎜の長石・石英多く含む。	2502
9	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい黄橙色。煤付着。長石少量含む。	2508
10	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい黄橙色、破面褐灰色。1～3㎜の長石・石英多く含む。	2506
11	－	Ⅲ層	ⅡEe	青磁	碗	口縁	越州窯系。外面明オリーブ色の厚めの釉。化粧土。黄橙色のきめ細かい胎土。焼成不良。	2514
12	－	Ⅲ層	ⅡEe	青磁	碗	口縁	内外面明オリーブ灰色の薄めの釉。	2518
13	－	Ⅲ層	ⅡEe	白磁	碗	体部	内外面薄めの釉。黒色粒を少量含む白味の強い灰白色の胎土。	2515
14	－	Ⅲ層	ⅡEe	白磁	Ⅲか碗	口縁	薄めの釉。黒色粒を少量含む白味の強い灰白色の胎土。やや軟質。	2519
15	－	Ⅲ層	ⅡEe	陶器	甕	胴部	外面板状工具による横ナデ。外面灰色、内面赤灰色。1～3㎜の長石少量含む。須恵質。	2505
16	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	鉢	口縁	外面横ナデ、内面横ハケメ。外面暗灰色、内面灰色。1～3㎜の長石・石英多く含む。	2513
17	－	Ⅲ層	ⅡEe	土師器	鉢	口縁	内面ナデ、外面横ハケメ・ナデ。外面黄灰色、内面灰黄色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2517
18	－	Ⅲ層	ⅡEe	須恵器	こね鉢	口縁	東播系。内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。やや軟質。	2509
19	－	Ⅲ層	ⅡEe	石器	磨石		表面全体が使用面。砂岩質。	2510
20	SD36		ⅡEe	土師器	坏か皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面黄灰色、内面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。	2547
21	SD36		ⅡEe	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	2546
22	SD36		ⅡEe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。内外面褐灰色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	2545
23	SD39		ⅡEe	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。外面灰褐色、内面にぶい橙色。精製土に長石少量含む。	2553
24	SD39		ⅡEe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。内外面にぶい橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2552
25	SD39		ⅡEe	土師器	羽釜	底部	内外面ナデ。内面灰黄橙色、内面にぶい橙色。長石・石英少量含む。	2551
26	SD39		ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい黄橙色、貼付面灰褐色。長石・石英多く含む。	2549
27	SD39		ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい黄橙色。1～3㎜の長石少量含む。	2550
28	SP604		ⅡEe	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	2555
29	SP604		ⅡEe	石器	磨石		19と同一個体か。砂岩質。	2556
30	SP616		ⅡEe	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切りか。内外面灰白色。精製土。	2561
31	SP571		ⅡEe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい橙色、内面にぶい黄褐色。長石・石英少量含む。	2554
32	SP611		ⅡEe	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。長石少量含む。	2558
33	SP611		ⅡEe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい橙色、内面にぶい褐色。長石・石英少量含む。	2559
34	SP611		ⅡEe	土師器	羽釜	脚部	表面磨滅。にぶい橙色。1～2㎜の長石・石英多く含む。	2557
35	SP611		ⅡEe	石器	磨石		砥面は一面のみ。砂岩。	2560

図67・68　ⅡWe区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	－	Ⅲ層	ⅡWe	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。内外面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	2032
2	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面にぶい黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	2033
3	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ。外面褐灰色、内面灰黄褐色。1～2㎜の長石・雲母少量含む精製土。	2028
4	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	皿	底部	内外面磨滅。外面にぶい橙色、内面橙色。砂粒ほとんど含まない。	2021
5	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	皿	底部	内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2015
6	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に長石・石英少量含む。	2018
7	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。精製土。	2036
8	SK25		ⅡWe	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面橙色。1～2㎜の長石少量含む。	2037
9	－	Ⅲ層	ⅡWe	天目	茶碗	口縁	外面黒色、内面緑黒のきわめて薄い釉。灰白色のやや粗い胎土。	2024
10	－	Ⅲ層	ⅡWe	青磁	碗	口縁	内外面灰オリーブ色の厚めの釉。灰白色のきわめて緻密な胎土。	2029
11	－	Ⅲ層	ⅡWe	青磁	碗	口縁	内外面灰オリーブ色の薄めの釉。貫乳あり。やや粗い胎土。	2023
12	－	Ⅲ層	ⅡWe	青磁	碗	口縁	内外面透明感のある薄めの釉。貫乳あり。胎土はきめ細かい。	2017

13	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい黄橙色、内面灰黄褐色。1～2㎜の長石・雲母少量含む。	2027
14	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	羽釜	口縁	外面横ナデ、内面横ハケメ。外面にぶい黄橙色、内面にぶい橙色。長石・石英少量含む。	2014
15	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい黄橙色、内面灰黄色。長石・石英少量含む。	2016
16	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面灰黄褐色、内面にぶい黄褐色。長石・石英・雲母少量含む。	2022
17	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい褐色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	2020
18	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい黄橙色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	2026
19	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。外面灰色、内面灰白色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	2013
20	－	Ⅲ層	ⅡWe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。灰黄褐色、芯部褐灰色。1～3㎜の長石・石英・雲母少量含む。	2025
21	－	Ⅲ層	ⅡWe	瓦質土器	羽釜	胴部	内外面横ナデ。内外面灰白色、破面灰色。長石・石英少量含む。	2012
22	－	Ⅲ層	ⅡWe	備前焼	擂鉢	底部	擦目磨耗。内外面回転ナデ。外面黄灰色、内面青灰色、破面にぶい橙色。長石・石英多く含む。	2030
23	－	Ⅲ層	ⅡWe	丸瓦			凹面布目。凸面・破面灰白色、凹面灰色。胎土はきめ細かい。焼成良好。	2035
24	－	Ⅲ層	ⅡWe	石器	素材		板状素材もしくは剥片。緑色片岩。	2034
25	－	Ⅲ層	ⅡWe	石器	砥石		仕上砥。残存部での砥面は一面。細かい砂岩質。	2019
26	SK25		ⅡWe	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	2038
27	SK25		ⅡWe	土師器	羽釜	脚部	表面磨滅。灰黄褐色。1～2㎜の長石・石英多く含む。	2039
28	SK25		ⅡWe	備前焼	擂鉢	体部	擦目磨耗。内外面横ナデ。外面青灰色、内面灰白色。1～3㎜の長石少量含む。	2040
29	SK25		ⅡWe	石器	素材		表面に粗い研磨。緑色片岩。	2042
30	SK25		ⅡWe	染付	碗	底部	内外面灰白色の薄い釉。高台内以外に化粧土。黒色粒を含む精良で緻密な胎土。	2041
31	SK26	SP384	ⅡWe	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。1㎜以下の長石少量含む。やや軟質。	2057
32	SK26		ⅡWe	土師器	Ⅲ	底部	内外面磨滅。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2043
33	SK26		ⅡWe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい橙色。煤付着。1～3㎜の長石・石英・雲母少量含む。	2001
34	SK27	SP390	ⅡWe	石器	台石		表面煤付着。破面被熱により変色。安山岩質。	2058
35	SK27		ⅡWe	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	2044
36	SK26		ⅡWe	須恵器	坏蓋	つまみ	内外面灰色、破面褐灰色。1㎜以下の長石少量含む。	2049
37	SK26		ⅡWe	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面橙色。精製土。	2048
38	SK26		ⅡWe	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰黄褐色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	2047
39	SK26		ⅡWe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。外面黄褐色、内面灰黄褐色。長石・石英多く含む。	2045
40	SK26		ⅡWe	土師器	羽釜	胴部	外面ナデ、内面横ハケメ。外面灰黄褐色、内面灰黄色。	2046
41	SP314・315		ⅡWe	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰黄褐色。1㎜の長石少量含む。	2055
42	SP314・315		ⅡWe	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後板目圧痕。内外面にぶい橙色。精製土。	2054
43	SP306・307		ⅡWe	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面灰黄褐色、内面にぶい橙色。1～2㎜の長石・石英多く含む。	2051
44	SP306・307		ⅡWe	土師器	羽釜	脚部	ナデ。内外面浅黄色、芯部灰色。長石・石英少量含む。	2052
45	SP310		ⅡWe	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。長石少量含む。	2053
46	SP344		ⅡWe	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面にぶい橙色。1㎜以下の長石少量含む。	2056
47	SP303		ⅡWe	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後板目圧痕、内底面ナデ。灰白色の精製土。	2050
48	SP285		ⅡWe	土師器	Ⅲ	完形	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面橙～浅黄橙色。長石・石英少量含む。	2059

図71・72　ⅡEf区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	－	Ⅲ層	ⅡEf	弥生土器	壺	底部	内面磨滅。外面明赤褐色。1～3㎜の長石・石英多く含む。	2539
2	－	Ⅲ層	ⅡEf	須恵器	壺	胴部	内外面回転ナデ。内外面灰色、灰色の自然釉。1㎜以下の長石少量含む。	2526
3	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	2522
4	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面淡橙色、内面浅黄橙色。精製土に1㎜以下の長石少量含む。	2523
5	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面橙色、内面浅黄橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2536
6	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。内面・破面浅黄橙色、外面黄味がかった灰白色。長石・石英少量含む。	2535
7	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	坏か皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。精製土に0.5㎜以下の長石少量含む。	2538
8	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。外面灰黄褐色、内面灰白色。精製土に0.5㎜以下の長石少量含む。	2530
9	－	Ⅲ層	ⅡEf	青磁	碗	体部	龍泉窯系。内外面灰オリーブ色のやや厚めの釉。貫乳あり。露胎部灰白色。精製土。	2529
10	－	Ⅲ層	ⅡEf	白磁	碗	口縁	内外面灰白色の薄い釉。胎土は緻密。	2527
11	－	Ⅲ層	ⅡEf	白磁	碗	底部	削出高台。内面灰白色の釉、外面残存部では露胎。貫乳あり。胎土粗い。焼成不良。	2528
12	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	羽釜	口縁	内外面回転ナデ。外面明褐色、内面にぶい橙色。1～3㎜の長石・石英多く含む。	2524
13	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	羽釜	体部	内外面ナデ。外面橙色、内面褐灰色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	2531
14	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	羽釜	脚部	にぶい黄橙色、接合部付近黒変。1～3㎜の長石・石英少量含む。	2521
15	－	Ⅲ層	ⅡEf	土製品	被熱粘土塊		黄灰色。被熱。2～5㎜の長石・石英多く含む。羽釜の脚の可能性もあり。	2525
16	－	Ⅲ層	ⅡEf	土師器	羽釜	脚部	にぶい黄橙色。1～2㎜の長石・石英・雲母を多く含む。	2533
17	－	Ⅲ層	ⅡEf	須恵器	こね鉢	口縁	内外面回転ナデ。外面青灰色、内面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	2534
18	－	Ⅲ層	ⅡEf	丸瓦			凸面丁寧なヘラナデ、凹面には布目・コビキ痕。凸面灰白色、凹面灰色。精製土。焼成良好。	2537
19	－	Ⅲ層	ⅡEf	鉄滓			重量34.8ｇ。	2532
20	SD28		ⅡEf	土師器	羽釜	口縁	内面横ハケメ後ナデ。外面にぶい褐色、内面にぶい橙色。1～3㎜の長石・石英含む。	2540

21	SD28		ⅡEf	土師器	羽釜	口縁	内外面ナデ。内外面にぶい橙～黄橙色。胎土粗い。	2542
22	SD28		ⅡEf	土師器	羽釜	脚部	体部との接合平坦面に強いナデ。にぶい橙色、煤付着。長石・雲母少量含む。	2541
23	SD28		ⅡEf	備前焼	大甕	肩部	内外面灰色、破面紫灰色。1～2㎜の長石多く含む。	2543
24	SK40	SP617	ⅡEf	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面橙色、内面浅黄橙色。0.5～1㎜の長石少量含む。	2564
25	SK40	SP617	ⅡEf	土師器	坏か皿	底部	内外面磨滅。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2565
26	SK40	SP617	ⅡEf	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい黄橙色。精製土。	2563
27	SK40	SP686	ⅡEf	土師器	皿	底部	内外面ナデ、底部回転糸切り後擦過。外面橙色、内面褐灰色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	2566
28	SK40	SP617	ⅡEf	土師器	羽釜	脚部	にぶい黄橙色、芯部黒化層。1～5㎜の長石・石英多く含む粗い胎土。	2562
29	SK40	SP686	ⅡEf	土製品	被熱粘土塊		外面橙色、内面にぶい黄橙色。被熱。1～5㎜の長石・石英少量含む。	2570
30	SK40	SP686	ⅡEf	石器	台石		花崗岩。	2567
	SP648		ⅡEf					2578
31	SK40	SP618	ⅡEf	石器	凹石		上面のみ素材面を残し、他は破面で赤変。火成岩質。	2569
32	SK40	SP618	ⅡEf	石器	台石		表面全面に煤付着。砂岩。	2568
33	SP627･628		ⅡEf	土師器	皿	口縁	内外面磨滅。内外面浅黄橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2572
34	SP627･628		ⅡEf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面浅黄褐色。1㎜以下の長石少量含む。	2573
35	SP636		ⅡEf	土師器	皿か坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に0.5㎜以下の砂粒わずかに含む。	2575
36	SP636		ⅡEf	土師器	羽釜	脚部	内外面回転ナデ。内外面にぶい黄褐色。1～2㎜の長石少量含む。	2574
37	SP646		ⅡEf	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面浅黄色。1㎜以下の長石少量含む。	2577
38	SP650		ⅡEf	土師器	皿	完形	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後板目圧痕。内外面浅黄橙色。精製土。	2579
39	SP653		ⅡEf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	2583
40	SP731		ⅡEf	土師器	坏か皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面浅黄橙色。精製土。	2585
41	SP625		ⅡEf	青磁	皿	胴部	内外面オリーブ灰色の釉。貫乳あり。露体部灰色。胎土緻密。	2571
42	SD32		ⅡEf	備前焼	片口鉢	口縁	内外面ナデ。外面褐灰色、内面にぶい赤褐色。長石少量含む。	2544
43	SP652		ⅡEf	石器	台石		上面やや湾曲した平坦面。花崗岩質で、脆く、剥落著しい。	2582
44	SP643		ⅡEf	石器	台石		砂岩。	2576
45	SP655		ⅡEf	石器	敲石		砂岩。	2584
46	SP651		ⅡEf	石器	台石		部分的に研ぎ面。流紋岩。	2580
47	SP651		ⅡEf	石器	磨石		粗研用。花崗岩。	2581

図76・77　ⅡWf区出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	－	Ⅲ層	ⅡWf	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ、内面凹凸顕著。内外面黄橙色。長石・石英少量含む。	2070
2	－	Ⅲ層	ⅡWf	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面黄味がかった灰白色。精製土。	2072
3	－	Ⅲ層	ⅡWf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。精製土。	2071
4	－	Ⅲ層	ⅡWf	瓦質土器	羽釜	口縁	内外面ナデ。内外面灰色、破面灰白色。2～5㎜の長石・石英少量含む粗い胎土。	2077
5	－	Ⅲ層	ⅡWf	土師器	擂鉢	底部	擦目使用痕薄い。外面にぶい黄橙色、内面灰黄褐色。長石・石英多く含む。	2078
6	－	Ⅲ層	ⅡWf	土師器	羽釜	脚部	にぶい橙色、芯部褐灰色。胎土はきめ細かく、砂粒少量含む。	2074
7	－	Ⅲ層	ⅡWf	須恵器	こね鉢	口縁	内外面回転ナデ。内面・外面口縁部灰色、外面下半灰白色。精製土。	2076
8	－	Ⅲ層	ⅡWf	須恵器	甕	胴部	内外面回転ナデ。内外面一部に自然釉。精製土に長石少量含む。	2075
9	－	Ⅲ層	ⅡWf	青磁	碗	体部	鎬蓮弁文。内外面オリーブ灰色の釉。精製土。	2073
10	SD28		ⅡWf	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅激しい。内外面にぶい黄橙色。1～3㎜の長石・石英多く含む。	2079
11	SD28		ⅡWf	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	2082
12	SD28		ⅡWf	土師器	羽釜	口縁	内外面ナデ。内外面にぶい橙色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	2084
13	SD28		ⅡWf	土師器	羽釜	脚部	にぶい橙色。1～2㎜以下の長石・石英含む。	2081
14	SD28		ⅡWf	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい黄橙色。1～3㎜の長石・石英を多く含む。	2080
15	SD28		ⅡWf	土師器	羽釜	脚部	ナデ。外面にぶい黄橙色、内面灰黄褐色。1～3㎜の長石・石英多く含む。	2083
16	SK29		ⅡWf	土師器	羽釜	脚部	ナデ。暗灰黄色。1～3㎜の長石少量含む。	2085
17	SK29	SP429	ⅡWf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、内底面定方向ナデ、底部回転糸切り。外面にぶい橙色、内面橙色。長石少量含む。	2104
18	SK29	SP430	ⅡWf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。浅黄橙色。精製土。	2106
19	SK29	SP430	ⅡWf	土師器	羽釜	上半部	内面横ハケメもしくは板状工具によるナデ。にぶい黄橙色。1～2㎜の長石・石英多く含む。	2105
20	SK29	SP430	ⅡWf	土師器	羽釜	脚部	ナデ。外面褐灰色、内面にぶい黄橙色。長石・石英少量含む。	2107
21	SK30		ⅡWf	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面浅黄橙色。1㎜以下の長石・赤色粒少量含む。	2086
22	SK30	SP434	ⅡWf	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面灰褐色、内面灰黄褐色。1㎜以下の長石少量含む。	2116
23	SK30	SP434	ⅡWf	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	2114
24	SK30	SP434	ⅡWf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、内底部ナデ。外面灰白色、内面灰黄色。長石・石英少量含む。	2115
25	SK30	SP434	ⅡWf	石器	台石		被熱赤変、煤付着。砂岩。	2065
26	SK30	SP433	ⅡWf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、内底面凹凸顕著、底部回転糸切り。外面にぶい橙色、内面灰黄褐色。長石少量含む。	2113
27	SK30	SP450	ⅡWf	土師器	皿	完形	内外面回転ナデ、内底面ナデ、底部回転糸切り後板目圧痕。内外面浅黄橙色。精製土に1㎜以下の長石少量含む。	2060
28	SK30	SP503	ⅡWf	青磁	碗	体部	龍泉窯系。内外面オリーブ灰色の厚めの釉。胎土緻密。	2061
29	SK31	SP503	ⅡWf	石器	台石		被熱、上面と3側面に煤付着。花崗岩。	2066

30	SK31	SP503	Ⅱ Wf	石器	台石		敲打痕まばらにあり。砂岩。	2064
31	SK31		Ⅱ Wf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面灰黄色、内面黄灰色。1㎜以下の長石・雲母少量含む。	2087
32	SK31		Ⅱ Wf	亀山焼	甕	胴部	外面格子目タタキ。内外面灰白色。胎土きめ細かい。やや軟質。	2088
33	SK31		Ⅱ Wf	石器	砥石		1面のみ砥面残る。花崗岩。	2089
34	SK31	SP432	Ⅱ Wf	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ、内面凹凸顕著。外面にぶい黄橙色、内面灰黄色。精製土。	2111
35	SK30	SP433	Ⅱ Wf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面浅黄橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	2112
36	SK31	SP432	Ⅱ Wf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。精製土。	2108
37	SK31	SP436	Ⅱ Wf	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。精製土。	2118
38	SK31	SP432	Ⅱ Wf	土師器	坏か椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面白味の強い灰白色。精製土。	2109
39	SK31	SP436	Ⅱ Wf	土師器	羽釜	口縁	内外面ナデ。外面灰黄褐色、内面にぶい橙色。1～3㎜の長石・石英多く含む。	2117
40	SK31	SP432	Ⅱ Wf	土師器	坏	口縁	内外面横ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	2110
41	SK31SP452・454		Ⅱ Wf	土師器	皿	完形	内外面回転ナデ、内底面中央部ナデ、底部回転糸切り。灰白色。精製土。	2063
42	SK31 SP452・454		Ⅱ Wf	土師器	皿	完形	内外面回転ナデ、内底面中央部ナデ、底部回転糸切り。灰白色。精製土に長石わずかに含む。	2062
43	SK31	SP452	Ⅱ Wf	石器	素材		重量感あり。緑色片岩。	2125
44	SP398		Ⅱ Wf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後板目圧痕。外面灰色、内面灰白色。精製土に1㎜以下の長石少量含む。瓦器の可能性あり。	2093
45	SP398		Ⅱ Wf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。精製土。	2094
46	SP398		Ⅱ Wf	須恵器	擂鉢	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。胎土の粒子はやや大きい。	2091
47	SP398		Ⅱ Wf	石器	砥石転用		煤付着。かまどの支石に転用か。黒雲母など黒色の鉱物を含まない花崗岩。	2092
48	SP440		Ⅱ Wf	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	2122
49	SP440		Ⅱ Wf	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。内外面灰黄褐色。1㎜程の長石多く含む。	2121
50	SP440		Ⅱ Wf	石器	磨石		左右両側面が使用面。花崗岩。	2119
51	SP440		Ⅱ Wf	石器	台石		右側面が使用面か。砂岩で風化著しい。	2120
52	SP415		Ⅱ Wf	須恵器	甕	胴部	外面横の平行タタキ、内面青海波文後ナデ。内外面灰白色、内面に自然釉。精製土。	2100
53	SP415		Ⅱ Wf	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい橙色。きめ細かい胎土に1～3㎜の長石少量含む。	2101
54	SP410		Ⅱ Wf	青磁	碗	口縁	内外面オリーブ灰色の厚めの釉。貫乳あり。灰白色でやや粗い胎土。	2097
55	SP410		Ⅱ Wf	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい褐色、内面にぶい黄橙色。1～2㎜の長石・石英・雲母含む。	2098
56	SP497		Ⅱ Wf	瓦器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色、口縁外面帯状に炭素吸着。精製土。	2127
57	SP416		Ⅱ Wf	土師器	坏か皿	口縁	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。精製土に1㎜以下の長石少量含む。	2102
58	SP448		Ⅱ Wf	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面黄味がかった灰白色。精製土。	2124
59	SK31	SP457	Ⅱ Wf	土師器	坏	底部	内外面磨滅激しい。底部回転糸切り。内外面浅黄橙色。1～3㎜の長石多く含む。	2126
60	SP446		Ⅱ Wf	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面にぶい黄褐色、内面黄灰色。精製土。	2123
61	SP403		Ⅱ Wf	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	2096
62	SP397		Ⅱ Wf	土師器	皿	底部	内外面磨滅激しい。内外面灰色。1～3㎜の長石少量含む。焼成不良。	2090
63	SP428		Ⅱ Wf	備前焼	擂鉢	口縁	内外面回転ナデ。口縁部褐灰色、擦面にぶい赤橙色。精製土。	2103
64	SP412		Ⅱ Wf	石器	砥石		仕上砥。砥面は2面残存。きめ細かい泥岩質。	2099
65	SP449		Ⅱ Wf	石器	打製石鏃		側辺に浅い細かな調整剥離、先端部比較的大きな剥離。サヌカイト。	2128

図81　SK-38出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SK38		Ⅱ Eg	弥生土器	壺	底部	外面縦ミガキ、内面横ミガキ、底面ミガキ。外面・破面浅黄灰色、外面有黒斑、内面黒変。	2548

図83　Ⅱ区撹乱出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	撹乱		Ⅱ Wf	須恵器	坏蓋	天井部	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	2067
2	撹乱		Ⅱ Wf	土師器	甕	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい褐色、内面橙色。1～2㎜の長石・石英・角閃石多く含む。	2068
3	撹乱		Ⅱ We	土師器	羽釜	脚部	内外面ナデ。外面にぶい橙色、内面褐灰色。1～3㎜の長石多く含む。	2010
4	撹乱		Ⅱ We	須恵器	こね鉢	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	2008
5	撹乱		Ⅱ We	青磁	碗	底部	同安窯系。外面鋭い櫛描き文、内面櫛による押圧文とヘラ描き文。釉は薄く体部下半露胎。胎土きめ細かく灰白色。硬質。	2009
6	撹乱		Ⅱ Wf	石器	砥石		左側面と表面に擦痕。目の細かい砂岩。	2069
7	撹乱		Ⅱ We	石製品	硯転用		上面と左側面に擦面あり。黒色粘板岩。砥石転用。	2011

図86　Ⅲ区SR-1c層出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	c層	Ⅲa北	須恵器	坏蓋	体部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石わずかに含む。	3075
2	SR1	c層	Ⅲb南	須恵器	坏身	受部	内外面回転ナデ。外面褐灰色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	3088
3	SR1	c層	Ⅲb北	須恵器	坏身	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。きめ細かい胎土。	3148
4	SR1	c層	Ⅲb北	須恵器	提瓶	胴部	外面カキメ、内面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	3153
5	SR1	c層	Ⅲb北	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜の長石・黒色粒少量含む。	3152
6	SR1	c層	Ⅲa北	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。内外面灰色。1～2㎜の長石少量含む。	3073
7	SR1	c層	Ⅲb北	須恵器	鉢	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。2㎜以下の長石・石英少量含む。	3146
8	SR1	c層	Ⅲb北	陶器	壺	底部	外面平行タタキ後ヘラ状工具によるナデ。外面浅黄橙色、内面にぶい褐色。赤焼けの須恵質。	3145

9	SR1	c層	Ⅲa南	須恵器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１～２㎜の長石・石英少量含む。やや軟質。	3028
10	SR1	c層	Ⅲa南	瓦器	椀	口縁	内外面回転ナデ、ヘラミガキ。外面灰色、内面灰白色。	3027
11	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面黄灰色、薄く炭素吸着。0.5㎜以下の長石少量含む。	3017
12	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。外面淡黄色、内面にぶい黄橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3018
13	SR1	c層	Ⅲb北	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後ナデ。内外面灰白色。やや軟質。	3147
14	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面にぶい橙色、内面浅黄橙色。１㎜以下の長石、石英少量含む。	3029
15	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	3150
16	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面灰白色、内面淡黄色。１㎜以下の長石少量含む。軟質。	3023
17	SR1	c層	Ⅲa北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。灰白色。精製土。	3071
18	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面橙色。精製土に長石少量含む。	3021
19	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面にぶい橙色、内面浅黄色。１～２㎜の長石少量含む。	3025
20	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面淡黄色。１～２㎜の長石少量含む。	3026
21	SR1	c層	Ⅲa北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。精製土。	3068
22	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面淡黄色、内面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	3135
23	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面浅黄色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3136
24	SR1	c層	Ⅲa北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面灰色、内面浅黄橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3070
25	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切りか。内外面灰白色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	3141
26	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面浅黄橙色、内面灰白色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	3142
27	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面磨滅。内外面灰白色。１～２㎜の長石・石英少量含む。焼成不良。	3143
28	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい橙色、内面橙色。１㎜程の長石・石英少量含む。	3134
29	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面灰白色。１～２㎜の長石・石英少量含む。焼成不良。	3132
30	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面褐灰色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3151
31	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面灰白色、内面浅黄橙色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	3149
32	SR1	c層	Ⅲa北	土師器	坏	底部	内外面磨滅。内外面灰白色。１～２㎜の長石少量含む。	3072
33	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ。外面黄灰色、内面灰白色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	3138
34	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	3019
35	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１～２㎜の長石、石英少量含む。	3133
36	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	皿	全形	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。１～２㎜の長石多く含む。	3020
37	SR1	c層	Ⅲa南	土師器	椀	底部	内外面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3030
38	SR1	c層	Ⅲb北	土師器	椀	底部	内外面磨滅。内外面灰白色。１㎜の長石・石英少量含む。やや軟質。	3140
39	SR1	c層	Ⅲa北	土師器	椀	底部	内外面灰白色、破面黒化層。１～２㎜の長石・石英少量含む。軟質。	3069
40	SR1	c層	Ⅲb北	黒色土器(内黒)椀		底部	外面ナデ、内面ミガキ。外面灰白色、内面灰色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3137
41	SR1	c層	Ⅲb北	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内面ミガキ。外面灰白色、内面灰色。２㎜以下の長石・石英少量含む。	3139
42	SR1	c層	Ⅲb南	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰色。１～２㎜の長石・石英少量含む粗い胎土。	3089
43	SR1	c層	Ⅲa南	瓦器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄色、内面明黄褐色。精製土。焼成不良。	3024
44	SR1	c層	Ⅲb北	土製品	坩堝	口縁	外面橙色、内面黄灰色。内面海綿状。１～２㎜の長石少量含む。	3144
45	SR1	c層	Ⅲa南	土製品	焼成粘土塊		内側に面あり。灰白色。軟質。	3022
46	SR1	c層	Ⅲa北	土器	－		外面ガラス滓状のもの付着。器壁海綿状。内側に一部面あり。内面赤橙色。焼成良好。	3193
47	SR1	c層	Ⅲb南	石器	打製石鏃		凹基式。先端と片側かえり欠損。調整剝離は側縁部のみ。サヌカイト。	3195
48	SR1	c層	Ⅲa北	石器	磨製石庖丁		緑色片岩。	3074

図87・88　Ⅲ区SR-１e１層出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	e1層	Ⅲb北	須恵器	坏蓋	体部	内外面回転ナデ、外面回転ヘラケズリ。内外面灰色。１～２㎜の長石少量含む。	3170
2	SR1	e1層	Ⅲb南	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ、外面天井部回転ヘラケズリ。外面灰白色、内面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	3107
3	SR1	e1層	Ⅲb南	須恵器	坏蓋	天井部	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。内外面灰白色。	3120
4	SR1	e1層	Ⅲa南	須恵器	坏身	受部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１㎜の長石少量含む。	3037
5	SR1	e1層	Ⅲb南	須恵器	壺	胴部	外面平行タタキ後カキメ、内面青海波文。外面灰白色、内面灰色。２㎜以下の長石少量含む。	3114
6	SR1	e1層	Ⅲb南	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ、天井部薄い回転ヘラケズリ。内外面灰白色、１㎜以下の長石少量含む。	3105
7	SR1	e1層	Ⅲb南	須恵器	長頸壺	底部	内外面回転ナデ。内外面青灰色、破面紫灰色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3119
8	SR1	e1層	Ⅲb南	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	3106
9	SR1	e1層	Ⅲb南	須恵器	甕	下半部	内外面上方横ナデ、下方雑なナデ。長石多く含む。	3121
10	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	高坏	脚部	内外面磨滅。内外面橙色。精製土。軟質。	3044
11	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	甕	口縁	内外面横ナデ。内外面にぶい橙色。１～４㎜の長石・石英少量含む。	3038
12	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	壺	上半部	内外面磨滅。内外面浅黄橙色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3166
13	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	坏	口縁	内外面ナデ。内外面にぶい橙色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	3115
14	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3174
15	SR1	e1層	Ⅲa北	須恵器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。１～２㎜の長石少量含む。	3076
16	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面橙色、内面・破面浅黄橙色。精製土。赤色化粧土か。	3041

17	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	坏か椀	口縁	内外面回転ナデ、内面粗いミガキか。内外面灰白色。精製土。	3101
18	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	坏か椀	口縁	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	3158
19	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	坏か椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。精製土に1㎜以下の長石少量含む。	3154
20	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。精製土。	3043
21	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の石英少量含む。	3099
22	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	3173
23	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面磨滅、底部回転糸切り。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	3033
24	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面灰白色。1～3㎜の長石少量含む。	3097
25	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面黄灰色。2㎜以下の長石少量含む。	3164
26	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3113
27	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面浅橙色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	3169
28	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面黄橙色。長石少量含む。	3095
29	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい橙色、内面灰白色。長石少量含む。	3034
30	SR1	e1層	Ⅲa北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。やや軟質。	3077
31	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面浅黄橙色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	3160
32	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面淡黄色、内面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。	3032
33	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面淡橙色、内面にぶい橙色。1～2㎜の長石少量含む。	3161
34	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3092
35	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ、口縁下に強い横ナデ。内外面灰白色。精製土。椀の可能性あり。	3116
36	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3156
37	SR1	e1層	Ⅲa北	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。内外面橙色。精製土。	3080
38	SR1	e1層	Ⅲa北	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。外面橙色、内面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3082
39	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい橙色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	3035
40	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面にぶい橙色、内面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3102
41	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。やや軟質。	3039
42	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面にぶい橙色。	3100
43	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む	3159
44	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面浅黄橙色、内面にぶい黄橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	3110
45	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。にぶい橙色。1～2㎜の長石少量含む。	3162
46	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	3157
47	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。1～2㎜の長石少量含む。	3155
48	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。1～2㎜の石英・長石少量含む。	3103
49	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。	3104
50	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	3163
51	SR1	e1層	Ⅲa南	黒色土器(内黒)	椀	体部	内外面回転ナデ、内面ミガキ。外面褐灰色。精製土。	3175
52	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ、内面横ミガキ。外面浅黄橙色、内面薄く黒変。精製土。	3165
53	SR1	e1層	Ⅲa北	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面黄灰色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3078
54	SR1	e1層	Ⅲa北	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3079
55	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、凹凸顕著。内外面浅黄灰色。1㎜以下の長石少量含む。	3096
56	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3109
57	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3091
58	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面灰色。2㎜以下の長石・石英少量含む。	3036
59	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面明褐色、内面淡黄色。1㎜以下の長石少量含む。	3112
60	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。	3108
61	SR1	e1層	Ⅲa南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3042
62	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、内面粗いミガキ、底部回転糸切り後高台貼付。内外面浅黄橙色。長石少量含む。	3090
63	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3111
64	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。精製土。内面に気泡状の剝離。	3094
65	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3167
66	SR1	e1層	Ⅲb北	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後高台貼付。内外面浅黄色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	3168
67	SR1	e1層	Ⅲ	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、内底面定方向ナデ、外面輪積痕、底部回転糸切り後高台貼付。内外面浅黄橙色。精製土。	3192
68	SR1	e1層	Ⅲb南	黒色土器(内黒)	椀	底部	内外面回転ナデ、内面ミガキ。外面灰白色、内面灰色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3118
69	SR1	e1層	Ⅲb南	黒色土器(内黒)	椀	底部	内外面回転ナデ、内面ミガキか。外面浅黄橙色、内面灰色。1～2㎜の長石少量含む。	3093
70	SR1	e1層	Ⅲb南	黒色土器(内黒)	椀	底部	外面横ナデ、内面横ミガキ。外面灰白色、内面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	3098
71	SR1	e1層	Ⅲa南	黒色土器(内黒)	椀	底部	内外面回転ナデ、内面ミガキ。外面・破面黒化層。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3040
72	SR1	e1層	Ⅲa南	土製品	被熱粘土塊		内側に面あり。2～3㎜幅のスサの痕跡あり。灰白色。軟質。	3031
73	SR1	e1層	Ⅲa北	ガラス滓			内面黒色、表面・破面にぶい赤褐色。気泡顕著。	3194
74	SR1	e1層	Ⅲb南	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ、高台部入念なナデ。内外面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3117

図89　Ⅲ区SR－１e２層出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	e2層	Ⅲb南	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ、外面ヘラケズリ。内外面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	3126
2	SR1	e2層	Ⅲa南	須恵器	坏蓋	体部	内外面回転ナデ、外面ヘラケズリ。内外面灰色。１～３㎜の長石少量含む。	3065
3	SR1	e2層	Ⅲb南	須恵器	坏身	底部	内外面回転ナデ、内底面定方向ナデ、外面ヘラケズリ。内外面灰色。	3125
4	SR1	e2層	Ⅲb南	須恵器	壺	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3130
5	SR1	e2層	Ⅲa南	須恵器	壺か瓶	胴部	内外面回転ナデ。内外面灰色。１～２㎜の長石少量含む。	3062
6	SR1	e2層	Ⅲa南	須恵器	鉢	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１～２㎜の長石少量含む。	3045
7	SR1	e2層	Ⅲa南	須恵器	坏か壺	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。火襷が入る。	3061
8	SR1	e2層	Ⅲa南	須恵器	長頸壺	胴部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	3064
9	SR1	e2層	Ⅲa南	須恵器	甕か壺	胴部	外面平行タタキ後カキメ、内面青海波文後ナデ。外面灰白色、内面灰色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3063
10	SR1	e2層	Ⅲa北	須恵器	甕か壺	胴部	外面平行タタキ後横ナデ、内面青海波文後ナデ。内外面灰色、破面赤褐色。長石少量含む。	3084
11	SR1	e2層	Ⅲa北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面橙色、内面浅黄色。１～２㎜の長石・雲母少量含む。	3085
12	SR1	e2層	Ⅲa北	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ、外面底部付近強いナデ。外面浅黄橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3083
13	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	口縁	内外面磨滅。外面灰色、内面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。瓦質に近い。	3056
14	SR1	e2層	Ⅲb南	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3122
15	SR1	e2層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。精製土に１㎜以下の長石少量含む。	3124
16	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に長石・石英少量含む。	3060
17	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。長石・石英少量含む。	3054
18	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3048
19	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色、破面淡黄色。長石少量含む。軟質の須恵器の質感。	3066
20	SR1	e2層	Ⅲa北	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面橙色、内面にぶい橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3087
21	SR1	e2層	Ⅲa北	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面橙色、内面にぶい橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3086
22	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面黄灰色、内面にぶい橙色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3049
23	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。	3058
24	SR1	e2層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面橙色、内面にぶい橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3128
25	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面黄灰色、内面灰色。２～３㎜の長石・石英多く含む。	3057
26	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に１㎜の長石・石英少量含む。	3059
27	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に１㎜以下の長石少量含む。	3046
28	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面磨滅。内外面灰白色、破面黒化層。１㎜以下の長石少量含む。	3055
29	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面黄灰色。１㎜以下の長石少量含む。	3047
30	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、破面黒化層。１㎜の長石・石英少量含む。	3053
31	SR1	e2層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	3131
32	SR1	e2層	Ⅲb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3129
33	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。１㎜の長石・石英少量含む。	3067
34	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3050
35	SR1	e2層	Ⅲb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、内面ミガキか。外面灰白色、内面浅黄橙色。精製土に１㎜以下の長石少量含む。	3123
36	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	甕か鉢	口縁	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面灰褐色。１㎜程の長石・雲母少量含む。	3052
37	SR1	e2層	Ⅲa南	土師器	鉢	口縁	内外面ナデ。外面褐灰色、内面橙色。0.5㎜以下の長石少量含む。	3051
38	SR1	e2層	Ⅲb南	石器	剥片		泥岩質。	3127

図90　Ⅲ区SX－２c層出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SX2	c層	Ⅲb北	須恵器	坏身	受部	内外面回転ナデ。内外面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	3172
2	SX2	c層	Ⅲc南	須恵器	壺	底部	外面回転ヘラケズリ・ナデ、内面凹凸顕著。内外面灰白色。精製土。	3180
3	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面橙色。１～２㎜の長石、雲母少量含む。	3184
4	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。２㎜以下の長石・石英少量含む。	3185
5	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	3191
6	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、破面黒化層。１㎜以下の長石少量含む。	3188
7	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	3187
8	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面にぶい橙色。１～２㎜の長石少量含む。	3182
9	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰黄色。１㎜以下の長石少量含む。	3179
10	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面磨滅。内外面灰白色。１～２㎜の長石・石英少量含む。軟質。	3189
11	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰黄色、内面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	3177
12	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面橙色、内面にぶい黄橙色。１㎜以下の長石少量含む。	3181
13	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。２㎜以下の長石・石英少量含む。軟質。	3178
14	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	3176
15	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内面灰白色、外面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	3190
16	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい橙色、内面黄橙色。２㎜以下の長石少量含む。	3183

17	SX2	c層	Ⅲb北	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	3171
18	SX2	c層	Ⅲc南	土師器	鉢	口縁	外面横ハケメ、内面横ナデ。内面にぶい黄橙色、外面黒灰色。1～2㎜の長石・雲母少量含む。	3186

図91　Ⅲ区撹乱出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	撹乱		Ⅲ	須恵器	瑞	口縁	口縁下波状文。内外面回転ナデ。外面・破面灰赤色、内面暗赤灰色。精製土。	3005
2	撹乱		Ⅲ	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面浅黄橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3001
3	撹乱		Ⅲ	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。1～2㎜の長石少量含む。	3009
4	撹乱		Ⅲb	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面橙色、内面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3014
5	撹乱		Ⅲ	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。	3004
6	撹乱		Ⅲ	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄色、内面浅黄橙色。1～2㎜以下の長石少量含む。	3013
7	撹乱		Ⅲ	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰黄色、内面にぶい橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3011
8	撹乱		Ⅲ	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。	3008
9	撹乱		Ⅲc	瓦器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色、炭素吸着斑状。精製土。	3016
10	撹乱		Ⅲ	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3003
11	撹乱		Ⅲ	青磁	碗	口縁	外面櫛描文、口縁端部の内外面に2条の条線。薄い透明感のある釉、貫乳あり。わずかに黒色粒を含む灰白色の胎土。やや軟質。	3007
12	撹乱		Ⅲ	陶器	壺	胴部	外面平行タタキ後、横ナデ、内面ナデ。内外面淡黄橙色。長石・石英少量含む。赤焼けの須恵質。	3002
13	撹乱		Ⅲc	備前焼	擂鉢	口縁	内外面回転ナデ。外面灰褐色、内面にぶい橙色。1㎜以下の長石少量含む。	3015
14	撹乱		Ⅲ	備前焼	擂鉢	底部	内外面回転ナデ。内外面褐灰色。きめ細かい胎土。焼成非常に堅緻。	3010
15	撹乱		Ⅲ	土師器	羽釜	脚部	ナデ。にぶい橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	3006
16	撹乱		Ⅲ	土師器	不明	胴部	外面灰色、内面橙色。1㎜以下の長石少量含む。軟質。被熱。	3012

図93　Ⅳ区SR-1c層出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	c層	Ⅳb中	弥生土器	壺	口縁	内外面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。1～3㎜の長石・石英多く含む。	4069
2	SR1	c層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面磨滅。内外面黄橙色。1～2㎜の長石少量含む。	4186
3	SR1	c層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。2㎜以下の長石少量含む。	4077
4	SR1	c層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、内底面ナデ。内外面灰白色。精製土。	4071
5	SR1	c層	Ⅳc中	土師器	坏	底部	内外回転ナデ。内外面灰白色。長石少量含む。	4197
6	SR1	c層	Ⅳb東	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。長石少量含む。	4079
7	SR1	c層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。2㎜以下の長石少量含む。	4067
8	SR1	c層	Ⅳa中	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。	4018
9	SR1	c層	Ⅳc中	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。2㎜以下の長石少量含む。	4195
10	SR1	c層	Ⅳa中	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。外面淡黄色、内面灰白色。2㎜以下の長石少量含む。	4017
11	SR1	c層	Ⅳb中	須恵器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。精製土。火襷が入る。	4072
12	SR1	c層	Ⅳb中	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。2㎜以下の長石少量含む。	4073
13	SR1	c層	Ⅳb西	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面にぶい黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	4081
14	SR1	c層	Ⅳc中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。	4184
15	SR1	c層	Ⅳb西	土師器	椀	底部	内外面磨滅。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	4080
16	SR1	c層	Ⅳa中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後高台貼付。外面黄灰色、内面灰黄色。精製土に長石少量含む。	4016
17	SR1	c層	Ⅳc中	土師器	椀	底部	内外回転ナデ。外面灰白色、内面灰色。1～2㎜の長石・石英少量含む。黒色土器の可能性あり。	4196
18	SR1	c層	Ⅳc中	土師器	椀	底部	内外面丁寧な回転ナデ、底部回転糸切り後高台貼付。精製土に1～2㎜の長石少量含む。	4198
19	SR1	c層	Ⅳb中	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内面ミガキ。外面灰白色、内面灰色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	4068
20	SR1	c層	Ⅳb中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面にぶい黄橙色。長石少量含む。	4076
21	SR1	c層	Ⅳb中	瓦器	椀	底部	内外面回転ナデ、内面密な横ミガキ、内面見込部定方向の粗いミガキ、外面ミガキ省略傾向。内外面灰色、破面灰白色。非常に精製された胎土に、長石少量含む。	4074
22	SR1	c層	Ⅳa西	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。1～2㎜の長石少量含む。	4066
23	SR1	c層	Ⅳb西	土師器	椀	底部	器壁薄く高台低い。内外面回転ナデ。外面灰黄色、内面灰白色。0.5㎜以下の長石少量含む。	4083
24	SR1	c層	Ⅳb西	土師器	椀	底部	内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面灰黄色。1㎜以下の長石少量含む。	4082
25	SR1	c層	Ⅳa	青磁	碗	体部	見込みに圏線。内外面オリーブ灰色の厚めの釉。灰白色の緻密な胎土。	4019
26	SR1	c層	Ⅳb中	須恵器	こね鉢	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。きめ細かい胎土に礫や砂粒少量混じる。	4070
27	SR1	c層	Ⅳb中	土師器	こね鉢	口縁	内外面回転ナデ、口縁部内面強いナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。長石少量含む。	4075
28	SR1	c層	Ⅳc西	土師器	羽釜	口縁	外面横ナデ、内面粗い横ハケメ。内外面褐灰色。1～2㎜の長石少量含む。	4185
29	SR1	c層	Ⅳb中	陶器	おろし皿	底部	底部回転糸切り。おろし目縁辺に一部釉。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	4078

図94・95　Ⅳ区SR-1e1層出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	e1層	Ⅳb中	須恵器	坏蓋	天井部	内外面回転ナデ、外面回転ヘラケズリ。外面灰白色、内面灰色。1～3㎜の長石少量含む。	4107
2	SR1	e1層	Ⅳb西	須恵器	坏蓋	口縁	内外面回転ナデ。外面灰色、内面青灰色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4106
3	SR1	e1層	Ⅳb西	須恵器	坏身	底部	内外面回転ナデ、外面回転ヘラケズリ、内面当て具痕。外面灰白色、内面灰色。長石少量含む。	4126
4	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。精製土に1㎜以下の長石少量含む。	4088
5	SR1	e1層	Ⅳc西	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。精製土に1㎜以下の長石少量含む。	4205
6	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	4115
7	SR1	e1層	Ⅳc西	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面橙色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	4207
8	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。精製土に長石少量含む。軟質の須恵器の質感。	4097
9	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面灰黄色、内面にぶい橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4099
10	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面灰白色、内面灰黄褐色。精製土に長石少量含む。	4093
11	SR1	e1層	Ⅳa中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	4023
12	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。精製土。軟質の須恵器の質感。	4120
13	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。精製土。軟質の須恵器の質感。	4104
14	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4110
15	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	4116
16	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り後ナデ。内外面灰白色。精製土。軟質の須恵器の質感。	4114
17	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面にぶい黄橙色、内灰黄褐色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4117
18	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面黄灰色。長石少量含む。	4119
19	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。にぶい黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	4098
20	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	4089
21	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。2㎜以下の長石・石英少量含む。	4103
22	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面黄灰色。1～2㎜の長石少量含む。	4105
23	SR1	e1層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	4026
24	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面にぶい橙色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	4100
25	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰黄橙色。1㎜以下の長石少量含む。	4112
26	SR1	e1層	Ⅳ東側付近	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面明黄褐色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	4014
27	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	4102
28	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4090
29	SR1	e1層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面にぶい黄橙色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	4214
30	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面灰黄褐色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4125
31	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	坏か皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面明黄褐色、内面浅黄色。	4109
32	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰黄褐色。長石少量含む。	4092
33	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。瓦質に近い。	4094
34	SR1	e1層	Ⅳa中	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	4022
35	SR1	e1層	Ⅳa	土師器	Ⅲ	口縁	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面にぶい橙色。1㎜以下の長石少量含む。	4027
36	SR1	e1層	Ⅳa中	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4021
37	SR1	e1層	Ⅳc西	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4208
38	SR1	e1層	Ⅳc西	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。やや軟質。	4204
39	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面にぶい橙色、内面浅黄橙色。2㎜以下の長石・石英多く含む。	4091
40	SR1	e1層	Ⅳ東側付近	土師器	Ⅲ	完形	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面黄橙色。1～3㎜の長石・石英少量含む。	4015
41	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4096
42	SR1	e1層	Ⅳc西	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰黄色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4206
43	SR1	e1層	Ⅳb中	黒色土器(内黒)椀		口縁	内外面回転ナデ、内面ミガキ。外面灰白色、内面灰色。精製土。	4087
44	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面灰黄色、内面灰白色。長石・石英少量含む。	4095
45	SR1	e1層	Ⅳb西	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。1㎜以下の長石少量含む。	4101
46	SR1	e1層	Ⅳa中	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内底面定方向ミガキ。外面浅黄橙色、内面灰色。1㎜以下の長石・石英含む。	4024
47	SR1	e1層	Ⅳb中	黒色土器(内黒)椀		底部	外面回転ナデ、内面ミガキ。外面黄橙色、内面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	4118
48	SR1	e1層	Ⅳa	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内面ミガキ。外面黄灰色、内面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	4025
49	SR1	e1層	Ⅳb中	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内底面定方向ミガキ。外面にぶい黄橙色、内面灰色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4086
50	SR1	e1層	Ⅳb中	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4113
51	SR1	e1層	Ⅳc西	土師器	土鍋	胴部	外面粗い縦ハケメ、内面横ナデ。内外面褐灰色、内面黒変。1～2㎜の長石・石英少量含む。	4203
52	SR1	e1層	Ⅳa中	土師器	土鍋	口縁	内外面粗いハケメ後横ナデ。外面灰黄褐色、内面灰色。きめ細かい胎土に石英・長石少量含む。	4020
53	SR1	e1層	Ⅳb中	須恵器	壺	頸部	内外面回転ナデ、内面青海波文。精製土。	4108
54	SR1	e1層	Ⅳb中	須恵器	壺	底部	内外面横ナデ。内外面白色。精製土。	4085
55	SR1	e1層	Ⅳ中央	土師器	壺か甕	胴部	外面ハケメ後ナデ、内面ナデ。外面浅黄橙色、内面にぶい黄橙色。長石・石英少量含む。	4004

56	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	甕	肩部	内外面ナデ。外面にぶい黄橙色、内面灰黄褐色。1～3㎜の長石・石英・雲母多く含む。	4121
57	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	鉢	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。軟質。	4111
58	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	甑	胴部	外面上半粗いハケメ、下半格子目タタキ、内面ヘラナデ。外面灰黄褐色。長石少量含む。	4122
59	SR1	e1層	Ⅳb中	土師器	羽釜	脚部	内外面ナデ。外面灰黄褐色、内面にぶい橙色。砂粒多く含む。	4084

図96～98　Ⅳ区SR-1e2層出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	e2層	Ⅳb中	弥生土器	壺	口縁	内外面磨滅。内外面浅黄橙色。1～5㎜の長石・石英多く含む。	4144
2	SR1	e2層	Ⅳb中	須恵器	坏身	口縁	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色、破面灰赤色。精製土。	4154
3	SR1	e2層	Ⅳb中	須恵器	坏身	体部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、天井部に自然釉。長石少量含む。蓋の可能性あり。	4145
4	SR1	e2層	Ⅳa西	須恵器	坏蓋	天井部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	4061
5	SR1	e2層	Ⅳb中	須恵器	坏	底部	内外面磨滅。内外面灰白色。黒色粒・長石多く含む。焼成不良。	4139
6	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面黄味がかった灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	4157
7	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	甕	口縁	内外面横ナデ。内外面灰黄褐色。1～2㎜の長石・石英多く含む。	4064
8	SR1	e2層	Ⅳa	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面青灰色。1㎜以下の長石少量含む。	4028
9	SR1	e2層	Ⅳb中	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	4140
10	SR1	e2層	Ⅳa	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ、外底面縁部ヘラケズリ。内底面体部との接合部に沈線。	4063
11	SR1	e2層	Ⅳb西	須恵器	甕	口縁	内外面回転ナデ。内外面青灰色。精製土。	4180
12	SR1	e2層	Ⅳc西	須恵器	壺	胴部	外面縦・斜めの平行タタキ、内面青海波文後ナデ。外面灰黄色、内面灰白色。長石・石英少量含む。	4235
13	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。精製土。	4060
14	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面にぶい橙色。1㎜以下の長石・赤色粒少量含む。	4039
15	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。1㎜以下の長石・石英わずかに含む。	4220
16	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。1㎜以下の長石少量含む。	4219
17	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ。内外面淡黄色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	4059
18	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面にぶい橙色。1～2㎜の長石・赤色粒少量含む。	4218
19	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面橙色、内面にぶい橙色。1～2㎜の長石・赤色粒少量含む。	4227
20	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	口縁	内外面回転ナデ。外面灰黄褐色、内面にぶい橙色。2㎜以下の長石・石英少量含む。	4178
21	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。1～2㎜の長石少量含む。	4042
22	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。2㎜以下の長石少量含む。	4054
23	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰色。1㎜以下の長石少量含む。	4149
24	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。1～2㎜の長石少量含む。やや軟質。	4215
25	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面ナデ。内外面橙色。2㎜以下の長石・石英少量含む。	4160
26	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面ナデ、底部板目圧痕。内外面浅黄橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4041
27	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面橙色。長石・石英少量含む。	4138
28	SR1	e2層	Ⅳc西	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に石英少量含む。	4232
29	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4233
30	SR1	e2層	Ⅳb東	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に1㎜以下の長石わずかに含む。	4131
31	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面橙色、内面にぶい橙色。精製土に1㎜以下の長石少量含む。	4211
32	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面淡黄色。精製土に1～2㎜の長石・石英少量含む。	4048
33	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部板目圧痕。内外面黄橙色。精製土に1～2㎜の長石・石英少量含む。	4168
34	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4176
35	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面にぶい褐色。1㎜以下の長石少量含む。	4165
36	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい黄橙色。精製土に1㎜以下の長石・石英少量含む。	4153
37	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄色、内面にぶい黄橙色。1～3㎜の長石・石英・雲母少量含む。	4038
38	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、破面灰色。精製土に1～2㎜の長石・石英少量含む。	4050
39	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	4052
40	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り後板目圧痕。内外面浅黄橙色。精製土。	4045
41	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、内面黒変あり。精製土に長石少量含む。	4174
42	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面にぶい橙色。1㎜以下の長石少量含む。	4161
43	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい黄橙色。1～2㎜の長石・石英少量含む。	4035
44	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に1～2㎜の長石少量含む。	4155
45	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。内外面灰白色。1㎜以下の長石少量含む。	4150
46	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。精製土に1～2㎜の石英・長石少量含む。	4210
47	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。精製土。	4228
48	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。長石・石英少量含む。	4209
49	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。1㎜以下の長石・石英少量含む。	4181
50	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土に長石・石英少量含む。	4179
51	SR1	e2層	Ⅳb東	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰黄褐色、内面灰白色。精製土。軟質の須恵器の質感。	4132
52	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面褐灰色、内面灰白色。精製土に長石・石英少量含む。	4137

53	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面黄灰色、内面灰白色。精製土。	4152
54	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。精製土。	4212
55	SR1	e2層	Ⅳb東	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。１～２㎜の長石少量含む。	4127
56	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	4229
57	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面灰白色。精製土に長石・石英少量含む。	4167
58	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。きめ細かい精製土。瓦器の質感。	4230
59	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。石英少量含む。	4036
60	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面にぶい橙色。長石・石英少量含む。	4049
61	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい橙色、内面灰白色。長石・石英少量含む。	4058
62	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰白色。２㎜以下の長石・石英少量含む。	4043
63	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面橙色。精製土。	4030
64	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内外面淡黄橙色。１㎜以下の長石少量含む。	4163
65	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面淡黄色、内面浅黄色。２㎜以下の長石・石英少量含む。	4147
66	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。１㎜以下の長石少量含む。	4034
67	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。１㎜以下の長石・赤色粒少量含む。	4040
68	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。１～２㎜の長石少量含む。	4170
69	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。２㎜以下の長石少量含む。	4169
70	SR1	e2層	Ⅳb東	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面灰黄褐色、内面にぶい黄橙色。１㎜以下の長石・雲母少量含む。	4129
71	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	4136
72	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい黄橙色。精製土に長石少量含む。	4159
73	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面橙色、内面にぶい橙色。長石少量含む。	4156
74	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。２㎜以下の長石少量含む。	4222
75	SR1	e2層	Ⅳa西	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面オリーブ灰色、内面青灰色。精製土。	4062
76	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。外面黄灰色、内面にぶい橙色。１㎜以下の長石少量含む。	4177
77	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰黄色。２㎜以下の長石・石英少量含む。	4164
78	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。内外面黄灰色。２㎜以下の長石少量含む。	4172
79	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。外面灰白色、内面にぶい黄橙色。	4146
80	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	Ⅲ	全形	内外面回転ナデ。外面黄灰色、内面にぶい黄橙色。精製土に石英・長石少量含む。	4231
81	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	Ⅲ	底部	内外面回転ナデ。外面淡黄色、内面浅黄色。２㎜以下の長石少量含む。	4057
82	SR1	e2層	Ⅳb東	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ、口縁下強いナデ、内面ミガキか。外面にぶい黄橙色、内面灰白色。精製土。	4134
83	SR1	e2層	Ⅳb東	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ、口縁下強いナデ。内外面灰白色。非常にきめ細かい精製土。	4130
84	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ、内面ミガキか。内外面灰白色。精製土。	4224
85	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ、幅広なヘラミガキ。内外面浅黄橙色。精製土。	4223
86	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色。精製土に１㎜以下の長石少量含む。	4234
87	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色。１㎜以下の長石少量含む。	4236
88	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。外面灰黄色、内面黄灰色。１～２㎜の長石少量含む。	4175
89	SR1	e2層	Ⅳa西	瓦器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色、口縁部帯状に炭素吸着。１～２㎜の長石・石英少量含む。	4053
90	SR1	e2層	Ⅳb西	須恵器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰色。１～２㎜の長石少量含む。	4171
91	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	椀か鉢	口縁	内外面回転ナデ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。長石・石英少量含む。	4055
92	SR1	e2層	Ⅳb東	青磁	碗	体部	内外面オリーブ灰色の厚めの釉。灰白色で緻密な胎土。	4133
93	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、内底面定方向ナデ。内外面にぶい橙色。１～２㎜の長石少量含む。	4031
94	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。精製土。やや軟質。	4029
95	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面橙色、内面明赤褐色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	4162
96	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。１㎜以下の長石少量含む。	4033
97	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面にぶい橙色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	4221
98	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面橙色。１㎜以下の長石少量含む。	4046
99	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、内底面定方向幅広ミガキ。内外面灰白色。精製土。	4213
100	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、内面幅２～３㎜のミガキ。内外面浅黄橙色。精製土。	4166
101	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面灰黄褐色、内面黄灰色。１～２㎜以下の長石少量含む。	4226
102	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、内面ミガキか。外面にぶい赤褐色、内面明赤褐色。精製土。	4158
103	SR1	e2層	Ⅳb東	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰色。１～２㎜の長石・石英少量含む。	4128
104	SR1	e2層	Ⅳb中	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内面ミガキ。外面灰白色、内面灰色。0.5㎜以下の長石少量含む。	4151
105	SR1	e2層	Ⅳb中	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内面定方向のミガキ。外面にぶい黄橙色、内面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	4142
106	SR1	e2層	Ⅳa	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内面密なミガキ。外面浅黄橙色、内面暗灰色。１～２㎜の長石少量含む。	4047
107	SR1	e2層	Ⅳa	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ。外面浅黄色、内面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	4037
108	SR1	e2層	Ⅳa	黒色土器(内黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内底面ミガキ。外面にぶい橙色、一部黒変。１㎜以下の長石少量含む。	4044
109	SR1	e2層	Ⅳb中	黒色土器(両黒)椀		底部	内外面回転ナデ、内面ミガキ。内外面黒色。精製土。	4148
110	SR1	e2層	Ⅳc西	須恵器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	4216

111	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	土鍋	口縁	頸部２条の沈線。内外面ナデ。内外面にぶい橙色。１～２㎜の長石・石英・雲母少量含む。	4056
112	SR1	e2層	Ⅳa	土師器	甕	胴部	内外面ナデ。外面暗灰黄色、内面灰黄色。１～３㎜の長石・石英少量含む。	4051
113	SR1	e2層	Ⅳa	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ、外面底部横ハケメ。外面黄灰色、内面灰白色。精製土。	4032
114	SR1	e2層	Ⅳc西	土師器	土鍋	胴部	内外面ナデ。外面灰黄色、内面灰黄褐色。１～３㎜の長石・石英少量含む。	4217
115	SR1	e2層	Ⅳa西	土師器	土鍋	口縁	胴部縦ハケメ、口縁横ナデ、内面横ナデ。内外面にぶい黄橙色。１～３㎜の長石・石英少量含む。	4065
116	SR1	e2層	Ⅳb西	土師器	土釜	鍔部	内外面横ナデ。外面灰黄褐色、内面灰黄色。１～３㎜の長石・石英多く含む。	4173
117	SR1	e2層	Ⅳb中	土師器	羽釜	脚部	ナデ。橙色。精製土に１㎜以下の長石少量含む。やや軟質。甑取手の可能性あり。	4141

図99　Ⅳ区SX-２c層出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SX2	c層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	4202
2	SX2	c層	Ⅳc中	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。やや軟質。	4192
3	SX2	c層	Ⅳc西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面褐色、内面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	4199
4	SX2	c層	Ⅳc西	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ。外面淡黄色、内面灰白色。１～２㎜の長石少量含む。	4201
5	SX2	c層	Ⅳc中	土師器	皿	全形	内外面回転ナデ。内外面浅黄橙色。精製土。	4189
6	SX2	c層	Ⅳc中	土師器	皿か坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	4194
7	SX2	c層	Ⅳc西	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	4200
8	SX2	c層	Ⅳc中	瓦器	椀	口縁	内外面回転ナデ。外面灰色・炭素吸着、内面灰白色。精製土。	4193
9	SX2	c層	Ⅳc中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面にぶい橙色、破面浅黄橙色。１㎜以下の長石・石英少量含む。	4188
10	SX2	c層	Ⅳc中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面灰色。１㎜以下の長石少量含む。	4191
11	SX2	c層	Ⅳc中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後高台貼付。内外面浅黄橙色。１㎜以下の長石少量含む。	4187
12	SX2	c層	Ⅳc中	平瓦			凸面縄席文タタキ、凹面布目。両面灰白色、自然釉付着。須恵質で非常に堅緻。	4190

図100　SP-176出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SP176		Ⅳc中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、内面ミガキか。外面にぶい黄橙色、内面黄灰色。精製土に１㎜以下の長石少量含む。	4182
2	SP176		Ⅳc中	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、破面灰色。精製土。	4183

図101　Ⅳ区撹乱出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	撹乱		Ⅳ	土師器	坏	全形	内外面回転ナデ。内外面黄橙色。精製土。	4013
2	撹乱		Ⅳb南	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	4006
3	撹乱		Ⅳ西	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。外面黄橙色、内面灰黄褐色。１～３㎜の長石・石英少量含む。	4011
4	撹乱		Ⅳb南	黒色土器(内黒)	椀	底部	内外面横ミガキ。外面にぶい橙色、内面黒色。精製土。	4005
5	撹乱		Ⅳb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ。外面にぶい橙色、内面黄灰色。１㎜以下の長石少量含む。黒色土器の可能性あり。	4008
6	撹乱		Ⅳb南	土師器	椀	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切りか。内外面灰白色。１～２㎜の長石少量含む。	4007
7	撹乱		Ⅳb南	須恵器	壺か瓶	胴部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面青灰色、破面にぶい赤褐色。１～２㎜の長石少量含む。	4009
8	撹乱		Ⅳ	土師器	壺	胴部	内外面ナデ。外面灰白色、内面淡黄色。１～２㎜の長石少量含む。	4001
9	撹乱		Ⅳ	陶器	壺	底部	外面にぶい橙色、内面紫灰色。１～２㎜の長石・石英少量含む。土師質。	4002
10	撹乱		Ⅳb南	天目	?	底部	外面の釉はきわめて薄く、擦過により剥落。外底面・内面は残存部では露胎。外面黒色、内面にぶい褐色。石英・黒色粒少量含む灰白色の胎土。やや軟質。	4010
11	撹乱		Ⅳ北	平瓦			凸面平行タタキ、凹面ナデ。両面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	4012
12	撹乱		Ⅳ	石器	敲石		上下面は敲打のため面あり。側面に深い敲打痕。砂岩。	4003

図103　SP-170出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SP170		Ⅴa	瓦器	椀	口縁	内外面回転ナデ。口縁部に帯状の黒変部。精製土。	5002

図105　Ⅴ区Ⅲ層出土遺物(1)

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	－	Ⅲ層	Ⅴb-c	弥生土器	壺か鉢	口縁	内外面ナデ・ミガキ。内面明赤褐色、外面橙色。１～２㎜の長石・石英多く含む。	5055
2	－	Ⅲ層	Ⅴa-b	弥生土器	壺か鉢	胴部	内外面ミガキ。内面浅黄橙色、外面灰黄褐色、黒化層・黒変部あり。長石・石英・雲母少量含む。	5052
3	－	Ⅲ層	Ⅴa-b	弥生土器	ミニチュア	胴部	内外面ナデ。内面灰白色、外面にぶい黄橙色。１㎜の長石少量含む。	5053
4	－	Ⅲ層	Ⅴb	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切り後板目圧痕。内面灰褐色、外面にぶい黄橙色。長石少量含む。	5010
5	－	Ⅲ層	Ⅴb	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。外面にぶい褐色、内面にぶい橙色。１㎜以下の長石少量含む。	5009
6	－	Ⅲ層	Ⅴb-c	土師器	釜	口縁	胴上部に沈線。内外面横ナデ。内外面にぶい橙色。焼成堅緻。	5054

図106　SC-16・17・18出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SC16・17		Ⅴc	弥生土器	壺	胴部	内面にぶい橙色、外面橙色。きめ細かい胎土に１㎜の長石多く、角閃石少量含む。	5012
2	SC17		Ⅴc	弥生土器	壺	胴部	内外面磨滅。内面灰白色、外面浅黄橙色。１～２㎜の長石多く含む粗い胎土。	5011
3	SC18		Ⅴc	弥生土器	壺	胴部	外面ミガキ後ヘラ描き沈線。内外面にぶい橙色。１㎜以下の長石・雲母少量含む。	5017
4	SC18		Ⅴc	弥生土器	壺	口縁	内外面磨滅。内外面浅黄橙色。１～２㎜の長石少量含む。	5016

5	SC18	Vc	弥生土器	壺	口縁	内外面磨滅。内外面浅黄橙色。１～３㎜の長石少量含む。	5019
6	SC18	Vb	弥生土器	壺	胴部	外面ミガキ後、羽状文。内面にぶい橙色、外面にぶい赤褐色。１～３㎜の長石多く、雲母わずかに含む。	5006
7	SC18	Vb	弥生土器	壺	底部	内外面ミガキ。内面にぶい橙色、外面褐灰色。１～４㎜の長石多く、雲母少量含む。	5004
8	SC18	Vb	弥生土器	甕	口縁	内外面ミガキ。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。１～３㎜の長石・石英多く含む。	5007
9	SC18	Vb	弥生土器	甕	口縁	内外面磨滅。内外面黄橙色。１～３㎜の長石少量含む粗い胎土。	5008
10	SC18	Vb	弥生土器	甕	胴部	内外面ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。１～５㎜の長石・石英多く含む。	5003
11	SC18	Vb	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。内外面にぶい黄橙色。１～４㎜の長石・石英多く含む。	5005
12	SC18	Vc	弥生土器	甕蓋	口縁	内外面ナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石・石英・雲母少量含む。	5014
13	SC18	Vc	弥生土器	ミニチュア甕	胴部	内外面ナデ。内外面灰白色。２㎜以下の長石少量含む。	5018
14	SC18	Vc	土師器	甕	口縁	内外面横ナデ。内外面灰白色、破面黒化層。１㎜以下の長石多く含む。	5015

図109　SD-15出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SD15		Vd	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。内面浅黄橙色、外底部橙色。長石・石英多く含む粗い胎土。	5036
2	SD15		Vd	弥生土器	甕	口縁	内面橙色、外面にぶい橙色。きめ細かい胎土に１㎜程の長石・石英多く、雲母少量含む。	5035

図111　SD-19出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SD19		Vd	須恵器	坏身	体部	内外面回転ナデ。外面・破面赤褐色、内面暗灰色。１㎜以下の長石わずかに含む。	5043
2	SD19		Vd	土師器	椀	口縁	内外面回転ナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	5031
3	SD19		Vd	土師器	羽釜	脚部	外面にぶい褐色、内面橙色。１～２㎜の長石多く含む。	5029
4	SD19		Vd	瓦器	羽釜	脚部	灰白色。黒化層残り焼成不良。長石多く含む。土師器の可能性あり。	5027
5	SD19		Vd	土師器	羽釜	脚部	にぶい橙色。１㎜以下の長石多く含む。	5030
6	SD19		Vd	土師器	羽釜	脚部	内側に面あり。上方灰白色、下方橙色、破面黒化層。１～５㎜の長石・石英多く含む。	5039
7	SD19		Vd	土師器	羽釜	脚部	磨滅。橙色。１㎜以下の長石多く含む。	5025
8	SD19		Vd	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。内外面浅黄橙色。１～５㎜の長石・石英・雲母多く含む。	5040
9	SD19		Vd	須恵器	こね鉢	口縁	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	5020
10	SD19		Vd	須恵器	こね鉢	口縁	外面回転ナデ、内面板状工具によるナデ。内外面灰白色。１㎜以下の長石少量含む。	5042
11	SD19		Vd	亀山焼	大壺	肩部	外面格子目タタキ。１㎜以下の長石少量含む。	5024
12	SD19		Vd	備前焼	壺	口縁	内外面横ナデ。内外面暗赤灰色。５㎜以下の長石少量含む。	5041

図112　Ⅴ区Ⅲ層出土遺物(2)

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	－	Ⅲ層	Vd	土師器	皿	口縁	内外面回転ナデ。内面浅黄橙色、外面灰白色。精製土。	5033
2	－	Ⅲ層	Vd	青花	皿	体部	内面明緑灰色の透明感ある薄めの釉。貫乳あり。	5034
3	－	Ⅲ層	Vd	須恵器	鉢か壺	口縁	内面灰色、外面暗青灰色。１㎜以下の長石少量含む。	5032
4	－	Ⅲ層	Vf	須恵器	坏身	体部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。精製土。	5047
5	－	Ⅲ層	Vf	瓦質土器	皿	底部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。精製土。	5046
6	－	Ⅲ層	Vf	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ、底部回転糸切りか。外面灰白色、内面浅橙色。精製土に長石少量含む。	5048
7	－	Ⅲ層	Vf	白磁	碗	底部	内面明オリーブ色の透明感ある薄い釉、外面露胎、圏線あり。灰白色で緻密な胎土。	5045
8	－	Ⅲ層	Vf	青磁	皿	口縁	端部内外面に黄灰色の薄い釉。	5044
9	－	Ⅲ層	Vf	土師器	甕	口縁	内外面黄灰色。端部付近に煤付着。精製土。	5051
10	－	Ⅲ層	Vf	土師器	羽釜	口縁	内外面横ナデ。にぶい橙色。１～４㎜の長石少量含む。	5049
11	－	Ⅲ層	Vf	平瓦			凸面にぶい黄橙色、凹面にぶい黄褐色。両面縁側・破面にタール状のものが付着。	5050

図113　Ⅴ区撹乱出土遺物

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	撹乱		Vd	青磁	碗	口縁	内外面薄い釉。精製土。	5022
2	撹乱		Vd	青花	碗	底部	内外面青味がかった薄い釉。高台・体部に文様あり。	5021
3	撹乱		Va	青磁	碗	体部	龍泉窯系。内外面緑灰色の厚みのある釉。灰白色の精製土。	5001
4	撹乱		Vd	備前焼	擂鉢	口縁	12条単位の擦目。内外面回転ナデ。内外面灰白色、破面灰赤色。１㎜以下の長石少量含む。	5023
5	撹乱		Vc	丸瓦			凹面にコビキ痕。両面灰白色、破面浅黄橙色。１㎜以下の長石多く含む。	5013

図115　出土鉄器・鉄滓

	出土位置			種別	器種	部位	調整・その他特徴	実測番号
	遺構	層位	地区					
1	SR1	a･b層	Ⅰc	鉄器	小札	全形	長6.5cm・幅1.7～2.0cm。孔の有無不明。	1152
2	SK40		ⅡEf	鉄器	刀子	刃部	残存長6.2cm、刃幅1.4～1.5cm。	2588
3	SR1	c層	Ⅲb北	鉄器	刀子	関部	関部は明確な段をもたない。	3197
4	SR1	a･b層	Ⅰa	鉄器	鉈？	刃部	刃部湾曲。	1153
5	SK30		ⅡWf	鉄器	鎌？	茎	断面方柱状。外面糸巻き圧痕。	2129
6	撹乱		ⅡEe	鉄器	釘	全形	残存長7.3cm。断面方柱状。	2589
7	SK30	SP453	ⅡWf	鉄器	鏨	全形	残存長3.5cm。断面方柱状。	2130

8	－	Ⅲ層	ⅡWe	鉄器	鏃	釘部	身部断面方柱状、釘部はやや扁平。	2131
9	SR1	a･b層	Ⅰb	鉄器	不明	不明	U字状に湾曲。片側端部断面は五角形状、もう片側断面は扁平板状。	1154
10	SP440		ⅡWf	鉄器	不明	不明	袋状。	2590
11	SR1	c層上	Ⅰa	鉄滓	－	－	重量31.4ｇ。	1151
12	－	Ⅲ層	ⅡEe	鉄滓	－	－	重量21.0ｇ。	2586
13	－	Ⅲ層	ⅡWe	鉄滓	－	－	重量5.3ｇ。	2132
14	SP627		ⅡEf	鉄滓	－	－	重量5.0ｇ。	2587